
令和3年度決算に係る主要な 施策の成果に関する報告書

市川市



地方自治法第233条第5項の規定により令和3年度の本市の決算に関し、
主要な施策の成果について本書の通り報告する。

令和4年9月2日提出

市川市長 田 中 甲

目次

1

決算の概要

令和3年度 会計別決算の状況	2
一般会計 歳入	3
一般会計 歳出(款別)	4
一般会計 歳出(性質別)	5
財政指標等の状況	6
基金残高の推移(普通会計)	8
市債残高の推移(普通会計)	8

2

主要な施策の成果

一般会計

議会費	10
総務費	11
民生費	41
衛生費	74
労働費	95
農林水産業費	96
商工費	98
観光費	102
土木費	107
消防費	123
教育費	128
その他	156

特別会計

国民健康保険特別会計	162
介護保険特別会計	164
後期高齢者医療特別会計	171

参考資料

下水道事業会計	172
---------	-----

※ **重点** は、令和3年度重点推進プログラムに掲載の各事業です。

1

決算の概要

市川市の財政状況

令和3年度 会計別決算の状況

単位：円

	歳入	歳出	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額 (実質収支比率)
一般会計	184,505,838,881	177,387,460,469	7,118,378,412	2,224,585,853	4,893,792,559 (5.5%)
特別会計	76,459,941,622	75,959,891,538	500,050,084		500,050,084
国民健康保険特別会計	40,067,046,305	40,019,439,677	47,606,628		47,606,628
介護保険特別会計	30,679,691,414	30,245,691,954	433,999,460		433,999,460
後期高齢者医療特別会計	5,713,203,903	5,694,759,907	18,443,996		18,443,996
合計	260,965,780,503	253,347,352,007	7,618,428,496	2,224,585,853	5,393,842,643

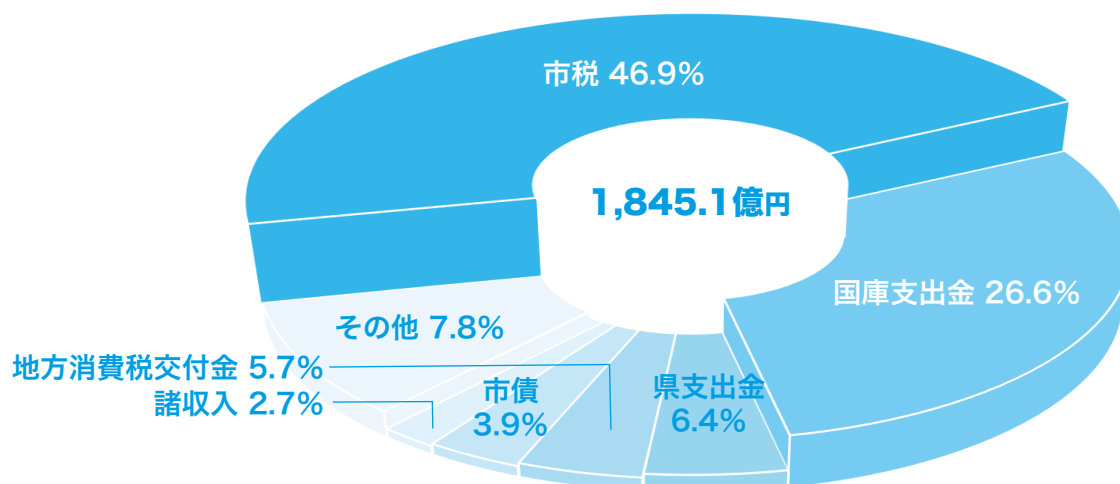
《参考資料》

単位：円

	収入	支出
公営企業会計	16,742,660,522	18,876,601,400
下水道事業会計	16,742,660,522	18,876,601,400
収益的収支	8,749,001,619	8,291,196,529
資本的収支	7,993,658,903	10,585,404,871

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額2,591,745,968円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額86,492,113円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額236,151,247円、過年度分損益勘定留保額1,455,332,510円及び当年度分損益勘定留保額813,770,098円で補てんした。

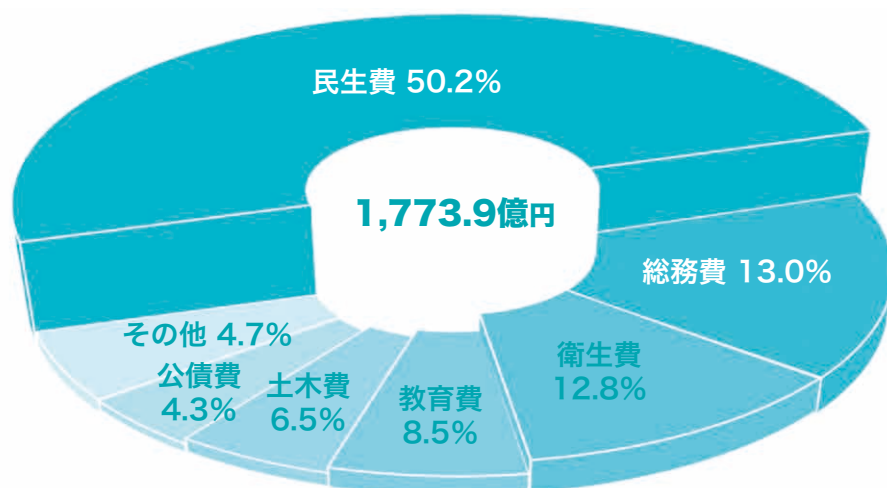
一般会計 歳入



単位：円

款	予算現額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1. 市税	85,904,000,000	86,505,943,497	63,415,486	862,684,168
2. 地方譲与税	721,700,000	749,840,399		0
3. 利子割交付金	65,000,000	64,351,000		0
4. 配当割交付金	447,000,000	667,268,000		0
5. 株式等譲渡所得割交付金	351,000,000	843,905,000		0
6. 法人事業税交付金	527,000,000	613,979,000		0
7. 地方消費税交付金	10,150,000,000	10,494,452,000		0
8. 環境性能割交付金	78,000,000	92,470,905		0
9. 地方特例交付金	675,149,000	727,054,000		0
10. 地方交付税	1,000	116,156,000		0
11. 交通安全対策特別交付金	41,936,000	51,255,000		0
12. 分担金及び負担金	1,448,695,000	1,392,431,141	1,779,800	19,257,157
13. 使用料及び手数料	4,025,710,000	3,936,186,413	8,370,427	50,214,500
14. 国庫支出金	52,032,155,000	49,117,158,476		0
15. 県支出金	12,300,241,000	11,791,001,666		0
16. 財産収入	878,071,000	826,920,291		0
17. 寄附金	419,692,000	445,105,658		0
18. 繰入金	1,744,670,000	638,789,459		0
19. 繰越金	3,281,190,400	3,281,190,607		0
20. 諸収入	5,137,633,000	5,005,679,677	44,425,186	809,352,471
21. 市債	11,634,200,000	7,144,700,000		0
22. 自動車取得税交付金		692		0
合計	191,863,043,400	184,505,838,881	117,990,899	1,741,508,296

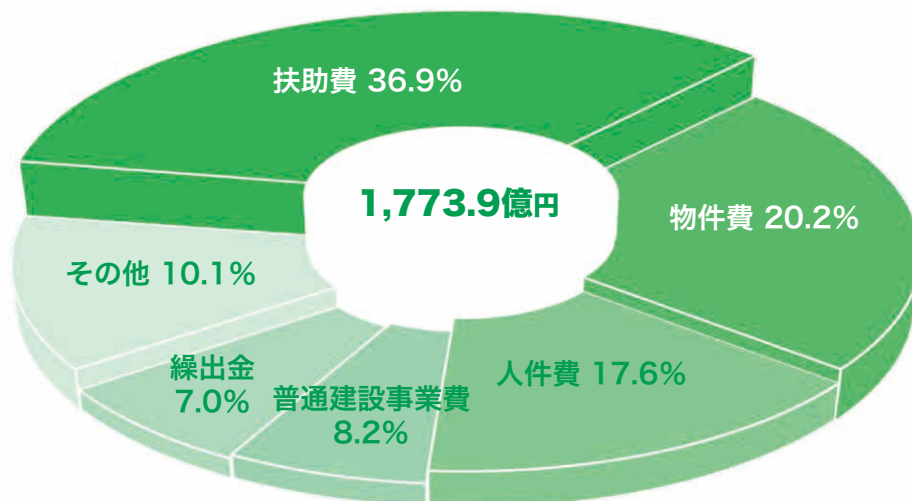
一般会計 歳出(款別)



単位：円

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
1. 議会費	813,477,000	767,506,777		45,970,223	94.3%
2. 総務費	24,567,277,526	22,993,129,728	690,198,500	883,949,298	93.6%
3. 民生費	96,375,973,162	88,976,245,841	3,975,373,110	3,424,354,211	92.3%
4. 衛生費	23,960,928,347	22,662,091,037	409,092,000	889,745,310	94.6%
5. 労働費	166,329,800	153,473,233		12,856,567	92.3%
6. 農林水産業費	389,609,000	272,804,069	80,590,000	36,214,931	70.0%
7. 商工費	1,636,100,000	1,528,562,945		107,537,055	93.4%
8. 観光費	263,168,793	256,449,350		6,719,443	97.4%
9. 土木費	13,705,146,000	11,481,258,038	1,791,907,900	431,980,062	83.8%
10. 消防費	5,803,875,430	5,623,142,974	108,000,000	72,732,456	96.9%
11. 教育費	16,470,634,815	14,991,976,782	535,323,280	943,334,753	91.0%
12. 公債費	7,634,529,000	7,634,528,377		623	100.0%
13. 諸支出金	66,611,000	46,291,318		20,319,682	69.5%
14. 予備費	9,383,527			9,383,527	
合計	191,863,043,400	177,387,460,469	7,590,484,790	6,885,098,141	92.5%

一般会計 歳出(性質別)



単位：千円

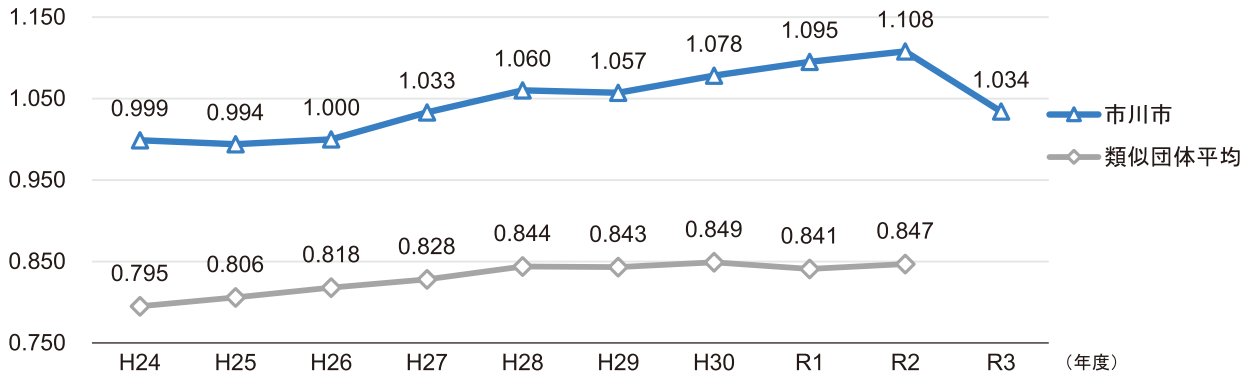
区 分	3年度決算額	2年度決算額	対前年度比較	
			増減額	増減率
義務的経費	104,266,291	90,394,043	13,872,248	15.3%
人件費	31,212,539	30,869,668	342,871	1.1%
扶助費	65,419,224	51,183,839	14,235,385	27.8%
公債費	7,634,528	8,340,536	▲706,008	▲8.5%
投資的経費	14,476,121	20,957,407	▲6,481,286	▲30.9%
普通建設事業費	14,476,121	20,444,265	▲5,968,144	▲29.2%
補助事業費	1,856,193	2,470,142	▲613,949	▲24.9%
単独事業費	12,619,928	17,974,123	▲5,354,195	▲29.8%
災害復旧事業費	—	513,142	▲513,142	皆減
その他の経費	58,645,048	104,820,616	▲46,175,568	▲44.1%
物件費	35,771,503	28,381,877	7,389,626	26.0%
維持補修費	1,280,066	1,334,047	▲53,981	▲4.0%
補助費等	8,012,895	60,733,266	▲52,720,371	▲86.8%
繰出金	12,479,569	12,019,398	460,171	3.8%
積立金	166,495	637,379	▲470,884	▲73.9%
投資及び出資金・貸付金	934,520	1,714,649	▲780,129	▲45.5%
貸付金	911,450	915,200	▲3,750	▲0.4%
出資金	23,070	799,449	▲776,379	▲97.1%
合 計	177,387,460	216,172,066	▲38,784,606	▲17.9%

※普通建設事業費の内訳については、補助事業費のほか（県営事業負担金など）は、全て単独事業費に集計した。

財政指標等の状況

1. 財政力指数

財政力指数は、通常3カ年平均値を用いますが、ここでは各年度の差異をよりはっきり示すため、単年度の値を用いています。



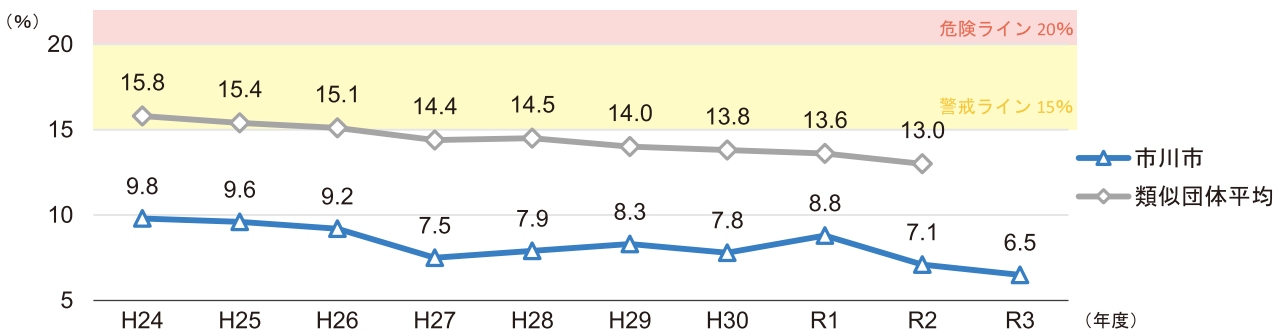
「財政力指数」とは

$$= \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$$

地方公共団体の財政力を示す指標で、当該年度を含む過去3年間の平均値をいい、数値が高いほど財源に余裕があるものとされる。単年度の数値が1を超えるとその年度は普通交付税が交付されない。

類似団体：日本経済新聞社発行の全国都市財政年報における類似団体の区分を使用

2. 公債費負担比率



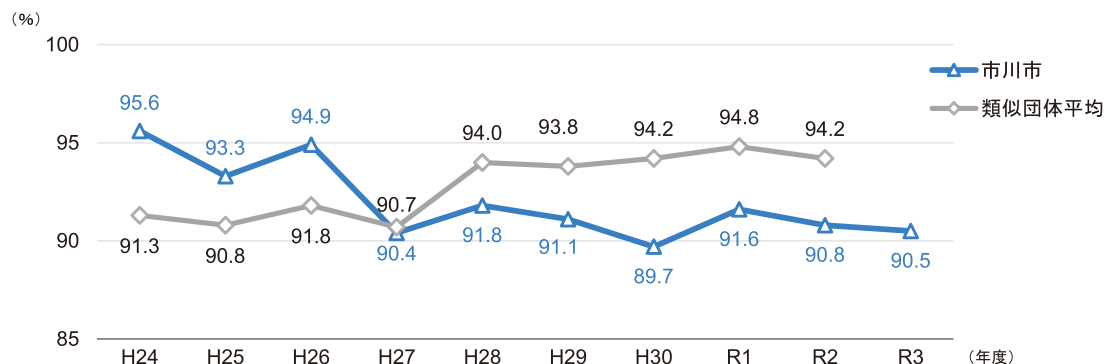
「公債費負担比率」とは

$$= \frac{\text{公債費充当一般財源額}}{\text{一般財源等総額}} \times 100\%$$

市税などの一般財源等総額のうち市債の元利償還金に充てられた一般財源の割合。15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされている。

R2⇒R3 変動要因	分母(一般財源等総額)の要因として、地方消費税交付金等が増収したこと、また、分子(公債費充当一般財源額)の要因として、既往債の償還が終了したことにより、▲0.6ポイント低下
---------------	--

3. 経常収支比率



「経常収支比率」とは

$$= \frac{\text{経常経費充当一般財源額}}{\text{経常一般財源収入額}} \times 100\%$$

市税・地方譲与税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源のうち、人件費・扶助費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合。地方公共団体の財政構造の弾力性を判断する指標として用いられ、比率が低いほど弾力性が高いとされている。

R2⇒R3 変動要因	<ul style="list-style-type: none"> 分母（経常一般財源収入額）の要因として、法人事業税交付金・地方消費税交付金等の増収により、▲1.9ポイント低下 分子（経常経費充当一般財源額）の要因として、情報システム関連経費の増等により、1.6ポイント上昇
---------------	---

4. 健全化判断比率・資金不足比率

(1) 健全化判断比率（地方公共団体の財政の健全性に関する指標）

指標名	内容	対象範囲	3年度算定結果	早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合	一般会計等	—	11.25%	20%
② 連結実質赤字比率	公営企業会計を含む、すべての会計を連結した実質赤字額の標準財政規模に対する割合	一般会計等 公営事業会計	—	16.25%	30%
③ 実質公債費比率 (3カ年平均)	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する割合	一般会計等 公営事業会計 一部事務組合 広域連合	1.6%	25%	35%
④ 将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合	一般会計等 公営事業会計 一部事務組合 広域連合 地方公社 第三セクター等	—	350%	

(2) 資金不足比率（地方公営企業の経営の健全性に関する指標）

指標名	内容	対象範囲	3年度算定結果	経営健全化基準
資金不足比率	各公営企業における資金不足額の事業規模（事業収入）に対する割合	下水道事業会計	—	20%

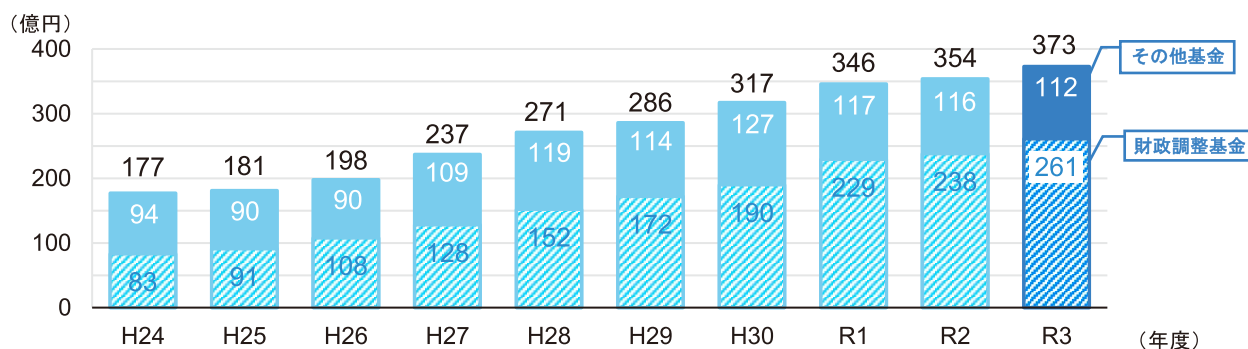
※実質赤字比率、連結実質赤字比率の「—」は黒字であること、資金不足比率の「—」は、資金不足が生じていないことによるものである。また、将来負担比率の「—」は、将来負担額に充当可能な財源額が、将来負担額を上回っていることによるものである。

基金残高の推移(普通会計)

本市の過去の状況 (平成元年度以降)

積立金	残高	■ 最大 373億円 (令和3年度)	■ 最小 49億円 (平成10年度)
財政調整基金	残高	■ 最大 261億円 (令和3年度)	■ 最小 21億円 (平成10年度)

● 基金残高の推移

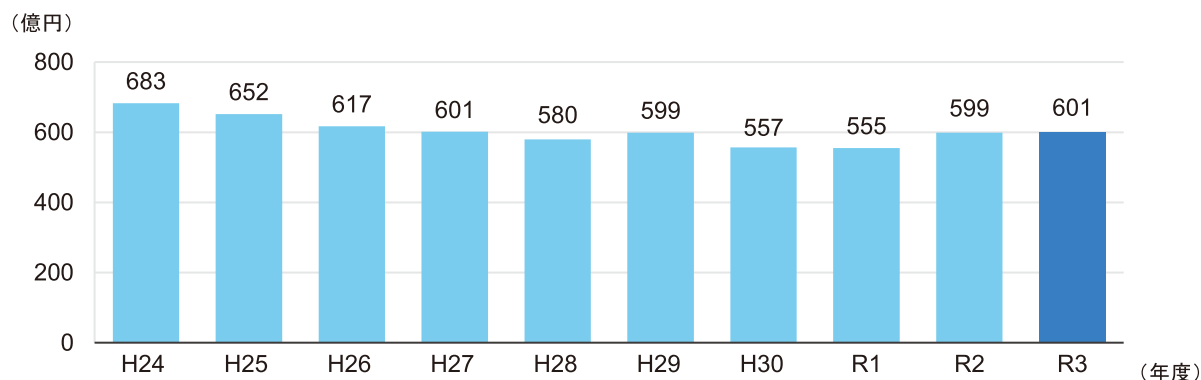


市債残高の推移(普通会計)

※平成元年度以降の最大値



● 市債残高の推移



2

主要な施策の成果

市議会の活動状況

	円
予算現額	388,359,000
決算額	355,118,840
節別決算額	
報酬	305,277,535
報償費	13,184
旅費	8,204
交際費	97,600
需用費	5,668,072
役務費	5,937,493
委託料	6,086,449
使用料及び賃借料	886,076
負担金補助及び交付金	31,144,227

施策の内容および成果

普通地方公共団体の議決機関として、市の重要施策に係る多くの案件について、公正、慎重な審議を行い、その機能を果たした。

○本会議の状況

区分	会期	開議日数	議決件数	市長提出 議案その他	議員提出 議案等	請願	選挙等	一般 質問者数	代表 質問者数
	日	日	件	件	件	件	件	人	人
定例会	70	34	144 ※	95	50 (うち否決 33件)	5 (うち不採択 1件)	5	40	63

※再議に付されたことによって効果を失った議決を除く。

○委員会の開催状況

(1)常任委員会

・総務委員会	7回	・環境文教委員会	5回
・健康福祉委員会	10回	・建設経済委員会	5回

(2)議会運営委員会 38回

(3)特別委員会

・東京外郭環状道路に関連する特別委員会	4回
・行徳臨海部に関連する特別委員会	5回
・決算審査特別委員会	4回
・中核市移行に関する特別委員会	4回
・資格審査特別委員会	11回
・懲罰特別委員会	5回

○その他の会議の開催状況

・各派代表者会議	39回
----------	-----

○議会刊行物の発行

(1)市議会だより

・定例会号	418,875部	・新年号	104,575部
-------	----------	------	----------

(2)会議録	1回100部年4回発行	400部
--------	-------------	------

(3)市政概要	190部	市政概要ハンドブック	320部
---------	------	------------	------

(4)議会の概要	150部
----------	------

款 総務費

項 総務管理費

目 人事管理費

障がい者雇用事業

人
事
課

	円
予算現額	40,000
決算額	29,546
節別決算額	
需用費	16,669
役務費	12,877

施策の内容および成果

「障害者の雇用の促進等に関する法律」に定める障がい者の法定雇用率を確保するための施策の1つとして、「チャレンジド オフィス いちかわ」を設置している。市内に在住している一般企業等への就職が困難な障がいのある方を、会計年度任用職員として最長3年間雇用し、一般企業等への就職が円滑に行えるよう支援を行った。また、令和2年度に策定した「市川市障がい者活躍推進計画」に基づき、障がい者の自立と社会参加の促進に努めた。

勤務場所	障がい者雇用人数
市役所第1庁舎	6人

款 総務費

項 総務管理費

目 職員研修費

職員研修事業

人
事
課

	円
予算現額	15,425,000
決算額	12,160,216
節別決算額	
報償費	6,448,000
旅費	3,564,752
需用費	113,820
役務費	473,000
負担金補助及び交付金	1,560,644

施策の内容および成果

時代の変化や市政の課題に的確に対応できる知識・能力を持った職員を育成するため、『人材育成基本方針』に基づき、指定研修、法令研修、派遣研修などを実施した。

○令和3年度職員研修実績

	受講者数
(1)指定研修	564人
(2)法令研修	380人
(3)派遣研修	
・総務省自治大学校	3人
・市町村職員中央研修所	9人
・千葉県自治研修センター	36人
・全国地域リーダー養成塾	1人
・自治体国際化協会	2人
・東京オリンピック・パラリンピック 競技大会組織委員会	1人
・千葉県	1人
・民間企業	1人

庁舎プロモーション事業

広報
広聴
課

予算現額	2,256,000
決算額	1,851,882
節別決算額	
需用費	422,212
委託料	1,429,670

円

施策の内容および成果

第1庁舎を市民が集う魅力ある場所として活用するため、庁舎プロモーション動画の制作や市民等交流スペースにおける関連書籍の配置を通じて、情報発信を実施した。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

動画の年間視聴回数 631回

※上記の回数以外に、庁舎内大型ビジョンで放映

※委託制作した動画（4本）について

- ・市川市の千葉県指定伝統的工芸品
- ・知ろう！食べよう！いちかわの野菜 ～長ねぎ編～
- ・知ろう！食べよう！いちかわの野菜 ～野菜の王様編～
- ・知ろう！食べよう！いちかわの野菜 ～赤い宝石編～



市川市の千葉県指定伝統的工芸品

△伝統的工芸品動画
(第1庁舎で展示している神輿等を紹介)



知ろう！食べよう！いちかわの野菜 ～長ねぎ編～

△料理動画
(第1庁舎7階キッチンでいちかわの野菜を調理し、撮影)

款 総務費

項 総務管理費

目 企画費

総合計画推進事業

		円	施策の内容および成果
予算現額	31,680,000		
決算額	31,680,000		
節別決算額			
委託料	31,680,000		
			第三次基本計画の策定に際して、以下の業務を実施した。
			○基礎調査分析 本市を取り巻く社会経済動向や本市の現状等を整理・分析するもの
			○人口推計 人口の現状分析や将来人口推計等を実施するもの
			○市民マーケティング ターゲット層が抱える課題やそれに対応した効果的な施策、情報発信方法等を分析するもの
			○将来ビジョン案の作成 本市の将来のあるべき姿やそれに向けた取り組みを整理するもの
			○成果 第三次基本計画の策定に必要な情報を整理・分析した。 当該業務の結果を踏まえ、令和4年度中に第三次基本計画が完成する予定。

企
画
課

地域防災力強化事業

円

予算現額

10,805,594

決算額

9,849,631

節別決算額

報償費 120,000

需用費 2,748,891

委託料 1,173,700

備品購入費 543,840

負担金補助及び交付金

5,263,200

施策の内容および成果

○自主防災組織資器材購入費等補助金

自治会・マンション等で結成する自主防災組織に対し、防災資器材の購入費等の補助を行った。

令和3年度 交付件数 46件 交付額 4,313,200円

○災害危機管理講座

子育て世代を対象としたオンライン防災講座を千葉商科大学との包括協定に基づき共催で実施した。

令和3年11月11日

「大地震が来る前に、今あなたができること
～自分と大切な人のいのちを守るために～」

講師 かもん まゆ 氏

参加者募集!

千葉商科大学・市川市共催「災害危機管理講座」
大地震が来る前に、
今あなたができること
～自分と大切な人のいのちを守るために～

いつ起こるか分からない大地震。でも、あなたが知って対策を講じていれば、守れるいのちがあります。東日本大震災を教訓としたさまざまなリアルな声から、大切な家族のいのちを守るための知識と取るべき行動を学びます。

【日時】▶▶ 2021年11月11日 10:00～12:00

講師 かもん まゆ
一般社団法人スマートライフデザイン研究所/私立マリアナ大学/防災士
2019年10月には防災士として初めての防災検定試験に合格。ママの心強い応援が、防災士としての第一歩。防災士としての活動は、防災士としての活動。防災士としての活動。防災士としての活動。

受講方法 オンライン 受講料 無料
参加人数 100名 定員締切 11月9日(火) 23:59

申込方法 千葉商科大学のウェブサイト「災害危機管理講座」ページよりお申し込みください。
https://www.cuc.ac.jp/event/2021/saigai_koza.html
お申し込みの際は「災害危機管理講座」を科目として選択し、お申し込み完了メールと登録料をいただきます。お申し込みの後は、お申し込みメールでお知らせいたします。

お問合せ 千葉商科大学 公開講座係 (平日:9:00～17:00)
TEL 047-372-4111 Email cucr_open@cuc.ac.jp

CUC 千葉商科大学

△「災害危機管理講座」チラシ

款 総務費

項 総務管理費

目 危機管理対策費

防災用品備蓄事業

円

予算現額

11,167,000

決算額

10,450,622

節別決算額

需用費

8,547,622

備品購入費

1,903,000

施策の内容および成果

防災備蓄品の購入および災害用備蓄トイレを整備した。

○防災備蓄品の購入（一例）

- ・食糧（クラッカー、アルファ米）
- ・乳幼児用ミルク（粉、液体）
- ・使い捨て哺乳瓶
- ・備蓄用毛布 ほか



- ◁ 災害用備蓄トイレの外観
（製品パンフレットより）
令和3年度整備数
- ・一般型 4基
 - ・車椅子型 1基

D X推進事業

行政経営・DX課

Web管理課

情報システム課

円

予算現額

71,890,554

決算額

62,927,382

節別決算額

役務費

2,488,146

委託料

52,977,496

使用料及び賃借料

7,461,740

施策の内容および成果

デジタル技術の活用による業務の効率化および市民サービスの向上を目的として、DX推進体制の強化、事務の効率化、Wi-Fiの整備、窓口サービスの向上を行った。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

申請受付支援システム導入施設数 主要窓口2施設

・DX推進体制の強化

職員研修の実施（ワークショップ形式8回）および市民参加型イベント（2回）を開催した。

・事務の効率化

印刷物の取り間違い防止機能やミスプリントの削減機能を有する複合機および管理システムを導入した。

・Wi-Fiの整備

公共施設16箇所にフリーWi-Fiを整備したほか、中学校16校に防災用Wi-Fiを整備した。

・窓口サービスの向上

円滑な窓口サービスを提供する申請受付支援システムを第1庁舎と行徳支所に導入したほか、行徳支所において窓口手続きの予約システムを導入した。



△第1庁舎における窓口サービス

款 総務費

項 総務管理費

目 情報システム費

ICT環境整備事業

		円	施策の内容および成果
情報政策課	予算現額	69,214,791	<p>新型コロナウイルスの感染拡大による働き方改革に資するため、職員のテレワーク用機器の整備および職員が場所にとらわれずコミュニケーションが可能となるビジネスチャット等の環境整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テレワーク用モバイルルータの調達 (500台を追加調達し、全体で1,090台) ○庁内用ビジネスチャットの導入 (3,001ユーザー) ○インターネットWeb会議用パソコンの調達 (12台) ○庁内用Web会議システムの運用
	決算額	68,480,086	
	節別決算額		
	需用費	631,400	
	役務費	49,966,096	
	委託料	5,371,960	
	使用料及び賃借料	12,510,630	

款 総務費

項 総務管理費

目 情報システム費

情報システム最適化事業

		円	施策の内容および成果
情報政策課	予算現額	32,812,040	<p>本市の情報システムにおける全体最適化の一環として、いちかわ情報プラザ内に設置したサーバー等をクラウド環境に移行するための基盤を構築し、システムの一部をクラウド基盤へ移行した。</p>
	決算額	7,923,080	
	節別決算額		
	委託料	5,357,000	
	使用料及び賃借料	2,566,080	

市公式Webサイト管理運営事業

		円	施策の内容および成果
Web 管理 課	予算現額	109,784,000	<p>市公式Webサイトについて、ページ登録や改善等を外部委託したことで、タイムリーな情報更新、サイト構成の改善などを行った。</p> <p>また、アクセス集中にも耐えうるクラウド環境を利用したことにより、台風などの災害時にも、Webサイトを安定して運用した。</p>
	決算額	108,102,761	
	節別決算額		<p>○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績 職員の事務軽減 4.4人工/年間</p>
	役務費	209,017	
	委託料	84,480,000	
使用料及び賃借料	23,413,744		

電子市役所基盤整備事業

		円	施策の内容および成果
Web 管理 課	予算現額	229,736,000	<p>市公式Webサイトの全てのページを新デザイン化し見やすいWebサイトとしたほか、マイページ機能を追加することで、おすすめ情報・ランキング情報・履歴が表示され、必要としている情報を見つけやすいWebサイトとした。</p> <p>加えて、各課の職員が容易にオンライン申請を作成できるシステムを導入したことで、オンライン申請の拡充が図られた。</p> <p>また、LINEを活用して、災害情報や新型コロナウイルス感染者情報などの情報発信に努めた。</p>
	決算額	196,598,676	
	節別決算額		<p>○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績 市公式LINEアカウント友だち数 63,349人（令和4年3月31日現在）</p>
	需用費	861,455	
	役務費	1,555,321	
委託料	183,400,800		
使用料及び賃借料	10,781,100		

款 総務費

項 総務管理費

目 情報システム費

新保育システムの導入

情報管理課
（子ども施設入園課・子ども施設運営課）

	円
予算現額	39,446,000
決算額	39,446,000
節別決算額	
委託料	39,446,000

施策の内容および成果

子どもの入園機会の増加、保育の質の向上を実現するために、新たな保育システムの構築により入所選考時間の短縮化、入退園管理事務の効率化、また、クラウドシステムの導入により、運営費請求手続における市および保育事業者（施設）の事務負担軽減と正確性の向上を図った。

①子ども・子育て支援新制度システム構築

入所選考時間の短縮化、入退園管理事務の効率化を目的とした、教育・保育給付支給認定、施設・事務所の確認等を行うシステム。

（構築期間：令和3年2月8日～4年3月31日）

②市川市施設型給付費等申請システム構築

運営費請求手続における市および保育事業者（施設）の事務負担軽減と正確性の向上を目的としたクラウドシステム。

（構築期間：令和3年3月22日～4年2月28日）

款 総務費

項 総務管理費

目 情報システム費

重点

学校情報化研究事業

情報管理課
（教育センター）

	円
予算現額	1,770,402,801
決算額	1,765,912,686
節別決算額	
需用費	3,987,318
役務費	40,022,565
委託料	713,891,579
使用料及び賃借料	816,523,224
備品購入費	191,488,000

施策の内容および成果

個々の児童生徒の教育的ニーズや学習状況に応じた「個別最適化された学習」の実現のため、教育ICT環境の整備を行った。

令和3年度においては、既存の校内LANシステムに係る保守・運用業務に加え、学習用タブレット端末を追加調達するとともに、学習支援ソフトウェアを導入するなど、教育ICT環境の整備を行った。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

児童生徒1人1台の端末整備率 100%



△タブレットを活用した授業の様子



△学習用タブレット端末

公用車再整備事業

円

予算現額

8,113,620

決算額

7,495,075

節別決算額

需用費 963,376

役務費 278,715

使用料及び賃借料
6,252,984

施策の内容および成果

本市の地球温暖化対策実行計画等を踏まえ、老朽化して環境負荷の高い一般公用車を電気自動車等に順次入れ替えた。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
環境に配慮した公用車の整備台数 20台

	実績
EV車	5台
PHV車	1
ハイブリッド車	14
計	20

▽EV車



▽ハイブリッド車



▽PHV車



款 総務費

項 総務管理費

目 地域振興費

自治会コミュニティ活動支援補助金

	円
予算現額	350,000
決算額	156,000
節別決算額	
負担金補助及び交付金	156,000

施策の内容および成果

自治会が実施する、盆踊り、もちつき大会、文化祭など、誰でも参加が可能なイベントで使用する備品等に対し、補助金を交付した。

補助率は、対象経費の1/2とし、上限は、1自治会につき10万円とする。対象経費は、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費とする。

○交付実績
申請件数（年間） 3件（156,000円）



△もちつき大会の様子



△レンタルした備品



△使用している様子

地
域
振
興
課

自治会総合支援事業

地域振興課

	円
予算現額	64,106,376
決算額	63,757,968
節別決算額	
需用費	702,092
役務費	27,500
委託料	295,376
負担金補助及び交付金	62,733,000

施策の内容および成果

自治会の総合支援として加入促進・PR活動を行うとともに、自治会の要望に応じて集会施設の整備や用地借上げ等の一部の補助を行った。

- 自治会員の加入促進
 - ・自治会連合協議会と連携して、加入促進リーフレットおよび啓発グッズを配布
 - ・自治会の加入促進や担い手不足の解消を目的とした、研修DVDの作成・配布
- PR活動の実施
 - ・京成バスアナウンスによる自治会のPRの実施
 - ・加入促進懸垂幕の新規作成・掲示（第2庁舎・行徳支所・大柏出張所）
- 自治会等集会施設整備事業等補助金の支給

・集会施設新築事業	3件
・集会施設用地購入事業	1件
・集会施設用地借上事業	8件
・集会施設借上事業	11件
・集会施設改修等事業	12件



△加入促進リーフレット



△加入促進懸垂幕

款 総務費

項 総務管理費

目 地域振興費

自治会等提案地域活性化事業補助金

	円
予算現額	1,000,000
決算額	160,000
節別決算額	
負担金補助及び交付金	160,000

施策の内容および成果

地域の歴史や文化伝統を伝える取り組みや、市外の自治会との交流など、自治会が新たに提案し実施する地域の活性化につながる新規事業に対し、補助金を交付した。

補助率は、対象経費の9/10とし、上限は、単一自治会100万円、連合自治会200万円とする。

○交付実績

申請件数（年間） 1件（160,000円）

○実施事業

高齢者や障がい者を含め住民がより安心して生活できる環境を目指し、自治会の大人と子どもたちが一緒になって手作りのベンチを地域の7箇所に設置し、その事業に対し補助金を交付した。



△街かどベンチ

人権啓発事業

	円	施策の内容および成果
予算現額	2,199,330	
決算額	2,183,059	人権尊重意識の普及・高揚を図るため、人権の花運動等を実施し、人権啓発を促進した。
節別決算額		
報償費	303,900	○人権週間（令和3年12月4日～10日） 人権週間の懸垂幕の提示
需用費	488,655	千葉県子どもの人権ポスター原画コンテスト作品展の開催
役務費	60,404	○人権の花運動 市内公立小学校38校および義務教育学校1校、特別支援学校1校（2校舎）へ人権の花の苗等を配布
負担金補助及び交付金	1,330,100	○市川市多様性社会推進協議会 協議会を5回開催 「市川市における多様性社会の推進についての提言書」の提出 「市川市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度」施行

多様性社会推進課



△千葉県子どもの人権ポスター原画コンテスト作品展の様子

▽人権週間の懸垂幕



款 総務費

項 総務管理費

目 多様性社会推進費

DV相談支援事業

多
様
性
社
会
推
進
課

円

施策の内容および成果

予算現額

1,987,274

決算額

1,886,188

節別決算額

報償費

1,841,420

旅費

12,192

需用費

26,856

役務費

5,720

女性のための一般相談、DV相談、法律相談を実施した。また、DV、児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待に対応する庁内外の関係機関との連携強化等を図るため、「市川市家庭等における暴力等対策ネットワーク会議」を開催した。

○DV・一般相談

相談 日数	件数			相談内容（延件数）					
	電話	面談	計	家族 関係	対人 関係	生活 関係	医療 関係	法律 関係	その他
280日	2,022件	476件	2,498件	1,719件	313件	270件	110件	114件	385件

※相談内容は、各項目内および項目間でも異なる相談があった場合はそれぞれを1件とする。

○法律相談

相談 日数	件数	相談内容（延件数）					
		家族 関係	不動産 関係	相隣 関係	取引 関係	事故 賠償	その他
47日	101件	139件	6件	1件	1件	0件	5件

※相談内容は、各項目内および項目間でも異なる相談があった場合はそれぞれを1件とする。

○市川市家庭等における暴力等対策ネットワーク会議

令和3年度 議題「実績報告・事例検討」

DV相談件数（年間・延） 1,399件

総合市民相談事業

円

予算現額

6,599,932

決算額

6,429,434

節別決算額

報償費

6,290,350

需用費

139,084

施策の内容および成果

市役所第1庁舎および行徳支所の市民相談室において、市民の日常生活におけるさまざまな問題について相談員による民事相談および弁護士等専門家による特別相談を実施し、問題の早期解決を図り快適な市民生活の保持に努めた。

区 分	件 数	相 談 内 容	
一般相談	3,684 ^件	市 政 相 談	185 ^件
		民 事 相 談	2,967
		簡 易 相 談	532
特別相談	973	弁 護 士 法 律 相 談	524
		司 法 書 士 法 律 相 談	142
		行 政 相 談	3
		不 動 産 取 引 相 談	47
		登 記 相 談	66
		税 金 相 談	119
		交 通 事 故 相 談	16
		行 政 書 士 相 談	56
合計			4,657

款 総務費

項 総務管理費

目 総合市民相談費

消費生活センター相談及び啓発事業

	円
予算現額	1,787,000
決算額	1,620,353
節別決算額	
報償費	786,000
旅費	36,928
需用費	783,145
負担金補助及び交付金	14,280

施策の内容および成果

○相談事業

複雑化、多様化する消費者被害の相談体制の充実を図るため、消費生活相談員による相談およびあっせんを実施した。

また、国の「多重債務問題改善プログラム」に基づき、消費者金融等からの借金で苦しんでいる多重債務者を救済するため、弁護士による専門相談を実施した。

利用状況

施設名	相談件数			
	苦情	問い合わせ	要望	計
消費生活センター (行徳支所含む)	2,825件	265件	1件	3,091件

弁護士による多重債務専門の法律相談

相談日数	相談件数
27日	40件

○啓発事業

集会タイプの啓発活動は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けた。消費者被害の未然防止のため、高齢者クラブ・自治(町)会・学校等に出向き、消費生活相談員および職員による「出前消費者講座」を開催したが、例年と比べ大きく回数を減らした。また、日常生活に関わる各分野の専門講師を招いて暮らしに役立つ情報提供等を行う「消費生活講座」については、2回の開催を予定していたが、感染拡大防止を優先して開催しなかった。

また、悪質事例などを広報いちかわに掲載するとともに、くらしの情報紙「クオリティライフいちかわ」を年4回発行し、啓発活動を実施した。

講座開催状況

講座名	回数	受講者数
出前消費者講座	4回	141人

「市川の文化人展」等事業

予算現額	5,411,100
決算額	3,365,851

節別決算額	
報償費	200,000
需用費	115,369
役務費	1,932
委託料	3,048,550

施策の内容および成果

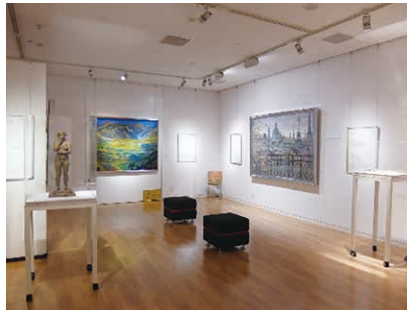
市の文化・芸術の振興を図るため、収蔵美術作品を紹介する展覧会を開催した。

【収蔵作品展】

- ①令和3年度収蔵作品展 第1期
会期：令和3年4月1日～6月20日（76日間）
会場：八幡市民会館（全日警ホール）中山メモリアルギャラリー
来場者：689人
- ②令和3年度収蔵作品展 第2期
会期：令和3年8月14日～10月31日（74日間）
会場：八幡市民会館（全日警ホール）中山メモリアルギャラリー
来場者：647人
- ③令和3年度収蔵作品展 第3期
会期：令和3年11月27日～4年2月27日（80日間）
会場：八幡市民会館（全日警ホール）中山メモリアルギャラリー
来場者：957人

収蔵作品展 来場者計 2,293人

文
化
芸
術
課



△「収蔵作品展」の開催の様子
(左より令和3年度第1期・令和3年度第2期・令和3年度第3期)

文化施策活性化事業

円

予算現額

36,200,000

決算額

35,999,020

節別決算額

需用費

999,020

負担金補助及び交付金

35,000,000

施策の内容および成果

市民が日常的に芸術や文化に親しみ、触れる機会の拡充を図るため、日本の伝統芸能を身近に感じられるイベントを開催した。また、街なかアート事業として地域や民間企業と連携・協力を図りながら作品制作や発表の場を創出した。

○伝統芸能イベント

- ・市川市歌舞伎イベント「市川笑三郎 女方の美」を行徳文化ホールI&Iで開催し、トークイベントおよびワークショップを実施した。
 会期：令和3年10月16日～17日
- ・子ども向けイベント「落語体験ワークショップ」を行徳文化ホールI&Iで開催した。会期：令和3年8月30日

○街なかアート事業

- ・公募作品による暖簾を制作し、市川・真間地区の商店に飾る「KUGURU展」を前年度に引き続き開催した。会期：令和4年3月1日～27日
- ・アーティストを招聘し、制作・発表を行うアーティスト・イン・レジデンス「Nakayama AIR」を実施し、ワークショップや滞在制作による作品などを中山法華経寺に展示した。成果展会期：令和4年3月12日～27日

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
 イベント等実施数 17件

文 化 芸 術 課



△「市川笑三郎 女方の美」
 チラシ



△「落語体験ワークショップ」
 チラシ



△「KUGURU展」で展示した暖簾の一例



△「Nakayama AIR」展示の一例

美術作品購入等事業

円

予算現額

50,093,000

決算額

43,769,000

節別決算額

報酬

37,000

備品購入費

43,732,000

施策の内容および成果

市の文化施設などで広く展示・活用を図り、多くの方が本市の文化・芸術に触れ、親しめる機会を増やすため、ゆかりある作家の美術作品11点を購入し、文化会館のリニューアルオープンに合わせて展示した。

	作品名	制作者	材質・技法
①	櫻（さくら）	福田千恵	紙本彩色、額装
②	麗妃（れいひ）	福田千恵	紙本彩色、額装
③	群像	中山忠彦	油彩キャンバス、額装
④	大和の国	土橋靖子	紙本墨書、額装
⑤	蕾芝山象嵌額 （つぼみしばやまぞうがながく）	秋山逸生	木象嵌、額装
⑥	BONSAI	大川友希	綿、古布
⑦	KIMEN	大川友希	ウレタン、古布
⑧	祈りの灯	大槌秀樹	映像データ
⑨	Blindness	川田龍	油彩キャンバス
⑩	無題	原倫太郎	紐、木材、モーター、滑車、ブラックライト
⑪	自連車（drawing）	東弘一郎	紙本彩色、額装

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

デジタル化作品数 35件

※なお、デジタルアートコレクション制作にかかる経費（委託料：11,819,500円）は、情報システム費にて支出しています。

文化芸術課



△購入美術作品の展示の様子(1)

①福田千恵作《櫻》 2013年（158×218cm）



△購入美術作品の展示の様子(2)

右：②福田千恵作《麗妃》 2013年（140×205cm）
左：③中山忠彦作《群像》 1964年（164.5×259cm）

款 総務費

項 総務管理費

目 文化振興費

文化会館大規模改修事業

円

施策の内容および成果

予算現額

4,955,293,880

決算額

4,879,754,212

節別決算額

需用費 16,942,500

委託料 128,319,070

工事請負費 4,685,450,000

備品購入費 49,042,642

昭和60年に開館した文化会館は、既に築30年以上が経過しており、建築基準法改正に伴う特定天井等の改修や、老朽化し不具合の出ている各種設備の更新が必要であることから、改修を実施した。

平成30年度から令和元年度は設計業務委託を実施、令和2年度および3年度は以下の改修工事を実施し、令和4年4月にリニューアル開館した。

- ・建築基準法改正に伴う特定天井の改修
- ・消防設備等法令改正に伴う改修
- ・開館30年以上を経過したことによる経年劣化した設備等の改修
- ・バリアフリー化による、高齢者や障がい者の施設利用における安全性・利便性向上の改修



◁大ホール
(天井、客席、舞台設備等改修)



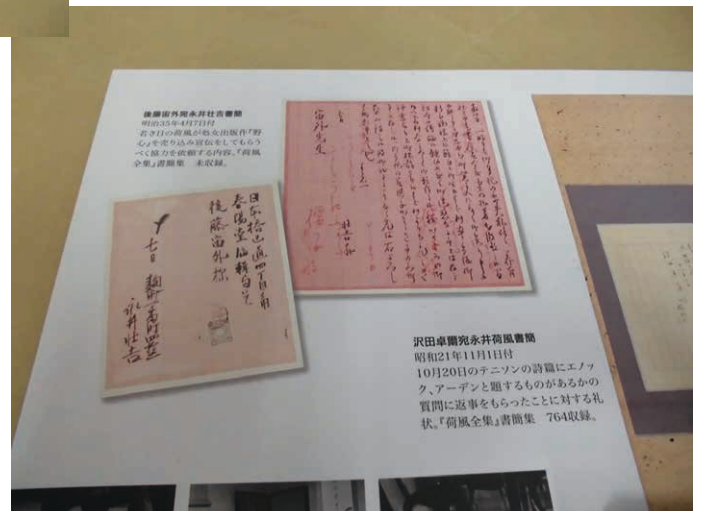
正面入口▷
(入口扉、館名ロゴ改修)

文学ミュージアム管理運営事業

		円	施策の内容および成果
予算現額	3,000,000		
決算額	2,997,866		市川にゆかりの作家の直筆原稿、書簡、色紙等の一次資料および初版の書籍を収集した。
節別決算額			○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
備品購入費	2,997,866		新規収集資料数 23点
			収集を行った資料の一部は、令和3年度に開催した「収藏品展」で展示を行い市民に公開するとともに、同展図録にも掲載した。



〈購入資料例〉
 後藤宙外宛永井壮吉書簡
 (明治35年4月7日付)
 『荷風全集』未収録書簡
 若き日の永井荷風直筆の
 書簡



款 総務費

項 総務管理費

目 市民協働推進費

いちかわ市民活動サポート制度事業

	円	施策の内容および成果
予算現額	7,634,000	
決算額	5,735,806	市内で公共性の高い活動や社会貢献活動を行っている団体に対し、財政的な支援として、1事業に限り、その経費の1/2、上限30万円（申請4回目以降は上限15万円）までの補助金を交付した。
節別決算額		
報酬	273,000	○市民活動団体事業補助金
報償費	80,000	支給実績 年間 47件 4,487,574円
役務費	90,232	
負担金補助及び交付金	4,487,574	個人、企業から寄附金を積み立てる市民活動総合支援基金の活用により、市民活動全体へのサポートを実施した。
積立金	805,000	○市民活動等に対する関心を高め、活動の促進をサポート 事業の全体像や、補助金の活用を促進するための周知を実施した。
		○紹介紙の発行 補助金交付団体の活動や補助金の活用方法について周知した。

防犯対策事業

予算現額

8,606,470

決算額

6,347,201

節別決算額

需用費 3,370,004

役務費 1,028,897

負担金補助及び交付金
1,948,300

円

施策の内容および成果

街頭犯罪の抑止と、市民の体感治安を改善し、犯罪の無い安全で安心して暮らせる地域社会づくりのため、市・市民・関係団体等が連携を図り、各種防犯対策事業を実施した。

○ボランティアパトロール

登録者数 2,812人

○自主防犯活動への支援

希望する自治会等147団体に防犯活動用物品を支援

○特殊詐欺対策電話機等購入費補助金

288件の補助を実施



△(左) 通話録音機能付き電話機
(右) 迷惑電話防止機器



△自主防犯団体への配布物品の例

款 総務費

項 総務管理費

目 生活環境費

市民マナー条例推進事業

円

施策の内容および成果

予算現額

9,313,190

決算額

8,282,474

節別決算額

災害補償費	100,190
報償費	3,362,391
需用費	3,323,253
役務費	295,440
委託料	1,201,200

歩きタバコや空き缶等のポイ捨て、犬のふんの放置等に関して、基本的なルールを定めた市川市市民等の健康と安全で清潔な生活環境の保持に関する条例（通称：市民マナー条例）を推進し、健康で安全かつ清潔な生活環境の実現を図った。

○電柱標示板の設置（120箇所）

○路面シート（537枚）、横断防止柵への看板（32枚）、電柱幕（12枚）を設置

○啓発シールの配布（979枚）

○市民マナー条例推進指導員の巡回

市民マナー条例推進指導員が、路上禁煙・美化推進地区を中心に、条例の周知徹底や違反者に対する過料徴収等の巡回指導を行った。（過料件数 2,174件）

○市民マナー条例および防犯啓発ポスター・標語コンクール

市内の小・中学校を対象に市民マナー条例および防犯に関するポスター・標語作品を募集し、児童、生徒の作品を通じて市民に条例等を周知するほか、入賞作品をリーフレットやカレンダー等に活用した。

（令和3年度応募件数 ポスター887件、標語652件）

○市民マナーサポーター

条例の推進を図るための有償ボランティアであり、市内各駅周辺等で地域清掃等の活動を行った。

（令和4年3月末登録者数 189人）

○市民マナー協力団体

市民団体や事業者を対象とした無償のボランティア団体であり、地域の見回り活動や清掃活動等を行った。

（令和4年3月末登録数 民間企業や大学・高齢者クラブ等24団体）



△入賞ポスター



◁路面シート



◁電柱標示板

東山魁夷記念館管理運営事業

東山魁夷記念館

	円
予算現額	85,101,791
決算額	80,213,997
節別決算額	
報酬	37,000
報償費	646,000
旅費	817,000
需用費	28,137,725
役務費	3,272,570
委託料	37,613,632
使用料及び賃借料	2,040,000
原材料費	650,070
備品購入費	7,000,000

施策の内容および成果

20世紀を代表する本市ゆかりの日本画家、東山魁夷画伯に関する作品や資料を展示公開し、その業績を顕彰するとともに、本市の芸術文化の向上に寄与することを目的に建設した記念館の管理運営を行った。

また、身近に芸術文化に親しむ機会を増やし、本市の魅力をより高め、来館者の増加を図るため、東山魁夷画伯の絵画を購入した。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

東山魁夷記念館来館者数 14,782人

○展覧会

テーマ	会期	来館者数
開館15周年記念 通常展 第二期 「風景画家 東山魁夷の軌跡Ⅱ」 ドイツ再訪の旅と白い馬の見える風景	令和3年 4月1日から5月23日まで	人 2,726
通常展 第一期 「風景画家 東山魁夷のあゆみⅠ」 風景開眼	令和3年 5月29日から8月1日まで	2,254
通常展 第二期 「風景画家 東山魁夷のあゆみⅡ」 心象風景	令和3年 8月7日から10月31日まで	3,258
特別展 「川崎家の系譜」 ー東山魁夷と川崎家の画家たちー	〔前期〕令和3年 11月6日から12月26日まで	2,629
	〔後期〕令和4年 1月5日から3月13日まで	2,997
通常展 第三期 「風景画家 東山魁夷のあゆみⅢ」 風景巡礼	令和4年 3月19日から3月31日まで	918

○令和3年度購入絵画

東山魁夷《萌春》(軸装)
掛軸サイズ 141cm×66cm
画寸 43cm×52cm



東山魁夷記念館の外観▷

款 総務費

項 総務管理費

目 スポーツ費

スポーツ施設整備改修事業

円

施策の内容および成果

予算現額

332,635,271

決算額

234,901,705

節別決算額

需用費 32,689,096

工事請負費 185,559,000

備品購入費 16,653,609

市川市スポーツ振興基本計画に基づき、「安全・安心」な施設を提供することを目的として、スポーツ施設の整備を進めた。

○令和3年度実績

スポーツセンター陸上競技場の公認認定を更新するための走路改修や、老朽化していた人工芝等の改修を実施した。このほか、市内公共施設の安全性・利便性向上に寄与する工事・修繕等を実施した。

- ・市川市国府台市民体育館屋内外排水管等修繕
- ・青葉少年スポーツ広場砂入人工芝張替修繕
- ・北方多目的広場グラウンド不陸整正等修繕
- ・江戸川河川敷野球場第3号グラウンド不陸整正等修繕
- ・市川市国府台市民体育館柔道場・剣道場高天井照明器具修繕
- ・市川市スポーツセンター陸上競技場改修工事 ほか
- ・陸上競技場用備品等購入

ス
ポ
ー
ツ
課



△市川市スポーツセンター陸上競技場改修工事後



△市川市スポーツセンター陸上競技場改修工事後



△市川市国府台市民体育館柔道場・剣道場高天井照明器具修繕後



△青葉少年スポーツ広場砂入人工芝張替修繕後

夢の教室関連事業

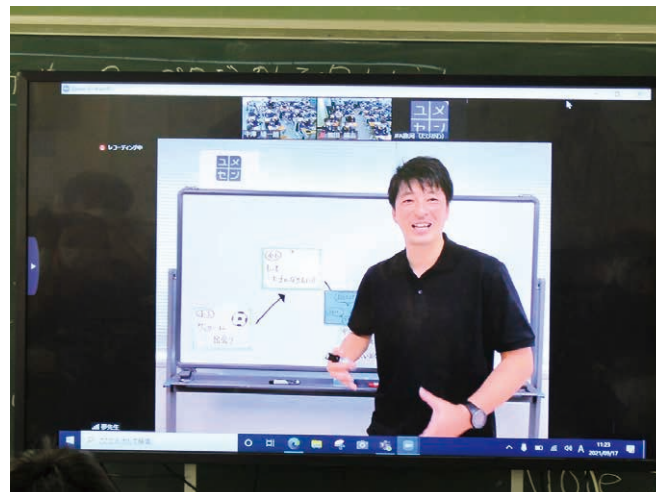
	円
予算現額	6,866,000
決算額	5,589,296
節別決算額	
需用費	116,876
委託料	5,472,420

施策の内容および成果

公益財団法人日本サッカー協会と連携を図り、現役のトップアスリート等に登壇していただき、自らの体験を基に「夢を持つこと、それに向かって努力することの大切さ」、「仲間と協力することや助け合うことの重要性」等を市立小・中学校等の子どもたちに伝えた。

○夢の教室実施状況

平成27年度実績：24校94クラス、公募型2回
 平成28年度実績：20校74クラス、公募型2回
 平成29年度実績：24校92クラス、公募型2回
 平成30年度実績：20校75クラス、公募型2回
 令和元年度実績：23校81クラス、公募型1回
 令和2年度実績：10校31クラス、公募型なし
 令和3年度実績：19校59クラス、公募型なし



△夢の教室開催時の様子

例年、講師を派遣して行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和3年度はオンラインでの実施となった。

款 総務費

項 総務管理費

目 スポーツ費

オリンピック・パラリンピック関連事業

円 施策の内容および成果

予算現額

27,048,637

決算額

25,972,811

東京2020大会の開催に際し、市民のスポーツへの興味関心の向上や機運の醸成、また、スポーツを通じた地域活性化を図った。

節別決算額

需用費

305,811

負担金補助及び交付金

25,667,000

○事業内容

- ・「いちかわスポーツフェスタ」の開催（オンライン）
- ・事前合宿・事後交流の実施
- ・塩浜市民体育館をバレーボール公式練習会場として提供
- ・応援の花・のぼり旗の設置
- ・聖火リレー関連イベントへの参加
- ・ホストタウン・大会関連イベント（展示会等）の実施

ス
ポ
ー
ツ
課



△スポーツフェスタオンラインの様子



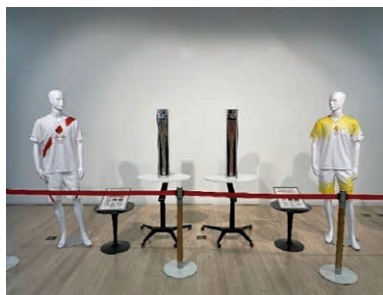
△応援ののぼり旗を見る選手団



△スポーツセンターに設置したマリーゴールド



△事前合宿・事後交流の様子



△聖火トーチ展示会



△ブルガリア共和国展示会

国府台公園再整備事業

	円
予算現額	577,040,000
決算額	6,429,621
節別決算額	
委託料	6,429,621

施策の内容および成果

国府台公園（スポーツセンター）再整備基本計画に基づき、スポーツ施設と公園の両面における機能向上や、環境整備を進め、市民の健康増進と交流の場として再整備を進めた。

○令和3年度実績

令和2年度より継続して国府台公園野球場の設計業務を進めているが、令和3年3月に着工した既存施設の解体工事に伴う調査により、契約時に想定されていた以上の埋蔵文化財保護対応が必要となったため、継続して設計業務を進めた。このほか、野球場内の埋蔵文化財調査や、他施設において再利用する予定のスコアボード保管業務委託および公園境界を確定する業務委託を実施した。

・国府台公園野球場整備工事（継続費）

工事場所：国府台1丁目6番4号

工 期：令和2年12月11日から5年3月22日

請負金額：2,699,400,000円

・市川市国府台公園野球場スコアボード保管業務委託

施行場所：高谷新町1丁目1

期 間：令和3年8月30日から4年1月5日

委託金額：904,717円

・公共嘱託登記業務委託（国府台公園）

施行場所：国府台1丁目6番4号

期 間：令和3年7月1日から4年3月16日

委託金額：5,524,904円

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標と実績

国府台公園野球場の工事の進捗率 11%



△旧施設解体後

▽埋蔵文化財調査の様子



感染症療養者等支援事業

円

施策の内容および成果

予算現額 22,813,289

決算額 22,813,289

節別決算額
 需用費 21,287,369
 委託料 1,525,920

新型コロナウイルス感染症の罹患により外出制限を受け、生活用品を調達することができず不自由な生活を送っている市民の生活の安定を図るため、自宅で療養する新型コロナウイルス感染症罹患者と同居している家族等に対し、生活応援セット（食料品、日用品等）を配達した。

配達月	世帯数	配達人数
4月	0世帯	0人
5月	1	2
6月	0	0
7月	2	4
8月	18	35
9月	15	56
10月	8	23
11月	0	0
12月	2	5
1月	130	248
2月	548	1,047
3月	723	1,525
計	1,447	2,945

令和3年度は1,447世帯、2,945人
 （平均：120.6世帯、245.4人/月）（15,766円/世帯、7,746円/人）



△生活応援セットのイメージ

地域ケアシステム推進事業

	円
予算現額	17,986,000
決算額	15,463,521
節別決算額	
需用費	561,861
役務費	26,060
使用料及び賃借料	3,171,600
負担金補助及び交付金	11,704,000

施策の内容および成果

地域ケアシステムは、市内14の「地区社会福祉協議会」が活動の中心となって取り組んでいる。公共施設等に設置された「地域ケアシステム拠点」でのよる相談、地域情報の収集・発信、誰もが気軽に参加することができるサロン活動の実施や地域の課題等を話し合う「地域ケアシステム推進連絡会」の開催など、地域住民が主体となって行う地域福祉活動を市川市社会福祉協議会と行政が支援し、福祉コミュニティの充実を図るための取り組みを実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度は拠点ごとの定員を定めたガイドラインに沿い、感染症対策の準備が整った地区より拠点を再開させた。

また、サロン活動では、①事前予約制や参加対象者を限定した開催、②オンライン（ライブ配信）での開催、③自宅訪問型の対面サロンの開催、を新たな取り組みとして推奨した。

- ・地域ケアシステム拠点：14地区（15箇所）
 北部圏域…国分、曾谷、大柏、宮久保・下貝塚
 西部圏域…市川第一、市川第二、国府台、真間、菅野・須和田
 東部圏域…八幡、市川東部、信篤・二俣
 南部圏域…行徳、南行徳（第一、第二）

- ・令和3年度地域課題の共有・解決に向けた検討のための各種会議等の実績

地域ケアシステム推進連絡会	3回
相談員会議	84回
サロン開催数	762回
サロン参加者数	6,874人
拠点来所者数	12,095人



△市川東部地区拠点における相談の様子

款 民生費

項 社会福祉費

目 社会福祉総務費

成年後見制度利用支援事業

		円	施策の内容および成果
介護福祉課	予算現額	24,690,000	成年後見制度に係る相談支援等を市川市社会福祉協議会に業務委託し、相談受付・申請支援・制度の啓発・市民後見人の養成等を行った。
	決算額	24,690,000	
	節別決算額 委託料	24,690,000	<ul style="list-style-type: none"> ○相談件数 482件 ○申立支援件数 324件 ○市民・関係機関等への講演会 3件

款 民生費

項 社会福祉費

目 障がい者支援費

地域生活支援拠点等整備事業

		円	施策の内容および成果
障がい者支援課	予算現額	8,100,000	障がい者等の重度化、高齢化および「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能（相談、緊急時の受入対応等）を整備するため、市川市地域生活支援拠点等コーディネーター業務委託を行い、緊急時に支援を必要とする者の登録を行った。
	決算額	7,128,100	
	節別決算額 委託料	7,128,100	○地域生活支援拠点等における登録申込者数 61人

自立支援給付事業(介護給付費・訓練等給付費)

障がい者支援課

円

予算現額

6,253,775,615

決算額

6,156,606,904

節別決算額

役務費

5,734,050

扶助費

6,150,872,854

施策の内容および成果

障がい者等が生活の介護や身体機能の維持・向上、就労のための訓練などの指定障害福祉サービスを受けたとき、そのサービスに要した費用について介護給付費および訓練等給付費を支給した。

○介護給付費等支払手数料 5,734,050円

○介護給付費および訓練等給付費 下表のとおり

種別		延人数	金額
介護給付費	居宅介護	7,666人	845,738,930円
	重度訪問介護	373	145,601,851
	同行援護	1,013	48,091,966
	行動援護	45	2,805,784
	療養介護	171	44,499,170
	生活介護	9,787	2,130,577,726
	短期入所	1,416	135,298,993
	施設入所支援	2,334	352,470,182
小計		22,805	3,705,084,602
訓練等給付費	自立訓練	660	60,332,864
	就労移行支援	2,332	426,727,390
	就労継続支援	8,026	1,050,377,423
	就労定着支援	1,310	38,576,754
	自立生活援助	84	1,345,698
	共同生活援助	4,286	868,428,123
小計		16,698	2,445,788,252
合計		39,503	6,150,872,854

地域生活支援事業

障
が
い
者
支
援
課

	円
予算現額	510,946,648
決算額	460,639,383
節別決算額	
報償費	705,300
旅費	116,383
需用費	46,496
役務費	4,181,606
委託料	51,699,000
負担金補助及び交付金	134,601,093
扶助費	269,289,505

施策の内容および成果

障がい者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による「地域生活支援事業」を実施した。

○基幹相談支援センター

基幹相談支援センター（えくる大洲ステーション、えくる行徳ステーション）において、障がい者等からの相談に応じて、必要な情報提供および助言等を行った。

相談件数	18,970件	支出額	50,000,000円
------	---------	-----	-------------

○成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の市長申立に要する費用を負担するとともに、成年後見人等の報酬助成を行った。

市長申立	6件	支出額	144,887円
利用実績	41件	支出額	10,078,000円

○日常生活用具給付事業

重度障がい者等に対し、自立支援生活用具等の日常生活用具の給付を行った。

支給件数	7,414件	支出額	88,845,067円
------	--------	-----	-------------

○移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者等について、社会生活上必要不可欠な外出および余暇活動等の社会参加のための外出時の移動を支援した。

延利用者数	4,304人	支出額	102,077,120円
-------	--------	-----	--------------

○地域活動支援センター運営費補助事業

障がい者等が地域社会の中で作業訓練および生活支援を通じて自立を図るため、民間が設置する地域活動支援センターに対し運営費の補助を行った。

補助対象事業所数	12箇所	支出額	134,601,093円
----------	------	-----	--------------

○その他事業（障がい者訪問入浴、日中一時支援事業費等）

支出額	74,893,216円
-----	-------------

事業経営(運営)支援事業

障がい者支援課

円	
予算現額	83,179,000
決算額	68,957,000
節別決算額	
負担金補助及び交付金	68,957,000

施策の内容および成果

生活介護等の障がい福祉サービス事業を行う者の経営の支援を図ることを目的として、事業所の家賃や開設時の備品の購入経費等を補助する市川市指定障害福祉サービス事業所家賃等補助金を交付している。この補助金において、既存事業所における家賃の補助率を賃料の50%（上限10万円）から10%ずつ漸減する経過措置を設けているが、この経過措置の最終年度である令和3年度に限り、補助率を当初の10%（上限2万円）から令和2年度と同じ20%（上限4万円）とし、家賃等の補助を行った。

○補助対象事業所数 99箇所（うち経過措置対象の補助対象事業所 68箇所）

介護施設等整備事業

福祉政策課

円	
予算現額	48,702,000
決算額	48,702,000
節別決算額	
負担金補助及び交付金	48,702,000

施策の内容および成果

増加していく介護需要に対応しながら、高齢者が住み慣れた地域において継続して日常生活を営むため、高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、介護サービス提供体制の整備を計画的に推進した。

○令和3年度の実績

施設名 グループホームつどい「伊勢宿家」
 法人名 メディカル・ケア・プランニング 株式会社
 定員 18人
 所在地 伊勢宿14-16
 開設日 令和4年4月1日

【施設整備】

補助基準額33,600,000円×1施設×補助率10/10=補助金額33,600,000円

【開設準備】

補助基準額839,000円×定員18人×補助率10/10=補助金額15,102,000円

計 48,702,000円

養護老人ホーム措置事業

円

施策の内容および成果

予算現額

136,424,000

決算額

130,537,519

節別決算額

委託料

107,156,595

扶助費

23,380,924

経済的および環境上の理由により、在宅での生活が困難な方を、老人福祉法第11条に基づき、養護老人ホームに入所措置を行った。

措置人数 : 43人 (いこい荘31人、管外施設12人)
(令和4年3月末時点)

○市川市立養護老人ホーム

指定管理者である社会福祉法人市川朝日会による市川市立養護老人ホームいこい荘の管理運営を行った。

延措置人数 : 474人
指定管理料 : 107,156,595円

○管外施設

市川市立養護老人ホームいこい荘以外の養護老人ホームに入所措置を行った。

措置施設数 : 6施設
延措置人数 : 113人
措置費用 : 23,380,924円

高齢者見守り支援事業

予算現額

1,412,000

決算額

1,193,856

節別決算額

役務費

9,168

委託料

1,184,688

円

施策の内容および成果

高齢者等の安否確認および急病、事故等の緊急事態への対応を図るため、自宅に見守り通報装置を設置し、見守り通報システムの提供を行うことにより、日常生活における不安の解消を図った。

設置台数	96台
(令和4年3月末時点)	

▽サービス内容



国民年金事業

円

予算現額

1,875,000

決算額

1,439,921

節別決算額

需用費

1,229,722

役務費

210,199

施策の内容および成果

厚生労働省からの法定受託事務として、日本年金機構の行う業務の一部を行った。

○第1号被保険者数の状況

区分	強制	任意	計
令和3年度	55,969人	814人	56,783人
令和2年度	55,932	796	56,728

○拠出制年金の受給状況

区分	老齢	通算 老齢	老齢 基礎	障害	障害 基礎	遺族 基礎	寡婦	計
令和3年度	419人	469人	97,225人	47人	2,624人	556人	36人	101,376人
令和2年度	538	589	96,522	51	2,517	554	34	100,805

○福祉年金の受給状況

区分	老齢福祉年金	障害基礎年金	計
令和3年度	0人	2,723人	2,723人
令和2年度	0	2,636	2,636

障がい者福祉施設事業

障
が
い
者
施
設
課

	円
予算現額	40,852,000
決算額	39,411,852
節別決算額	
報償費	2,198,800
旅費	23,200
需用費	13,120,753
役務費	3,682,861
委託料	17,989,515
使用料及び賃借料	898,944
備品購入費	300,000
負担金補助及び交付金	800,000
扶助費	350,179
公課費	47,600

施策の内容および成果

知的障がい者、身体障がい者および精神障がい者が、地域社会の中でその人らしい生活を送ることができるような様々な支援を行った。

○フォルテ行徳（生活介護・就労継続支援B型）

定員	31人
在籍者	28人（生活介護 20人 就労継続支援B型 8人）
生活支援	創作的活動（園芸、手芸）、外出支援
作業支援	箱の組立、パンフレット差込作業、雑誌の付録詰め等、公園清掃
生産額	2,474,750円
公園清掃	1,204,428円

○明松園（生活介護）

定員	40人
在籍者	31人
生活支援	創作的活動（園芸・手芸）、ウォーキング、絵画、書道等
作業支援	箱の組立、パンフレット差込作業および袋詰め作業、エプロンの縫製等、公園清掃
生産額	480,862円
公園清掃	167,856円

○身体障がい者福祉センター

利用状況	開所日数	226日
	延利用者数	985人
生活支援	創作活動	ちぎり絵、革手芸、組み紐
	社会適応活動	音楽、ペン習字、リハビリテーション
	更生相談	整形相談
	レクリエーション	ボッチャ、ボウリング等
送迎リフトバスの運行	運行日数	244日
	延利用者数	921人



△公園清掃の様子（フォルテ行徳）



△園芸活動の様子（明松園）

市営住宅営繕事業

	円
予算現額	100,000,000
決算額	82,247,000
節別決算額	
工事請負費	82,247,000

施策の内容および成果

市営住宅を良好な状態で維持するために、市川市公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存施設の大規模修繕等を行い、維持保全に努めた。

- 令和3年度実施工事
 - 曾谷第四団地A・B棟外壁・屋上防水等改修工事
 - 柏井第一団地3号棟外壁・屋上防水等改修工事
 - 塩浜団地2号棟排水設備改修工事

市川市公営住宅等長寿命化計画（令和3年3月更新）における進捗率
 令和3年度 10%（3件/30件）

曾谷第四団地A・B棟外壁・屋上防水等改修工事



△着工前



△完成

柏井第一団地3号棟外壁・屋上防水等改修工事



△着工前



△完成

いちかわ生活よりそい臨時特別給付金給付事業

円

予算現額

4,086,638,000

決算額

2,818,292,240

節別決算額

需用費 47,777

役務費 7,241,936

委託料 46,902,527

負担金補助及び交付金 2,764,100,000

施策の内容および成果

国の「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」の対象外となる課税世帯のうち世帯の合計所得金額が200万円以下の世帯に対して、本市独自で1世帯当たり、10万円を27,641世帯に給付した。



対象(どちらにもあてはまる世帯)

- 世帯全員の令和2年分の「合計所得が200万円以下」の令和3年度住民税課税世帯
- 「住民税非課税等に対する臨時特別給付金」の対象ではない世帯

支給手続き

- 令和3年12月10日時点で市川市に住民登録があり、対象の可能性のある世帯には、市川市から、給付内容や確認事項が書かれた確認書が届きます。
- 中身を確認して、市川市に**返送してください**。

【確認事項】

- ①記載された給付金振り込み口座に誤りがないか
- ②確認欄の項目内容に該当するか
- ③氏名・確認日等の記入漏れがないか



支給時期

市川市が確認書(または申請書)を受理した日から1カ月後が目安です。

！ 意図的に虚偽の申請をした場合は、不正受給(詐欺罪)に問われる場合があります。

お問い合わせ先

市川市臨時特別給付金コールセンター

☎ 047-712-8390

受付時間 平日9:00~17:00

いちかわ生活よりそい臨時特別給付金の「振り込み詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください！



自宅や職場などに市川市、都道府県・国(の職員)などをかたる不審な電話や郵便があった場合は、市川市や最寄りの警察署か警察相談専用電話(#9110)にご連絡ください。

△給付金のチラシ

款 民生費

項 児童福祉費

目 児童福祉総務費

ファミリー・サポート・センター事業

こ
ど
も
家
庭
支
援
課

	円
予算現額	27,834,000
決算額	27,391,210
節別決算額	
委託料	27,391,210

施策の内容および成果

地域ぐるみでの子育て支援を目指して、生後2か月から小学校6年生までの子どもの育児の援助を必要とする依頼会員と、その援助を行う協力会員、その両方を兼ねる両方会員による相互援助活動を行った。

○令和3年度活動実績 12,916件

○会員数（令和4年3月31日現在）

依頼会員	5,529人
協力会員	443
両方会員	353
計	6,325

款 民生費

項 児童福祉費

目 児童福祉総務費

親子つどいの広場事業

こ
ど
も
家
庭
支
援
課

	円
予算現額	23,131,000
決算額	23,064,175
節別決算額	
需用費	5,747,500
役務費	264,675
委託料	17,052,000

施策の内容および成果

妊婦と0歳～3歳までの親子を対象として、保護者の負担を緩和し、安心して子育てできる環境を整えるため、気軽に利用できる広場を開所し、仲間作りや子育てに関する情報提供を行った。

○令和3年度延利用者数 18,058人

○設置状況

新井親子つどいの広場（新井地域ふれあい館内）	新井3丁目31番1号
八幡親子つどいの広場（アクス本八幡2階）	八幡3丁目4番1号
新浜親子つどいの広場（市立南新浜小学校）	新浜1丁目26番1号

地域子育て支援センター事業

予算現額	91,465,000
決算額	91,465,000
節別決算額	
委託料	91,465,000

円

施策の内容および成果

妊婦と0歳～就学前までの親子を対象として、保護者の負担を緩和し、安心して子育てができる環境を整えるため、保育園等の機能を活かし、遊び場の提供のほか、育児相談や子育てに関する情報提供等を行った。

○令和3年度延利用者数 47,942人

○設置状況

さかえ・こどもセンター (風の谷こども園内)	北国分4丁目10番3号
シーガル・こどもセンター (愛泉保育園内)	幸2丁目8番17号
妙典保育園地域子育て支援センター (妙典保育園内)	妙典6丁目2番45号
こあらっこ・こどもセンター (国府台保育園内)	国府台2丁目9番13号
わたぐも・こどもセンター (わたぐも保育園内)	原木2丁目10番13号
チェリーズ・こどもセンター (さくらんぼ保育園内)	市川南2丁目6番22号
キッド・ステイこどもセンター (キッド・ステイ南行徳保育園内)	香取2丁目19番10号
CMSいちかわキッズ子育て支援センター (市川キッズステーション内)	市川南1丁目10番1号 (ザ タワーズ ウエスト 3階)
昭和学院もこもこ・こどもセンター (昭和学院短期大学内)	東菅野2丁目17番1号
地域子育て支援センター結 (広尾みらい保育園内)	広尾2丁目3番1号
CMS市川大野子育て支援センター (市川大野ナーサリースクール内)	大野町3丁目1438番地の1

※地域子育て支援センター結は、令和3年9月末で閉所

款 民生費

項 児童福祉費

目 児童福祉総務費

児童虐待対策事業

	円
予算現額	2,185,800
決算額	1,895,192
節別決算額	
報償費	1,247,640
旅費	10,142
需用費	231,614
役務費	379,396
使用料及び賃借料	26,400

施策の内容および成果

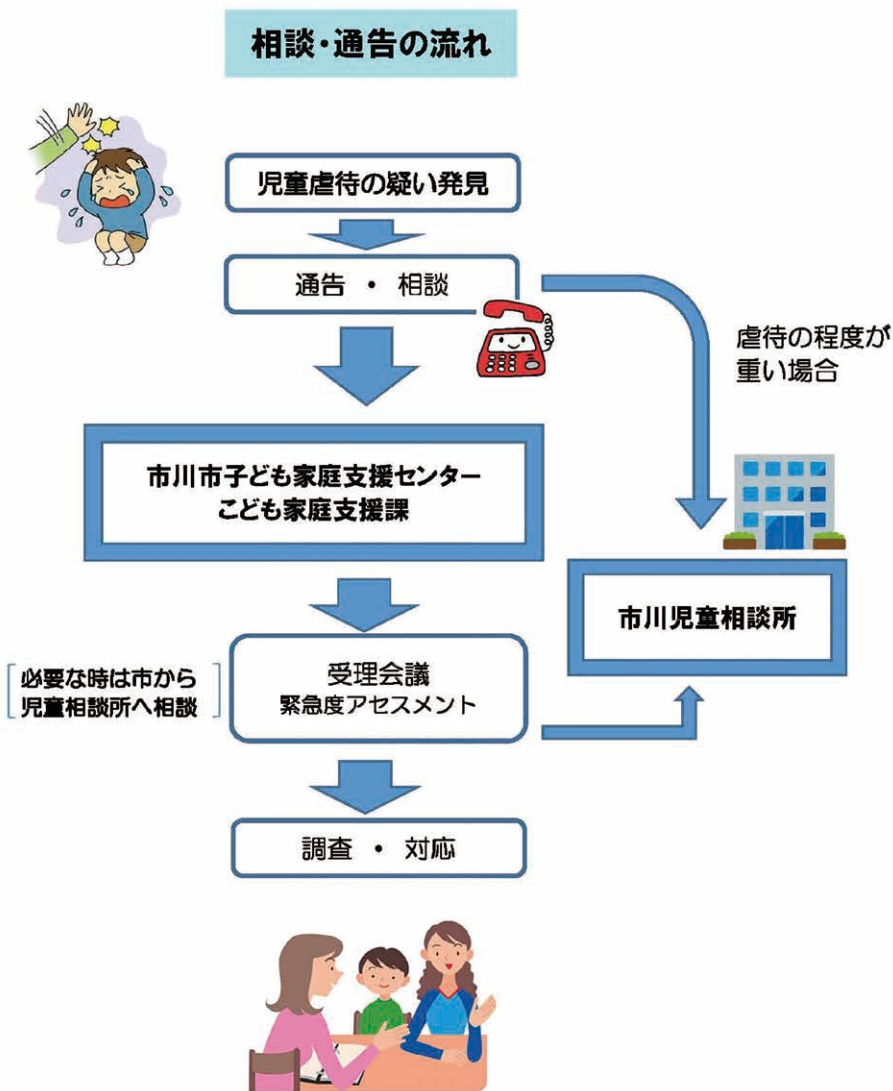
児童虐待相談や通報に対応するため、子ども家庭支援センターに相談員を配置し、関係機関と連携を図りながら迅速に対応した。

また、弁護士や嘱託医の助言等により支援体制の強化を図った。

児童虐待の予防活動としては、市民や関係機関を対象とした周知活動や講演会などの啓発を行った。

○令和3年度児童虐待対応件数（延） 11,628件

こども家庭支援課



子ども施設感染症対策

円

予算現額

216,700,000

決算額

127,460,980

節別決算額

〔目名 児童福祉総務費〕

需用費 4,867,037

負担金補助及び交付金
109,098,000

〔目名 保育園費〕

需用費 10,498,928

〔目名 幼稚園費〕

需用費 2,997,015

施策の内容および成果

保育施設や子育て支援施設等において、新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、マスク、消毒液等の感染症対策用物品の購入および購入に要した費用等の補助を行った。

○対象経費

感染防止用の物品購入	こども用マスク、消毒液、体温計、職員用マスク、液体石鹸、うがい薬、空気清浄機、除菌シート、三密防止を目的として増設した机・椅子 等
施設の消毒経費	施設の消毒用物品購入費や消毒事業者への委託費 等
保育を継続的に実施していくための経費	職員が時間外に消毒・清掃等を行った場合の超過勤務手当や休日勤務手当等の割増賃金等、施設の感染防止対策の一環として、職員個人が施設や日常生活において必要とする物品等の購入支援

○対象施設・事業

保育園、保育所型認定こども園、小規模保育事業所、事業所内保育事業所、家庭的保育事業、認可外保育施設、公立幼稚園、子育て支援施設、延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育事業

款 民生費

項 児童福祉費

目 児童福祉総務費

簡易保育園園児補助金

こ
ど
も
施
設
入
園
課

	円
予算現額	57,104,000
決算額	56,971,567
節別決算額	
負担金補助及び交付金	56,971,567

施策の内容および成果

簡易保育園に在園する園児の保護者に補助金を交付することで、保護者の経済的負担を軽減し、乳幼児の健全な育成に資することおよび待機児童の解消に努めた。

○実績

区分	対象人数	支出額
3歳未満児	227人	49,158,967円
3子加算分	32	7,812,600
計	259	56,971,567

款 民生費

項 児童福祉費

目 児童福祉総務費

簡易保育園関係補助金

こ
ど
も
施
設
入
園
課

	円
予算現額	23,672,000
決算額	18,669,856
節別決算額	
負担金補助及び交付金	18,669,856

施策の内容および成果

市内の簡易保育園で一定の基準を満たしている施設に対して、運営費の一部を補助することで、簡易保育園の保育環境と保育の質の向上を促し、安全で安心な保育を確保するとともに、簡易保育園への入園者の増加を図った。

○対象施設：13施設

項目	対象施設	支出額
施設補助	13施設	4,317,100円
職員補助	13	12,393,000
健康診断補助	10	1,690,216
紙おむつ処理経費補助	9	269,540
計	—	18,669,856

幼稚園類似施設園児補助金

予算現額	16,200,000
決算額	14,740,000
節別決算額 負担金補助及び交付金	14,740,000

施策の内容および成果

小学校就学前の子どもを対象とした幼稚園類似施設（幼児教育・保育の無償化の対象とならないものの、地域や保護者のニーズに応え、職員配置や開所時間、設備等、市が定める基準を満たす施設）を利用する園児の保護者に対し補助金を交付することにより、保護者の経済的負担軽減を図った。

○実績

単価（月額）	対象人数	支出額
20,000円	110人	14,740,000円



款 民生費

項 児童福祉費

目 児童福祉総務費

私立幼稚園幼児教育振興費補助金

円	施策の内容および成果
予算現額	
89,267,000	
決算額	
85,583,068	<p>私立幼稚園および幼稚園型認定こども園の設置者に対し、教材費、教員研修費、障がい児指導費、預かり保育支援費、施設設備整備費、災害対策費および災害共済給付費について補助金を交付し、幼児教育の充実と振興を図った。</p>
節別決算額	
負担金補助及び交付金	
85,583,068	<p>○対象施設</p> <p>私立幼稚園：30園 幼稚園型認定こども園：1園 計：31園</p> <p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の購入に要する費用 6,264,900円 (園児1人当たり1,700円) ・教員の研修に要する費用 2,188,524円 (1園当たり60,000円+教員1人当たり9,800円) ・障がい児の指導に要する費用 22,440,000円 (障がい児1人当たり330,000円または 専任職員1人当たり990,000円とを比較しどちらか高い方) ・預かり保育に要する費用 12,959,109円 (教員1人当たりの人件費の2分の1の額：上限400,000円) ・施設および設備等の整備に要する費用 40,209,808円 (諸経費の3分の2の額：上限1,440,000円) ・非常用食料等の備蓄に要する費用 1,332,722円 (園児1人当たり500円) ・災害共済給付制度への加入に要する費用 188,005円 (園児1人当たり95円) <p style="text-align: right;">計：85,583,068円</p>

こ
ど
も
施
設
入
園
課

私立幼稚園預かり保育事業費補助金

	円
予算現額	90,342,000
決算額	87,335,600
<hr/>	
節別決算額	
負担金補助及び交付金	87,335,600

施策の内容および成果

預かり保育を実施する市内の私立幼稚園に対して補助金を交付することで、保護者の就労を支援するとともに、待機児童対策を推進し、幼児教育の振興と拡大を図った。

○実施幼稚園（市内17園）

月曜日から金曜日の少なくとも8時00分～17時30分まで、預かり保育を実施している幼稚園（長期休業時も実施）

○実績

補助単価（すべて年額）	支出額
基本額	
1園当たり1,000,000円	16,583,000円
加算額	
年間延利用者数に応じ、450,000円～5,500,000円	60,150,000
管理費	
年間延利用者数×100円	6,352,600
延長加算額	
預かり保育時間を1時間以上延長した場合、425,000円	4,250,000
計	87,335,600

款 民生費

項 児童福祉費

目 児童福祉総務費

私立保育園等副食費支援負担金

円
予算現額 10,871,000

決算額 7,683,212

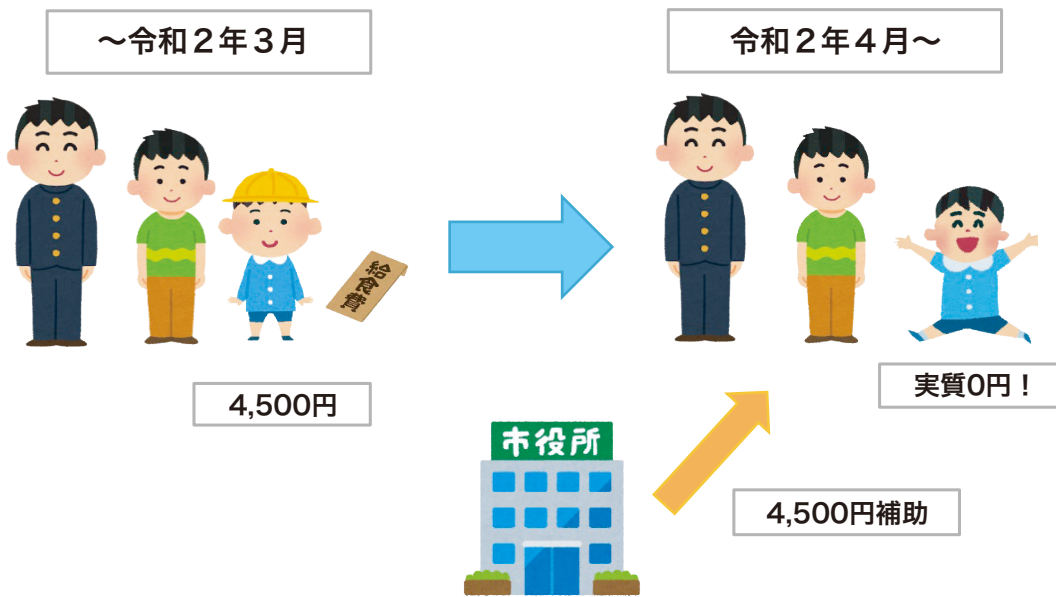
節別決算額
負担金補助及び交付金 7,683,212

施策の内容および成果

令和元年度より実施された保育料無償化に伴い、副食費が実費徴収されることで負担額が増えた私立保育園等に在園する第3子以降の3～5歳児を対象に、月額4,500円を上限として副食費の一部を支援した。

○実績
延支援対象者数：382人 給付金額：7,683,212円

こども施設入園課



私立幼稚園給食費補助金

こども施設
入園課

	円	施策の内容および成果
予算現額	3,618,000	
決算額	1,562,697	私立幼稚園で実費徴収している副食費について、年収360万円未満相当世帯および小学校3年生までの児童から順に数えて第3子以降の施設等利用給付認定を受けた園児の世帯に対し、国が定める額を上限として補助金を交付した。
節別決算額		
負担金補助及び交付金	1,562,697	○実績 延補助対象者数 238人 1,562,697円

認可外保育園等感染拡大防止支援補助金

こども施設
入園課

	円	施策の内容および成果
予算現額	11,000,000	
決算額	8,129,698	新型コロナウイルス感染症に係る本市独自の支援策として、令和3年8月26日～9月30日の間、認可外保育園に対し市より登園自粛要請を行い、その間の保育料について日割り計算により補助金を交付した。
節別決算額		
負担金補助及び交付金	8,129,698	認可外保育園利用者への登園自粛要請に関して強制力は伴わないが、積極的に実施していただけるよう施設への文書送付や市公式Webサイト掲載にて周知した。
		○実績 対象者数 324人 8,129,698円

子育てのための施設等利用給付事業

円

施策の内容および成果

予算現額

1,197,158,000

決算額

1,081,123,555

節別決算額

扶助費

1,081,123,555

無償化の対象となる幼児教育施設等を利用している園児（主に3歳から5歳）の保護者に対し、国の定めた額を上限として給付費を支給し、子育て世帯の経済的な負担軽減を図った。

○実績

区分	上限額	対象人数	支出額
私立幼稚園利用給付費	月額25,700円	2,814人 (月平均)	864,052,400円
特別支援学校幼稚部利用給付費	月額 400	6	24,000
私立幼稚園預かり保育利用給付費	月額11,300	930	37,680,025
認可外保育施設等利用給付費 ※市民税非課税世帯の3歳未満児	月額42,000	8	2,000,000
認可外保育施設等利用給付費 ※3歳以上児	月額37,000	470	177,367,130

こども施設入園課



幼稚園



簡易保育園



ベビーシッター等

病児・病後児保育事業

こども施設運営課

予算現額	43,096,000
決算額	42,211,000
節別決算額	
委託料	33,588,000
負担金補助及び交付金	8,623,000

施策の内容および成果

市内在住または市内の保育所等を利用している生後57日目から小学校3年生を対象に、病気の治療中または回復期にあり集団保育が困難な期間に、市が委託する施設で児童の預かりを行った。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
新規利用者数（延べ児童数） 24人

病児対応型

施設名	延利用者数
イーズ病児・病後児保育室	0人

病後児対応型

施設名	延利用者数
認定こども園風の谷こども園	24人
あじさい保育園	
市川南保育園	
イーズ病児・病後児保育室	

保育施設補助事業

こども施設運営課

予算現額	125,228,000
決算額	84,478,764
節別決算額	
負担金補助及び交付金	84,478,764

施策の内容および成果

保育施設機能を活用し、多様なニーズに対応するため、民間保育施設が行う事業に対し、補助金として助成を行った。

項目	実施施設数	延利用者数
特別保育事業（地域交流事業）	61施設	2,521人
病児保育事業（体調不良児対応型）	21	1,664
産休代替職員任用事業	0	0

保育士確保対策事業

円

施策の内容および成果

予算現額

496,321,141

決算額

357,482,497

節別決算額

役務費

86,290

負担金補助及び交付金

357,396,207

保育士を安定的に確保するため、民間保育施設に対し、保育士の確保につながる各種助成を行った。

○実績

項目	実施施設数	延利用者数
保育所等就業体験機会提供事業	1施設	1人
保育士就業開始資金支給事業	60	147
保育士宿舍借上げ支援事業	137	586
保育所等における業務効率化推進事業	19	—
保育所等事故防止推進事業	5	—
幼稚園型認定こども園等の保育士に対する処遇改善	1	2
保育士資格取得支援事業	0	0

項目	実施内容
保育人材就職支援事業	主催事業名：幼保就職ナビinいちかわ

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での開催を中止。

私立保育園等一時預かり事業

こども施設運営課

円

予算現額

67,342,000

決算額

50,542,300

節別決算額

(目名 児童福祉総務費)

負担金補助及び交付金

3,679,320

(目名 児童措置費)

需用費 116,600

役務費 196,436

委託料 46,549,944

施策の内容および成果

保護者の傷病、出産、育児疲労の解消や保育園入園要件に満たない就労等で、子どもの保育が一時的および断続的に困難になる場合、保育園等で子どもを預かる一時預かり事業を実施した。また、認定こども園において園児を対象に一時預かり事業を実施した。

○社会福祉法人

No.	施設名	延利用児童数
1	国府台保育園	6,344人
2	百合台保育園	
3	さくらんぼ保育園	
4	かいづか保育園	
5	認定こども園風の谷こども園	
6	市川キッズステーション	
7	市川大野ナーサリースクール	
8	広尾みらい保育園	
9	こうぜん保育園市川	
10	ありのみ保育園	
11	柏井保育園	
12	すえひろ保育園	

○社会福祉法人以外

No.	施設名	延利用児童数
1	明德本八幡駅保育園	1,189人
2	K's garden 真間駅前保育園	
3	グローバルキッズ南行徳園	
4	幼保連携型認定こども園鬼高幼稚園	
5	アイリス幼稚園	

款 民生費

項 児童福祉費

目 児童福祉総務費

重点

保育園整備計画事業

こ
ど
も
施
設
計
画
課

円
予算現額
 1,149,290,000
決算額
 925,594,600

節別決算額
 報償費 163,800
 委託料 999,372
 負担金補助及び交付金 855,194,428
 償還金利子及び割引料 69,237,000

施策の内容および成果

待機児童対策として、民間事業者が実施する施設整備事業に対して、その経費の一部を補助し民間児童福祉施設の充実を図った。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
 待機児童数（令和4年4月1日現在） 0人

○整備内訳 整備数（定員増）

- ・認可保育園 増改築整備（定員変更含） 5施設（10人）
- ・認可保育園 賃貸物件による整備 4施設（240人）
- ・小規模保育事業所 賃貸物件による整備 6施設（107人）
- ・保育園設置を促進するための賃借料補助 36施設

款 民生費

項 児童福祉費

目 児童措置費

障害児通所給付事業

障
が
い
者
支
援
課

円
予算現額
 2,072,782,998
決算額
 1,993,838,196

節別決算額
 役務費 3,281,680
 扶助費 1,990,556,516

施策の内容および成果

障がいのある児童等が、指定障害児通所支援事業者等からサービスを受けた場合に、障害児通所給付費等を支給した。

○障害児通所給付費支払手数料 3,281,680円
 ○障害児通所給付費 下表のとおり

種別	延人数	金額
児童発達支援	7,749人	788,556,496円
医療型児童発達支援	119	6,016,165
放課後等デイサービス	17,238	1,176,569,309
保育所等訪問支援	364	8,782,750
高額障害児通所給付費	91	220,210
障害児相談支援給付費	620	10,411,586
計	26,181	1,990,556,516

保育の実施

円

予算現額

19,660,312,144

決算額

18,607,597,534

節別決算額

(目名 児童措置費)

委託料 18,221,823,190

(目名 保育園費)

報酬 12,377,300

報償費 1,742,073

旅費 106,375

需用費 310,664,531

役務費 7,384,699

委託料 27,483,452

使用料及び賃借料

11,789,544

原材料費 465,414

備品購入費 12,344,704

負担金補助及び交付金

1,416,252

施策の内容および成果

保育園等において、以下のとおり保育を実施し、児童の健全な育成を図った。

区分	施設数	定員	延入園人数
公立保育園	21施設	2,395人	23,554人
私立保育園	120	8,351	91,381
認定こども園	8	1,164	11,073
私立幼稚園（施設型給付を受ける幼稚園）	10	1,037	12,840
小規模保育事業所	46	824	8,070
事業所内保育事業	1	50	359
家庭的保育事業	3	14	147
市外保育施設等	—	—	3,081
計	—	—	150,505

こども発達相談室事業

円

予算現額

3,937,032

決算額

3,592,529

節別決算額

報償費 1,737,400

旅費 57,148

需用費 1,233,951

役務費 113,047

委託料 236,500

使用料及び賃借料 24,733

備品購入費 189,750

施策の内容および成果

ことば・運動・行動・情緒等の発達の悩みや育児の不安がある家族やこどもに、専門職員が相談支援および療育等を行った。

また、併設されている大洲こども館でも、相談室と連携して、子育てや発達に関する保護者からの相談に応じた。

○こども発達相談室新規相談人数（年間） 691人

○相談事業実績

実人数	1,518人
延人数	9,208

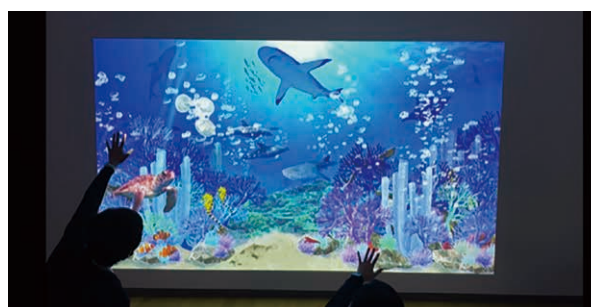
○相談内容別人数

	実人数	うち新規相談人数
知的発達の相談	486人	216人
発達障がいの相談	665	339
ことばの相談	204	119
運動発達の相談	147	12
その他	16	5
計	1,518	691

発
達
支
援
課



△療育室



△大洲こども館の行事

こども館運営事業

こども家庭支援課

円

予算現額

12,027,000

決算額

11,763,189

節別決算額

報償費	101,000
旅費	26,983
需用費	6,807,526
役務費	585,511
委託料	3,597,289
使用料及び賃借料	275,880
備品購入費	342,400
負担金補助及び交付金	26,600

施策の内容および成果

0～18歳未満の児童の年齢に応じた事業および異年齢同士の交流事業を展開し、多くの子ども達の出会いとくつろぎの場を提供するとともに、子育て支援事業を積極的に提供した。

○利用状況 年間延利用者数（14館） 130,706人

施設名	開館日数	利用者数	月平均
中央こども館	296日	53,487人	4,457人
本北方こども館	242	5,702	475
相之川こども館	291	10,545	879
中国分こども館	242	6,896	575
大洲こども館	237	7,038	587
南八幡こども館	242	4,465	372
柏井こども館	242	3,092	258
曾谷こども館	242	3,543	295
信篤こども館	242	4,033	336
本行徳こども館	242	2,465	205
末広こども館	239	6,920	577
田尻こども館	242	4,677	390
塩浜こども館	242	3,423	285
市川こども館	291	14,420	1,202

○年齢層別人数

	就学前	小1～3	小4～6	中学生	高校生	その他	保護者	計
人数	48,368	13,004	13,547	5,244	1,934	277	48,332	130,706
構成比	37.0%	9.9%	10.4%	4.0%	1.5%	0.2%	37.0%	100.0%

生活困窮者自立支援事業(住居確保給付金)

円

予算現額

167,366,000

決算額

137,715,050

節別決算額

委託料

69,366,000

扶助費

68,349,050

施策の内容および成果

専門の知識を持つ自立支援相談員を配置し、日常生活の中で困りごとを抱える方が地域において自立した生活を送れるよう、支援を行うための自立相談支援機関「市川市生活サポートセンターそら」を設置し、離職や収入の減少により住居を喪失するおそれのある方を対象に、賃貸住宅の家賃を支給する住居確保給付金の申請受付など、各種相談・支援を実施した。

【相談・支援内容】

- ・住居確保給付金の受付
- ・就労準備支援、家計改善支援、一時生活支援など

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績


申請件数

	令和3年度	令和2年度
件数	419件	1,228件

(参考) 市川市生活サポートセンターそらへの相談件数

	令和3年度	令和2年度
件数	762件	1,737件

生活支援課




「市川市生活サポートセンターそら」は、生活にお困りの方を対象とした市川市が実施する相談支援事業です。

こんなことでお困りではないですか？

- 収入が不安定で生活が苦しい。
- 家賃が払えない。滞納している。
- 住まいを出なければならぬが自分で引っ越しができない。
- 仕事が見つからない、続かない。
- 借金が多く家計が苦しい、税金や保険料が払えない。
- 子どもがなかなか自立できない。ひきこもっている。
- 人間関係がうまくいかない。
- 相談できる相手がない、どこに相談したらよいかわからない。など

お困りごとと一緒に向き合い、解決を支援します。


健康・仕事・家族・お金・将来など生活に関わるさまざまな問題を一つ一つ整理し、解決の方法と一緒に考えていきます。



自立相談支援事業 相談支援員が不安や心配ごとをうかがって、お困りごとを整理し、解決策を一緒に考えていきます。


ご相談から解決まで、お一人お一人に合った支援計画を立て、関係機関と連携を図りながら、さまざまな制度の活用を支援します。

- 住居確保給付金
仕事を失って収入が減り、住宅を喪失している方または喪失するおそれがある方で就労意欲のある方を対象として、住宅費を支給するとともに就職活動を支援します。
- 就労支援
ハローワーク等と連携した就労支援や、一般就労を目指す認定就労訓練事業があります。




就労準備支援事業 就労へ向けて一歩一歩着実に支援します。

すぐに就職活動に入ることに不安のある方を対象に、生活習慣の改善、対人関係の不安軽減、職場体験による仕事のイメージ作りや自信回復等、お一人お一人のご希望と状況に応じたプログラムを作成し、提供します。




家計改善支援事業 借務問題や家計管理などをお手伝いします。

収支のバランスが崩れている場合には、収入を増やすだけでなく支出を見直すことも必要になります。家計をいっしょに点検しながら、安定した家計の維持を支援します。



一時生活支援事業 一時的に住居や食事などの提供を行います。

住まいを失った方を対象に、生活の立て直しを目的に、一時的な住居を提供し、自立に向けて支援します。



生活保護受給者健康管理支援事業

		円	施策の内容および成果
生活支援課	予算現額	9,578,000	<p>生活保護受給者の約8割が何らかの疾病により医療機関を定期受診しており、年齢によらず医療を必要とする者が多い。</p> <p>本事業は、特に生活習慣病の重症化を未然に防ぐことを目的とし、医療と生活の両面から日々の健康管理の支援を行うことで、医療扶助費の将来の増加の抑制を図った。(生活保護法改正により、令和3年1月から必須事業)</p> <p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診査受診(受診勧奨) 16.9% ・保健指導(生活習慣病予防指導等) 61人 ・適正受診指導(頻回受診に関する指導等) 23人
	決算額	6,603,762	
	節別決算額		
	委託料	6,603,762	

生活保護受給者訪問等自立支援事業

		円	施策の内容および成果
生活支援課	予算現額	39,141,000	<p>生活保護受給者のうち、高齢者および障がい・傷病世帯について、訪問等のケースワーク業務の一部を外部委託することにより、訪問回数を増やすなど見守りを強化し、福祉の充実を図った。</p> <p>また、併せて自立を促進するため、生活保護受給者自らが行うことが困難な場合の年金受給権の調査や申請手続きを専門知識を有する者に委託することにより、年金受給の向上および保護費の削減を図った。</p> <p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援世帯数 736世帯 ・年金調査対象人数 1,176人 新規年金受給開始額 68,491,941円(定期給付分) 遡及受給額 149,018,046円(一括給付分)
	決算額	38,528,109	
	節別決算額		
	委託料	38,528,109	

生活保護事業

円

予算現額

14,310,814,000

決算額

14,303,881,617

節別決算額

扶助費 14,303,881,617

施策の内容および成果

生活保護法に基づき、生活扶助、住宅扶助などの8種類の扶助費と救護施設等入所者にかかる施設事務費、日常生活支援住居施設入所者にかかる委託事務費を支給し、必要な保護を行うことにより、最低限度の生活を保障するとともに自立を助長した。

○生活保護実施状況

扶助の種類別	金額	構成比
生活扶助費	4,465,446,316 ^円	31.2%
住宅扶助費	3,187,070,382	22.3
教育扶助費	46,085,374	0.3
医療扶助費	6,158,621,357	43.1
介護扶助費	351,516,444	2.5
出産扶助費	4,245,207	0.0
生業扶助費	30,475,111	0.2
葬祭扶助費	36,273,595	0.3
施設事務費	18,496,571	0.1
委託事務費	5,651,260	0.0
計	14,303,881,617	100.0

○生活保護の原因別開始・廃止状況

開始理由	件数	構成比
貯金等の減少・喪失	331 ^件	35.3%
稼働収入の減少・喪失	233	24.9
世帯主・世帯員の疾病	161	17.2
年金・仕送り等の減少・喪失	53	5.7
働いていた者の死亡・離別等	23	2.4
その他（転入・DV避難・釈放等）	136	14.5
計	937	100.0

廃止理由	件数	構成比
死亡	265 ^件	33.7%
稼働収入の増加	187	23.8
失踪	55	7.0
年金・仕送り等の増加	40	5.1
親類・縁者の引き取り	26	3.3
世帯主・世帯員の治癒	2	0.3
その他（転出・辞退・逮捕・勾留等）	211	26.8
計	786	100.0

健康診査事業

円

予算現額

617,658,717

決算額

589,464,835

節別決算額

(目名 保健センター費)

報償費 7,500,600

需用費 4,493,860

役務費 1,307,903

委託料 507,363,328

使用料及び賃借料

241,056

負担金補助及び交付金

21,627,260

償還金利子及び割引料

15,013,000

(目名 成人病予防費)

需用費 1,478,159

役務費 2,244,121

委託料 28,195,548

施策の内容および成果

各健康診査を実施し、疾病・疾患の早期発見等による健康の保持増進を図った。

○1歳6か月児健康診査

1歳6か月児に対して健康診査を実施し、疾病の早期発見や適切な保健指導を行うことで、健康の保持増進を図った。

健診方式	対象者	実施人数
個別健診（内科）	3,891人	3,471人

○3歳児健康診査

3歳児に対して総合的な健康診査を実施し、疾病の早期発見や適切な保健指導を行うことで、健康の保持増進を図った。

健診方式	対象者	実施人数
個別健診（内科）	3,994人	3,165人

○幼児歯科健康診査

幼児期の口腔内を診査し、むし歯の早期発見・予防を図り、口腔内の健全な発育・発達を促した。

区分	回数	対象者	実施人数
1歳6か月児歯科健康診査	48回	3,891人	3,187人
3歳児歯科健康診査	48	3,994	3,034

○妊婦乳児健康診査

妊娠届出時に、母子健康手帳とともに受診票（母子健康手帳別冊）を発行し、妊婦健診は14回、乳児健診は、生後3～6か月、9～11か月時に各1回医療機関に委託し実施した。

区分	対象者数	受診者数（延）
妊婦健診	4,127人（令和3年度妊娠届出数）	49,354人
乳児健診	3,883（令和3年度出生数）	6,838

○妊婦歯科健康診査

妊娠期においての歯科疾患の早期発見・早期治療を促し、口腔内の健康の保持増進を図った。

対象者数	受診者数
4,127人（令和3年度妊娠届出数）	1,656人

施策の内容および成果

○新生児聴覚検査

聴覚障がいをもつ新生児は1,000人のうち1～2人と言われているが、早期に発見され、適切な療育を受けることにより言語発達への影響が最小限に抑えられることが分かっている。ついては、新生児聴覚検査に係る費用を一部公費負担し、受診を促した。

対象者数	受診者数
3,883人（令和3年度出生数）	3,664人

○産婦健康診査

出産後間もない時期の産婦に対して健康診査を実施し、産後の初期段階の母子に対する支援を強化し、産後うつや新生児への虐待防止を図った。

対象者数	受診者数(延)
3,842人（令和3年度産婦数）	4,382人

○歯周疾患検診（年度内に30歳、40歳、50歳、60歳、70歳になる市民）

歯周疾患の予防と早期発見・口腔内の健康の保持増進を図った。

実施者数	区分	結果
2,981人	要 精 検	1,476人
	要 指 導	819
	異常認めず	684
	該当歯なし	2

○二十歳（はたち）の歯科健康診査（年度内に20歳になる市民）

歯肉炎や口臭、歯並び、歯の色など口の中の気になることを早期に解決し口腔の健康への意識を高めるために実施した。

実施者数	結果
588人	注意すべき歯列不正 121人
	口腔内清掃不良 90
	前歯の着色あり 457

○口腔がん検診（30歳以上の希望する市民）

口腔がんの早期発見、早期治療を促進し、市民の健康の保持増進を図った。

1次検診	受診者数	異常なし	2次検診 移行	即日医療 機関を紹介			
	789人	344	441	4			
2次検診	受診者数	細胞診 異常なし	要経過 観察	要精検	要医療	検査不適	
	441人	437	2	1	0	1	

自殺対策事業

保健センター健康支援課

円

予算現額

17,963,000

決算額

12,195,417

節別決算額

報償費 315,400

需用費 585,200

役務費 8,916

委託料 11,285,901



△転入者を中心に配付



△9月自殺対策予防週間
3月自殺対策強化月間
に第2庁舎、行徳支所に懸垂幕を掲示する。
なお、第1庁舎は電光掲示板による掲示となっている。

施策の内容および成果

自殺者数の減少および自死遺族の問題解決に関する支援を目的に実施した。

○相談事業

・こころの健康相談

相談事業の実施（専門委託事業者の活用）

電話相談 1,634件 面接相談 2件 Web相談 5件 計1,641件

・母と子の相談室

妊娠中から出産後、気分の落ち込み等こころの不調を感じる方の精神科医による相談（予約制）

相談件数 7件

保健師相談数 12件 計19件

▷こころの体温計は

- ・本人モード
- ・家族モード
- ・ストレス対処タイプテスト
- ・アルコールチェックモードを載せている。



○普及啓発事業

・ゲートキーパー研修

地域や職場、教育等の分野において自殺のサインに気付き、見守りを行い、専門相談機関による相談へつなぐ役割が期待される人に対し、研修を実施した。

庁内職員対象 3回 202人

市民対象 3回 357人

・リーフレットやカード等配布による普及啓発

庁内各窓口、市内公立小・中学校、各関係機関にて配布した。



△ゲートキーパー研修

・こころの体温計

スマートフォン、携帯電話、パソコンから24時間いつでも気軽にできるメンタルチェックシステム。簡単な質問に回答するだけで、こころの健康状態をチェックすることができる。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

自損行為による救急搬送者数の減少（年間100人以下） 130人/年

子育て世代包括支援事業

保
健
セ
ン
タ
ー
健
康
支
援
課

円	
予算現額	33,939,641
決算額	19,956,570
節別決算額	
需用費	8,533,089
役務費	31,734
委託料	82,610
負担金補助及び交付金	8,586,137
償還金利子及び割引料	2,723,000

施策の内容および成果

○子育て世代包括支援事業（アイティ）

妊娠・出産・子育てに係る母子が切れ目のない支援を受けられるよう、4箇所の母子保健相談窓口「アイティ」において、妊娠届出時や子育て・健康相談時に保健師等が面接の上、助言内容や情報を記載した「子育てマイプラン」を作成し提供した。

また、出生した子を対象として災害時に役立つ乳児用「防災セット」を相談後に配付することにより、保護者との面接機会を確保し、母子の不安・負担の軽減と児童虐待の予防を図った。

○子育てマイプラン作成数	7,135件
○乳児用防災セット配付数	2,912件



△母子保健相談窓口「アイティ」のマーク



△乳児用「防災セット」の内容

○妊産婦へのタクシー料金の助成（重点推進プログラム掲載事業）

妊産婦が妊婦健康診査や新型コロナウイルスワクチン接種等の際に利用したタクシー料金の一部を助成することにより、新型コロナウイルスの感染リスクや経済的負担、妊娠期の母体への負担を軽減するなど、妊産婦の生活を支援した。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

タクシー利用者数 808人

令和3年8月23日から
ワクチン接種のタクシー代が
妊産婦タクシー利用料金助成の対象となります

1. 助成対象者 タクシー利用時に市川市に住民登録があり、母子健康手帳の交付を受けた妊婦・産婦

2. 対象となるタクシー料金

- ① 妊婦健康診査の受診
- ② 妊婦健康診査の受診
- ③ 出産の入退院
- ④ 産後1か月健診までの妊婦健康診査の受診
- ⑤ 妊産婦健康から産婦健康診査の際、医師が必要と認められた処置や治療のための産科受診
- ⑥ ⑤と同じ期間での新型コロナウイルス接種

3. 助成額と利用回数 1回1,500円まで、1産の妊産婦に対して最大40回

車窓を開けて
換気もしてね♪

△妊産婦タクシーのチラシ（抜粋）

不妊治療費助成事業

保健センター健康支援課

	円
予算現額	91,554,667
決算額	89,862,590
節別決算額	
需用費	19,284
役務費	104,862
負担金補助及び交付金	89,738,444

施策の内容および成果

不妊治療を受けている夫婦に対し、一般不妊治療および特定不妊治療の費用の一部を助成することにより、当該夫婦の経済的負担の軽減を図った。

(開始年度)

特定不妊治療費助成	令和元年度
一般不妊治療費助成	令和3年度



- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
申請件数（特定不妊1,197件、一般不妊443件の合計件数） 1,640件

産後ケア事業

保健センター健康支援課

	円
予算現額	16,619,662
決算額	16,618,068
節別決算額	
需用費	81,406
役務費	30,412
委託料	16,506,250

施策の内容および成果

産後、家族から家事や育児の援助が受けられない産婦および乳児に対して、契約医療機関等で産後ケアを実施することにより、産婦の心身の安定および育児に対する不安の解消を図った。

- 令和3年度利用件数

宿泊型利用件数	102件
デイサービス型利用件数	21件



フッ化物塗布事業

	円
予算現額	13,433,000
決算額	11,670,738

節別決算額	
需用費	348,422
役務費	375,996
委託料	10,946,320

施策の内容および成果

幼児の歯科保健対策としてむし歯予防に有効なフッ化物塗布を実施し、健全な口腔の育成を促すとともに生涯にわたる歯科保健に対する意識の向上を図った。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
 フッ化物塗布の受診者数 1,777人

フッ化物(フッ素)の役割

歯の質を強くします

歯の表面のエナメル質を構成する結晶にフッ化物イオンが取り込まれると、酸に溶けにくい歯質になります。

ごく初期のむし歯の回復を助けます

再石灰化作用により健康な歯にもどります。

歯垢(プラーク)の生成を抑えます。

歯垢の中にフッ化物がとどまり、むし歯菌の活性を抑えて、酸を作らせないようにします。

予防接種事業

円

予算現額

8,250,792,000

決算額

7,406,944,858

節別決算額

報酬	81,900
報償費	158,764,480
需用費	8,663,854
役務費	177,805,108
委託料	6,918,172,957
使用料及び賃借料	24,890,440
負担金補助及び交付金	108,169,119
償還金利子及び割引料	10,397,000

施策の内容および成果

感染症の発生・まん延を予防するため、定期および任意予防接種を実施した。

○実績の内訳

予防接種の種類	接種件数	予防接種の種類	接種件数
ヒブ	14,558件	二種混合	2,739件
小児用肺炎球菌	14,549	子宮頸がん	1,459
4種混合	14,489	高齢者インフルエンザ	61,993
ポリオ	1	高齢者肺炎球菌 [※]	1,939
B C G	3,590	B型肝炎	10,754
水痘	7,112	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) [※]	3,700
麻しん風しん	7,406	ロタ	8,183
日本脳炎	11,540	大人の風しん	310

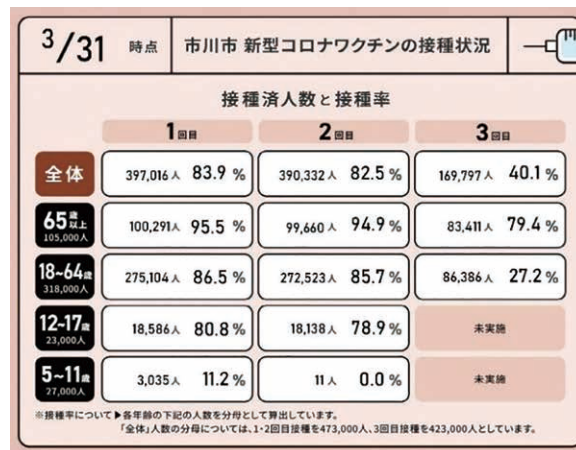
※流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）および高齢者肺炎球菌の一部は任意接種

○子どものインフルエンザ予防接種費用助成（単年度事業）

新型コロナウイルス感染症との同時流行を防ぐ為、新型コロナウイルスワクチン接種の対象ではなかった生後6か月～小学校6年生までの子どもを対象に、インフルエンザ接種費用の助成を行った。

（申請件数16,204件）

○新型コロナウイルスワクチン接種件数



○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保

- ・集団接種会場の設置・運営（12会場）
- ・ワクチン予約コールセンター運営
- ・ワクチンの管理配送
- ・ワクチン接種の副反応に係る相談窓口開設（健康相談窓口）
- ・ワクチン接種証明の発行事務

健康診査事業

円

予算現額

1,406,984,000

決算額

1,308,623,652

節別決算額

需用費

3,831,102

役務費

19,600,721

委託料

1,285,191,829

施策の内容および成果

○特定健康診査に準ずる健康診査

生活習慣病の早期発見・早期治療を目的として、後期高齢者および40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に委託し、実施した。

	実施者数		20,891人
	後期高齢者	結果	異常なし
有所見			要指導 1,115 要医療 18,330
生活保護受給者		結果	異常なし
	有所見		要指導 94 要医療 859

○肝炎ウイルス検診（40歳以上の本市の肝炎検診未受診者を対象）

C型肝炎 ウイルス検査	実施者数		5,776人
	結果	感染している可能性が低いと判定	5,772
感染している可能性が高いと判定		4	
B型肝炎 ウイルス検査	実施者数		5,775人
	結果	陰性	5,743
		陽性	32

○がん検診（40歳以上。ただし、子宮がん検診は20歳代偶数歳および30歳以上の女性、乳がん検診は30歳以上偶数歳の女性、前立腺がん検診は50歳以上の男性、胃がんリスク検査は40歳～75歳の5歳刻みの未受診者）

がんの早期発見・早期治療を目的として、胃がん（集団・個別検診）、乳がん（集団・個別検診）、子宮がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、胃がんリスク検査（個別検診）の検診を実施した。

区分	実施者数	結果	
		精検不要	要精検
胃がん検診	集団（バリウム検査）	1,817人	1,745人 72人
	個別（内視鏡検査）	3,324	3,295 29
子宮がん 検診	頸部	27,967	27,582 385
	体部	10,259	9,799 55
乳がん検診	集団	9,073	8,768 305
	個別	8,416	7,610 806
肺がん検診		57,626	57,405 221
大腸がん検診		48,488	44,236 4,252
前立腺がん検診		19,268	17,603 1,665
胃がんリスク検査		3,289	2,492 797

※採取不能
405人

後期高齢者人間ドック助成事業

国民健康保険課

予算現額	800,000
決算額	620,000
節別決算額 負担金補助及び交付金	620,000

円

施策の内容および成果

健康診査事業の拡大として、高齢者の健康維持を促し、健康寿命の延伸等を図るため、後期高齢者医療制度被保険者に対し、人間ドック費用の助成事業を実施した。

- 助成人数
令和3年度 62人

年齢層	人数
65～74歳	1人
75～79歳	50
80歳～	11
計	62

スマートダストボックス開発事業

循環型社会推進課

予算現額	150,000
決算額	52,000
節別決算額 需用費	52,000

円

施策の内容および成果

生ごみの資源化を目的に開発した生ごみ専用スマートi-BOXに関して、令和2年度時点での課題であった「試作機の改良を進め、様々な気象条件下で安定稼働する機器とすること」を克服する改良機の開発に取り組んだ。

- ・生ごみ専用スマートi-BOX改良機の開発 6台

- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
生ごみ専用スマートi-BOX設置台数 0台

ごみ発生抑制等啓発事業

予算現額	3,709,000
決算額	2,927,588
節別決算額	
需用費	1,986,348
役務費	20,540
委託料	920,700

円 施策の内容および成果

「資源循環型都市いちかわ」の実現および更なるごみの減量・資源化に向け、分別ガイドブック、スマートフォンアプリ、出前説明会等による啓発活動を実施した。また、令和3年4月から収集体制の見直しに伴い、ごみ収集日カレンダーを作成した。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
ごみ分別アプリのダウンロード数 83,257件

内容	実績	対象
出前説明会	10件 (942人)	公立小学校 9校 私立小学校 1校
	2件 (51人)	市民活動団体等

▽市内小学校での出前授業の様子（令和3年6月実施）



▽市内小学校での出前授業の様子（令和3年10月実施）



一般廃棄物(ごみ・資源物)収集事業

円

施策の内容および成果

予算現額

2,210,721,456

決算額

2,173,047,562

節別決算額

報償費 56,673,420

需用費 13,887,575

役務費 2,381,661

委託料 2,092,741,503

使用料及び賃借料

6,853,200

原材料費 30,973

償還金利息及び割引料

25,530

公課費 453,700

○ごみ・資源物収集状況

分別	収集量
燃やすごみ	75,191 ^t
燃やさない・有害ごみ	3,458
大型ごみ	2,227
資源物	20,312
ビン・カン	3,805
プラスチック製容器包装類	6,616
紙類・布類	9,742
剪定枝	149
合計	101,188

○大型ごみ収集状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年同期比
申込件数	79,719件	100,050件	98,701件	1.3%減
申込点数	152,483点	194,507点	187,140点	3.8%減

○集団資源回収状況

団体	団体数	回収量	奨励金
自治会	72団体	1,468 ^t	4,404,765 ^円
子ども会	32	508	1,524,045
P T A	14	229	687,900
高齢者クラブ	4	51	154,200
婦人会	2	4	11,130
マンション	169	1,545	4,634,340
その他	3	19	57,480
合計	296	3,825	11,473,860

※回収量は t 未満の数量を四捨五入しているため、合計と一致しない。

○不法投棄ごみの収集量

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年同期比
収集量	430 ^t	338 ^t	219 ^t	35.2%減

款 衛生費

項 清掃費

目 塵芥処理費

高齢者等世帯ごみ出し支援事業

	円
予算現額	12,500,000
決算額	12,496,000
節別決算額	
委託料	12,496,000

施策の内容および成果

ごみを出すことが困難な高齢者や障がい者等のために、ごみ出しの支援を行うとともに、ごみが出ていなかった場合の声かけ安否確認を行った。

○利用世帯数 357世帯



廃棄物処理事業

円

予算現額

2,319,179,828

決算額

2,232,771,267

節別決算額

旅費 265,863

需用費 457,373,671

役務費 5,422,524

委託料 1,750,242,709

使用料及び賃借料

5,888,227

原材料費 799,903

負担金補助及び交付金

10,771,450

補償補填及び賠償金

500,720

公課費 1,506,200

施策の内容および成果

クリーンセンターに搬入される一般廃棄物について、適正に中間処理を行い、最終処分を行った。

○ごみの搬入量

種類	搬入量
燃 や す ご み	106,627t
大 型 ご み	4,415
燃 や さ な い ご み	4,095
有 害 ご み	56
計	115,193

○焼却処理量 124,966t

○破碎処理量 5,152t

○資源化量（施設回収） 2,208t
（資源化委託） 1,554t

○埋立量 13,331t

○発電電力量 29,969,514kWh
（内売電電力量）（18,125,712kWh）

款 衛生費

項 清掃費

目 クリーンセンター費

余熱利用施設整備運営事業

円

施策の内容および成果

予算現額

217,676,892

決算額

217,676,892

節別決算額

委託料

217,676,892

PFI事業として運営しているクリーンスパ市川について、特定事業契約に基づき、事業者 서비스에 購入料を支払った。

○運営期間 平成19年9月～令和4年8月（15年間）

○令和3年度サービス購入料 217,676,892円

<内訳>

施設整備分 180,385,768円

運営維持管理分 26,798,612円

修繕更新分 10,492,512円



△クリーンスパ市川

省エネ・創エネ普及促進事業

予算現額

7,850,000

決算額

120,000

節別決算額

負担金補助及び交付金

120,000

施策の内容および成果

事業所等における省エネ・創エネの取組みを一層促進し、二酸化炭素排出量の削減を図るために、市内中小事業者を対象に省エネ改修費や太陽光発電設備等の設置費の一部を補助した。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
省エネ・創エネ設備等設置費補助金交付件数 1件



△補助金交付案内パンフレット



△補助金メニュー

電気自動車導入促進事業

円

施策の内容および成果

予算現額

3,250,000

決算額

1,829,000

節別決算額

負担金補助及び交付金

1,829,000

二酸化炭素排出量の削減に寄与する電気自動車の普及を加速させるため、電気自動車の購入費の一部を補助した。また、電気自動車と住宅等の間で相互に電力を供給できる充電設備を設置する場合に、その設置費用の一部を補助した。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

電気自動車等導入補助金交付件数 19件

循環型社会推進課



市川市 環境部 循環型社会推進課 環境計画グループ
 〒272-8501 千葉県市川市南八幡2丁目20番2号 TEL: 047-712-6305

△補助金交付案内パンフレット

大気汚染対策事業

円

施策の内容および成果

予算現額

31,412,258

決算額

29,010,539

節別決算額

需用費 1,360,534

役務費 691,095

委託料 23,869,010

備品購入費 3,089,900

大気環境を保全するために、大気汚染自動測定機を計画的に整備し、大気環境の常時監視を行った（市公式Webサイトで24時間測定している大気環境情報を公表）。また、大気汚染防止法および市川市環境保全条例に基づき、事業者に対する規制等を行うことで、大気汚染の防止に努めた。

○老朽化した大気汚染自動測定機の更新実績

大気汚染自動測定機整備（設置・更新）件数（年間） 2台

（内訳：窒素酸化物・浮遊粒子状物質一体型1台、風向・風速1台）



△本八幡局（全景）



△本八幡局（内部）

		一般環境大気測定局	自動車排出ガス測定局
測定局数・地点数	二酸化硫黄	3	-
	窒素酸化物	4	3
	一酸化炭素	-	3
	オキシダント	3	-
	炭化水素	1	1
	浮遊粒子状物質	4	3
	微小粒子状物質	2	2
	風向・風速	4	-
気象計		1	-

施策の内容および成果

○大気汚染防止関係

(1)有害大気汚染物質調査

- ・大気汚染防止法に規定された優先取組物質について、宮田小学校で22物質、行徳小学校で6物質、市川南高校で2物質を調査した結果、環境基準が設定されている項目の基準を満たしていた。
- ・ダイオキシン類については、宮田小学校、行徳小学校、大柏小学校、市川南高校の4地点で調査を実施した結果、年平均値が0.019~0.024pg-TEQ/m³であり、環境基準（0.6pg-TEQ/m³）を満たしていた。

(2)発生源調査

- ・大気汚染防止法の特定施設に該当する施設の設置事業場に対して、基準確認調査、施設点検立入調査を実施し、全ての事業場で基準を満たしていた。

調査区分	基準確認	施設点検
事業場	2社	5社

○悪臭防止関係

- ・悪臭の実態把握、影響範囲解明のため、立入調査を実施し、排出口の基準のうち、臭気濃度の基準を超過した1事業場に対して、改善指導を行った。

区分		対象事業場	測定回数
排出口	特定悪臭物質	2社	3回
	臭気濃度	2	3
敷地境界	特定悪臭物質	2	3
	臭気濃度	2	3

○アスベスト対策関係

(1)アスベスト排出作業中の漏洩監視

測定検体 2検体

(2)公共施設の室内濃度測定関係

- ・アスベストを保有する公共施設の維持管理のための室内濃度測定を実施した。56施設で実施し、全て検出されないこと（定量下限値0.6本/ℓ未満）を確認した。

測定検体 151検体

生物多様性等推進事業

生活環境整備課

予算現額

1,176,250

決算額

1,170,380

節別決算額

需用費

19,776

役務費

9,354

委託料

1,141,250

円

施策の内容および成果

生物多様性の保全と持続可能な利用を地域から進め、平成26年3月に策定した「生物多様性いちかわ戦略」を推進するため、市内における生物多様性の状況把握を目的に、市の地図情報システムを活用した市民参加によるモニタリング調査や自然環境政策専門員による調査を実施した。

また、生態系への被害や生活環境被害を最小限に食い止めるため、特定外来生物アライグマの防除を実施した。

○生物多様性モニタリング調査の投稿数と閲覧数

投稿数	516件
閲覧数	3,577

○特定外来生物アライグマの防除対策について

箱わな設置基数		捕獲処分数
委託業者が設置	市が設置	委託業者が処分
29基	1基	20頭



△生物多様性モニタリング調査への投稿画像（左：キンラン、右：モズ）



△捕獲用わな設置の様子（広尾）



△捕獲されたアライグマ（稲越）

款 衛生費

項 環境費

目 自然環境費

行徳野鳥観察舎管理運営事業

円

施策の内容および成果

予算現額

13,867,341

決算額

12,517,160

節別決算額

需用費

3,156,529

役務費

245,220

委託料

8,970,981

備品購入費

144,430

行徳近郊緑地内に気軽に休憩を取りながら野鳥をはじめ緑地の眺望等を楽しめる施設として、令和2年9月に開館した行徳野鳥観察舎の管理運営を行った。

令和3年度は、七夕飾りや開館1周年記念にあわせたハロウィンの飾り付け、クリスマスの時期にメッセージツリーの展示等のイベントを開催し、来館者数は30,433人（年間・延）であった。

また、行徳野鳥観察舎等の情報をとりまとめた「あいねすと通信」を発刊し、各公民館等へ配布するとともに市公式Webサイトへ掲載した。



△七夕飾り
(令和3年7月撮影)



△メッセージツリー
(令和3年12月撮影)



△ハロウィンの飾り付け
(令和3年10月撮影)



△あいねすと通信

森林環境整備事業

円	
予算現額	39,224,000
決算額	39,223,932
節別決算額	
負担金補助及び交付金	185,000
積立金	39,038,932

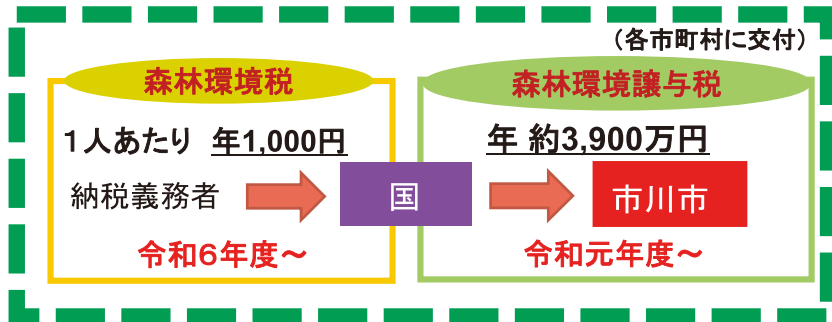
施策の内容および成果

千葉県が作成したガイドラインを参考に、森林環境譲与税の用途について、「森林整備の推進」、「人材の育成・担い手の確保」、「普及啓発」、「木材利用の推進」など、活用に向けた基本方針を令和3年8月に策定した。

また、森林環境譲与税等に関する施策の推進を目的とした千葉県森林経営管理協議会へ参加するとともに、森林環境譲与税基金へ積み立てを行った。

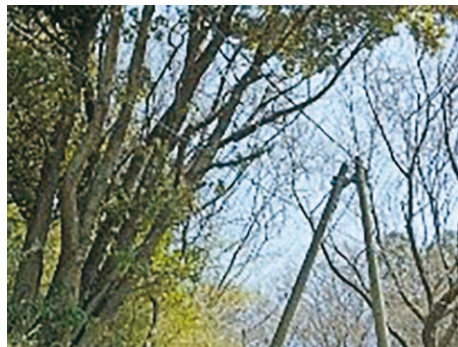
○森林環境譲与税基金
令和3年度末基金残高 96,385,047円

《森林環境税・森林環境譲与税の仕組み》



※市への譲与額は人口、人工林面積、林業就業者数で決定されている。

森林環境譲与税の用途例



△危険な緑地の整備



△ナラ枯れ病の防除

款 労働費

項 労働諸費

目 労働諸費

若年者等就労支援事業

		円	施策の内容および成果	
商 工 業 振 興 課	予算現額	3,096,000	二一トや引きこもりの方等を対象に、就職や対人関係等の相談業務や職場体験業務を実施し、働き手としての自立を支援した。	
	決算額	2,485,199		
	節別決算額		○就労相談者数	92人
	需用費	5,864	○職場体験利用者数	75人
	委託料	2,479,335	○就職面接会開催回数	2回

款 労働費

項 労働諸費

目 勤労福祉センター費

勤労福祉センター施設維持管理事業

		円	施策の内容および成果																												
商 工 業 振 興 課	予算現額	75,398,800	勤労者、老人、女性および児童の福祉の推進と文化の向上を図るため、施設の維持管理・運営を行った。																												
	決算額	73,800,996																													
	節別決算額		○利用状況																												
	需用費	35,307,303	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">本館</td> <td>勤労青少年ホーム</td> <td>9,946人</td> </tr> <tr> <td>勤労ホーム</td> <td>11,151</td> </tr> <tr> <td>女性ホーム</td> <td>2,205</td> </tr> <tr> <td>老人ホーム</td> <td>3,359</td> </tr> <tr> <td>こども館</td> <td>4,465</td> </tr> <tr> <td>南八幡体育館</td> <td>13,411</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>44,537</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">分館</td> <td>勤労ホーム</td> <td>19,938</td> </tr> <tr> <td>老人ホーム</td> <td>4,714</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>24,652</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>69,189</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分		利用者数	本館	勤労青少年ホーム	9,946人	勤労ホーム	11,151	女性ホーム	2,205	老人ホーム	3,359	こども館	4,465	南八幡体育館	13,411	小計	44,537	分館	勤労ホーム	19,938	老人ホーム	4,714	小計	24,652	合計	69,189	
	区分			利用者数																											
本館	勤労青少年ホーム	9,946人																													
	勤労ホーム	11,151																													
	女性ホーム	2,205																													
	老人ホーム	3,359																													
	こども館	4,465																													
	南八幡体育館	13,411																													
	小計	44,537																													
分館	勤労ホーム	19,938																													
	老人ホーム	4,714																													
	小計	24,652																													
合計	69,189																														
役務費	237,329																														
委託料	37,981,430																														
使用料及び賃借料	274,934																														

農業委員会事務費

		円	施策の内容および成果	
農業委員会事務局	予算現額	11,596,000		
	決算額	11,241,950		
	節別決算額			
	報酬	9,751,200	○会議（定例総会）の開催	12回
	旅費	16,054	○農地の権利移動	7件 52.62a
	需用費	636,089	○農地の転用	336件 1,595.20a
	役務費	529,527	○農地の賃貸借の解約	7件 51a
	使用料及び賃借料	157,080	○転用事実の確認	20件
	負担金補助及び交付金	152,000	○関係法令に基づく証明発行	105件
			○農業委員会だよりの発行	年2回 1,600部
		○所有地および耕作地に関する所有状況調査	申告世帯数 687世帯	
			50,035a （田 3,528a、畑 46,507a、畑には樹園地を含む）	

都市農業振興支援事業

		円	施策の内容および成果	
農業振興課	予算現額	24,039,600		
	決算額	20,765,700		
	節別決算額			
	報償費	40,000	都市農業への理解並びに市内農産物の消費拡大を図るため、各種支援を講じた。	
	委託料	490,600	○補助金件数	22件
	負担金補助及び交付金	20,235,100	・農業青少年グループ活動育成事業補助金	1件
			・園芸用廃プラスチック処理事業補助金	2件
			・減農薬栽培推進事業補助金	1件
			・防鳥網等設置事業補助金	2件
			・農薬飛散防止施設設置事業補助金	2件
		・農業用灌漑用水設備設置事業補助金	1件	
		・ちばの園芸産地整備支援事業補助金	2件	
		・施設園芸支援事業補助金	11件	

市川漁港整備事業

臨
海
整
備
課

	円
予算現額	56,265,000
決算額	44,263,200
節別決算額	
委託料	18,062,000
工事請負費	25,808,200
負担金補助及び交付金	393,000

施策の内容および成果

市川漁港の老朽化や係船岸・泊地・漁業施設用地の不足等の解消、漁業活動の効率化を図るため、引き続き整備を行った。

- 漁港整備委託料 18,062,000円
 モニタリング調査業務委託
 海図修正および航路測量設計業務委託
- 漁港整備工事 13,048,200円
 外構工事
- 水産業関連施設等整備工事 12,760,000円
 係留杭設置工事
- 漁船廃船処理支援事業補助金 393,000円

- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
- 市川漁港整備工事の進捗率 100%
- 水産業関連施設等整備工事の進捗率 32%
- 漁船廃船処理台数 6隻



△防護柵設置



△車止め設置



△Bバース係留杭



△西突堤側係留杭

中小法人等事業継続支援金給付事業

		円	施策の内容および成果
予算現額	357,149,564		新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、国の月次支援金の対象外となる中小法人等に対し、市独自の支援金を給付することにより、事業継続を支援した。
決算額	310,349,564		
節別決算額			
役務費	37,420		○対象者
委託料	57,112,144		中小法人等（個人事業主、NPO法人、社会福祉法人等を含む）
負担金補助及び交付金	253,200,000		○主な給付要件
			対象月の売上が令和元年または令和2年比20%以上50%未満減少
			○対象月
			第1弾 4～8月（5か月間）
			第2弾 9～10月（2か月間）
			○給付額
			5万円/月
			○給付件数・総額
			第1弾 1,587件 189,500,000円
			第2弾 907件 63,700,000円

中小企業資金繰り支援(セーフティネット認定関連)

	円
予算現額	75,939,000
決算額	48,649,710

節別決算額	
需用費	27,266
役務費	93,280
負担金補助及び交付金	48,529,164

施策の内容および成果

新型コロナウイルス感染症に起因する影響を受けた中小企業者に対する資金繰り支援として、信用保証料に対する補助および利子補給を実施した。

【対象】

- ①市内に主たる事業所があるもの※法人の場合、事業実態がある本店
- ②市のセーフティネット保証4号・5号、危機関連保証の認定を受けた事業者
- ③県のセーフティネット資金の「市町村認定枠・危機関連保証枠」、新型コロナウイルス感染症対応特別資金の融資利用者

【補助対象融資限度額】

2,000万円

【利子補給】

融資実行から3年間分の利子を最大全額補助（補給率1.0%）

【信用保証料補助】

融資実行から3年間分に相当する信用保証料を最大全額補助
（上限：247,500円）

【資金使途】

運転資金・設備資金

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

利用件数	374件
（内訳）	
・利子補給金	345件
・信用保証料補助金	29件

負担金補助及び交付金	48,529,164円
（内訳）	
・利子補給金	43,355,029円
・信用保証料補助金	5,174,135円

中小企業資金繰り支援(中小企業融資制度関連)

		円	施策の内容および成果																
商 工 業 振 興 課	予算現額	58,725,000																	
	決算額	42,851,710																	
	節別決算額																		
	需用費	28,878																	
	役務費	255,290																	
	負担金補助及び交付金	42,567,542																	
			<p>本市中小企業融資制度の利用者に対し、令和3年中に支払う利子を全額補助した。また、起業して間もないためセーフティネットの認定を受けられない等のベンチャービジネス等支援資金の利用者に対し、信用保証料を最大全額補助した(上限：247,500円)。</p> <p>○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績</p> <table border="0"> <tr> <td>利用件数</td> <td>1,281件</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・利子補給件数</td> <td>1,240件</td> </tr> <tr> <td>・ベンチャービジネス等支援資金信用保証料補助件数</td> <td>41件</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>42,567,542円</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・利子補給金</td> <td>38,449,612円</td> </tr> <tr> <td>・ベンチャービジネス等支援資金信用保証料補助金</td> <td>4,117,930円</td> </tr> </table>	利用件数	1,281件	(内訳)		・利子補給件数	1,240件	・ベンチャービジネス等支援資金信用保証料補助件数	41件	負担金補助及び交付金	42,567,542円	(内訳)		・利子補給金	38,449,612円	・ベンチャービジネス等支援資金信用保証料補助金	4,117,930円
利用件数	1,281件																		
(内訳)																			
・利子補給件数	1,240件																		
・ベンチャービジネス等支援資金信用保証料補助件数	41件																		
負担金補助及び交付金	42,567,542円																		
(内訳)																			
・利子補給金	38,449,612円																		
・ベンチャービジネス等支援資金信用保証料補助金	4,117,930円																		

中小企業展示会等出展支援事業

		円	施策の内容および成果										
商 工 業 振 興 課	予算現額	4,000,000											
	決算額	2,399,000											
	節別決算額												
	負担金補助及び交付金	2,399,000											
			<p>専門性の高い製品を取り扱う市内中小企業が、分野を限定した展示会等に個別に出展する際の出展料の一部を補助金として交付し、中小企業の事業活動の活性化および地域経済の活性化を図った。</p> <p>○対象者 市内中小企業者</p> <p>○補助率・補助上限額</p> <table border="0"> <tr> <td><国内></td> <td>1/2・30万円</td> </tr> <tr> <td><国外></td> <td>1/2・50万円</td> </tr> </table> <p>○令和3年度の実績</p> <table border="0"> <tr> <td colspan="2">≪補助件数・補助額≫</td> </tr> <tr> <td><国内></td> <td>9件 ・ 2,253,000円</td> </tr> <tr> <td><国外></td> <td>1件 ・ 146,000円</td> </tr> </table>	<国内>	1/2・30万円	<国外>	1/2・50万円	≪補助件数・補助額≫		<国内>	9件 ・ 2,253,000円	<国外>	1件 ・ 146,000円
<国内>	1/2・30万円												
<国外>	1/2・50万円												
≪補助件数・補助額≫													
<国内>	9件 ・ 2,253,000円												
<国外>	1件 ・ 146,000円												

款 商工費

項 商工費

目 商工業振興費

重 点

商店街活性化事業

商
工
業
振
興
課

	円
予算現額	28,000,000
決算額	19,965,254
節別決算額	
負担金補助及び交付金	19,965,254

施策の内容および成果

商店会等が共同事業を実施する場合に補助金を交付し、活発な商店会活動を支援した。また、商店街灯のLED化など、商店街共同施設の整備等に要する経費に対し補助金を交付し、市内商店街の商業環境の整備を促進することで、商店街の活性化を図った。

- 商店街活性化事業

・活性化事業	24件	5,455,400円
・駐車場サービス事業	2件	228,300円
・共同施設事業	10件	5,630,200円
・照明サービス事業	48件	8,581,200円

- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

・申請件数	59件（上記重複有）
・補助金総額	19,895,100円

- 街のあかり維持事業（関連事業） 2件 70,154円

観光振興ビジョン策定事業

予算現額

10,247,759

決算額

10,247,759

節別決算額

委託料

10,247,759

円

施策の内容および成果

本市の観光に携わる関係者が連携し、一体的な取組みにより都市型観光を推進するため、観光振興ビジョンを策定した。

- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
外部意見聴取回数（ワークショップ等開催数）7回

【実施内訳】

ワークショップ（3回）、事業者ヒアリング、外国人ヒアリング、学生ワークショップ、市川市観光振興ビジョン策定協議会（各1回）



△市川市のこれからの観光を考えるワークショップ



△市川市観光振興ビジョン策定協議会

- 『市川市観光振興ビジョン』の概要

将来像1：多彩な魅力を育て、輝き続けるまち

将来像2：市民に愛され、来訪者がファンになるまち

将来像3：1人1人が担い手となり、情報や交流の“つながり”が広がるまち

キャッチフレーズ：気づいて市川 築いてICHIKAWA



△市川市観光振興ビジョン 本編



△市川市観光振興ビジョン 概要版

款 観光費

項 観光費

目 観光政策費

アイ・リンクタウン展望施設維持管理事業

円

施策の内容および成果

予算現額

74,389,590

決算額

73,496,746

節別決算額

需用費 8,537,018

役務費 182,584

委託料 42,494,039

使用料及び賃借料 221,445

負担金補助及び交付金 22,061,660

- 開所日数 315日（臨時休所日数 33日）
- 来所人数 132,669人
- 開催イベント 7回
 - ・写真、パネル展等（市川市写真家協会等） 5回（延38日）
 - ・季節の展示イベント（クリスマス・桜フォトスポット） 2回（延38日）



△アイ・リンクタウン
展望施設外観



△桜フォトスポットの設置
※桜をイメージした撮影スポットの設置により、季節感を演出するほか、市内の桜のPRを行った。



△展望施設から見える夜景

市川市観光大使プロモーション事業

予算現額

2,440,000

決算額

1,047,926

節別決算額

委託料

1,047,926

円

施策の内容および成果

令和2年11月3日に市川市観光大使に就任した愛月ひかるさん（元宝塚歌劇団星組）を通じ、本市の観光の魅力を市内外へPRした。

○令和3年度のプロモーション内容



△愛月大使による市川市のPRやインタビューの動画を公開



△撮影の様子



△特設ギャラリー（第1庁舎2階）

款 観光費

項 観光費

目 観光事業推進費

いちかわ観光物産インフォメーション事業

円

施策の内容および成果

予算現額

3,438,579

決算額

3,035,232

節別決算額

需用費

23,542

役務費

168,190

委託料

2,843,500

本市を訪れた観光客や市民が市川の見どころなどを再発見してもらうことを目的として、市内の観光スポットの紹介・案内、地場産品、伝統工芸品等の紹介・販売を行った。

令和3年4月1日に「いちかわ観光・物産案内所」をJR市川駅前から旧八幡市民談話室1階に移転し、施設名を「いちかわ観光物産インフォメーション」とした。

開所日数 346日

来所人数 延6,957人

事業内容

- ・観光スポット案内
- ・市川市観光協会グッズの販売（花火手拭い）
- ・千葉県指定伝統的工芸品の展示（行徳神輿など）
- ・市川地域ブランド協議会による地場産品の紹介・販売（のりなど）
- ・千葉県マスコットキャラクター「チーバくんグッズ」の販売



△施設外観



△施設内部

観
光
事
業
推
進
課

市民まつり運営事業

観光事業推進課

予算現額	6,254,000
決算額	5,900,000
節別決算額 負担金補助及び交付金	5,900,000

円

施策の内容および成果

市民の交流とふれあいを図る場を提供し、ふるさと意識の高揚と心のふれあう文化の息づくまちづくりを推進することを目的として毎年開催されている「いちかわ市民まつり」の主催者である同まつり実行委員会に対して、負担金を拠出するもの。令和3年度（第46回）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度（第45回）に引き続きオンラインを中心とした形式での開催としつつ、大洲防災公園に特設ステージを設置して市民団体による発表をYouTubeから生配信した。

〈開催内容〉

①特設ホームページ

市民活動団体の紹介、音楽やダンス等の発表、特別メニューやセールで参加する商店を紹介、特別番組の配信

②ケーブルテレビ、YouTubeで特別番組を生放送

令和3年11月3日 9時55分～11時30分

③特設ステージのYouTubeLIVE配信＋アーカイブ配信

合計 11,518回（令和4年3月31日現在）



△特設ステージでの発表の様子



△令和3年度の広報ポスター

款 土木費

項 土木管理費

目 建築指導費

耐震診断・改修助成事業

		円	施策の内容および成果	
建築指導課	予算現額	19,175,000	地震等による建築物の倒壊等の被害を未然に防止し、市民の生命・財産を保護するため、木造住宅および分譲マンションの耐震診断・耐震改修に要する費用の一部を助成し、耐震化を促進した。	
	決算額	17,401,881		
	節別決算額		○啓発活動	
	報償費	540,400	・無料耐震相談会	参加者数 42人
	需用費	18,823	○助成内訳	
	役務費	31,658	・木造住宅耐震診断費補助金	16件
	負担金補助及び交付金	16,811,000	・木造住宅耐震改修費補助金	8件
			・マンション耐震改修工事費補助金	1件

款 土木費

項 土木管理費

目 建築指導費

狭あい道路対策事業

		円	施策の内容および成果	
建築指導課	予算現額	3,360,000	セットバック部分の整備と寄附に必要な測量分筆登記を市で行い、または、これらにかかる費用の一部を助成することにより、市への寄附の促進を図るとともに、セットバック部分を道路として確保することで、狭あい道路における通行や安全性の向上、防災上の問題の解消を図った。	
	決算額	1,441,052		
	節別決算額		○助成内訳	
	委託料	481,052	・測量分筆登記の委託	1件 (22㎡)
	負担金補助及び交付金	960,000	・測量分筆登記費用の補助	4件 (38㎡)
			・道路拡幅箇所 (年間実績)	5箇所

危険コンクリートブロック塀等対策事業

建築指導課

	円
予算現額	5,700,000
決算額	4,889,000
節別決算額	
負担金補助及び交付金	4,889,000

施策の内容および成果

コンクリートブロック塀等の倒壊による人的被害および道路閉塞を回避するために、建築基準法に規定する道路等に面する危険コンクリートブロック塀等の除却に要する費用の一部を助成し、危険なブロック塀等の除却を促進した。

○助成内訳

- 危険コンクリートブロック塀等対策事業補助金

【全部除却】	避難路沿道	除却長さ	142.03m
	避難路沿道以外	除却長さ	281.56m
【一部除却】	避難路沿道	除却長さ	11.60m
	避難路沿道以外	除却長さ	105.76m

空き家対策事業

建築指導課

	円
予算現額	4,878,933
決算額	3,890,003
節別決算額	
報償費	127,400
需用費	1,852
役務費	1,006,751
負担金補助及び交付金	2,754,000

施策の内容および成果

良好な住環境を保全するため、空き家等対策の推進に関する特別措置法および市川市空き家等の適切な管理に関する条例に基づき、助言・指導、勧告等を行った。

また、特定空き家等（放置することが不適切な状態の空き家）の除却費用に対する補助を行い、居住環境の整備改善を図った。

○法律に基づく指導等

- 相談件数 329件
- 指導件数 151件
- 是正件数 94件（うち建物除却 75件）

○空き家除却・活用事業補助金の交付実績

- 不燃化・耐震化推進地域特定空き家除却事業補助金交付件数 4件
- 無接道敷地特定空き家除却事業補助金交付件数 1件

款 土木費

項 道路橋りょう費

目 道路橋りょう維持費

道路舗装事業

道路安全課

予算現額	268,500,000
決算額	236,592,900

節別決算額	
委託料	4,796,000
工事請負費	231,796,900

施策の内容および成果

道路を常に良好な状態に維持し、機能を保持するため、舗装補修を行った。

- 本庁管内分
 - ・委託料 4,796,000円
 - ・工事請負費 舗装面積 10,000㎡ 155,783,600円
- 支所管内分
 - ・工事請負費 舗装面積 5,796㎡ 76,013,300円



△着工前



△完成

款 土木費

項 道路橋りょう費

目 道路橋りょう維持費

道路安全対策事業

道路安全課

予算現額	30,441,200
決算額	30,142,200

節別決算額	
需用費	10,441,200
工事請負費	19,701,000

施策の内容および成果

市内小学校通学路等の安全対策として、防護柵の設置やカラー舗装を行った。

- 本庁管内分
 - ・需用費 6,755,100円
 - ・工事請負費 14,120,700円
- 支所管内分
 - ・需用費 3,686,100円
 - ・工事請負費 5,580,300円



△着工前



△完成

道路改良事業

道路建設課

円	
予算現額	381,895,000
決算額	291,329,470

節別決算額	
委託料	484,000
工事請負費	289,916,700
補償補填及び賠償金	928,770

施策の内容および成果

歩道の段差解消や平坦性の確保などのバリアフリー化を進め、安全で快適な歩行空間の確保を図るため、行徳地区など3箇所において工事を実施した。

- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
工事箇所数 3箇所

道路改良工事（塩浜4丁目）



△着工前



△完成

人にやさしい道づくり重点地区整備事業

道路建設課

円	
予算現額	45,000,000
決算額	15,500,000

節別決算額	
工事請負費	15,500,000

施策の内容および成果

歩道の段差解消や平坦性の確保などのバリアフリー化を進め、安全で快適な歩行空間の確保を図るため、1箇所において工事に着手した。

- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
工事箇所数 0箇所（令和4年4月完成）

人にやさしい道づくり工事（新田2丁目）



工事延長=690m

款 土木費

項 道路橋りょう費

目 道路新設改良費

重 点

道路拡幅整備事業

	円
予算現額	417,820,200
決算額	333,009,233

節別決算額	
需用費	1,500
役務費	442,200
委託料	6,798,858
使用料及び賃借料	80,772
工事請負費	162,713,300
公有財産購入費	162,782,618
補償補填及び賠償金	189,985

施策の内容および成果

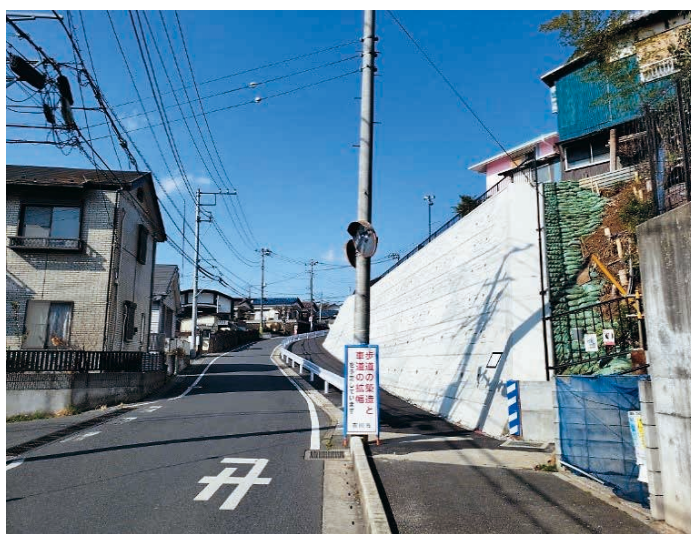
交通の円滑化と安全性の向上を図るため、稲越地区や国府台地区などにおいて用地買収と道路拡幅工事を実施した。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
 拡幅工事箇所数 4箇所

道路拡幅（擁壁築造工）工事（稲越1丁目）



△着工前



△完成

道
路
建
設
課

自転車走行空間ネットワーク整備事業

道路建設課

円

施策の内容および成果

予算現額

129,000,000

決算額

31,187,200

節別決算額

委託料

21,659,000

工事請負費

9,528,200

安全で快適な自転車走行空間ネットワークの構築を目的として策定した「市川市自転車走行空間ネットワーク整備計画」に基づき、塩焼地区で工事1箇所と南行徳地区に自転車走行空間を整備するための詳細設計委託を実施した。

自転車走行空間整備工事（塩焼2丁目）



△着工前



△完成

道路新設改良事業

道路安全課

円

施策の内容および成果

予算現額

171,110,000

決算額

148,706,492

節別決算額

委託料

3,849,692

工事請負費

144,856,800

側溝の排水不良などの生活環境の改善を図るため、側溝整備を行った。

○本庁管内分

・委託料

3,849,692円

・工事請負費（延長1,166.0m）

92,143,700円

○支所管内分

・工事請負費（延長577.0m）

52,713,100円



△着工前



△完成

款 土木費

項 道路橋りょう費

目 道路新設改良費

重点

橋りょう長寿命化計画事業

円

施策の内容および成果

予算現額

265,290,000

決算額

250,450,200

節別決算額

委託料

37,110,700

工事請負費

213,339,500

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

修繕工事箇所数 2箇所

・委託料

37,110,700円

・工事請負費

2橋

213,339,500円



△着工前



△完成



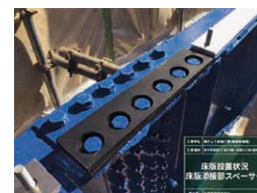
△施工中（主桁の腐食）



△施工中（主桁補修後）



◁腐食箇所



補修箇所▷

道
路
安
全
課

交通バリアフリー推進事業

円

予算現額

228,377,000

決算額

219,336,000

節別決算額

負担金補助及び交付金

219,336,000

施策の内容および成果

鉄道駅における高齢者・障がい者等の移動等の円滑化を推進するため、市内の鉄道駅にバリアフリー設備を整備する鉄道事業者に費用の一部を補助した。

○鉄道駅エレベーター等整備事業補助金

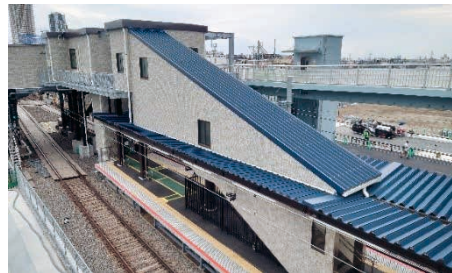
・菅野駅（京成電鉄株式会社）

【整備内容】 車いす対応エレベーター、車いす対応トイレ

【施行期間】 令和2年10月1日～4年3月24日

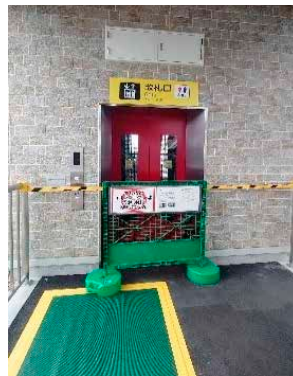
【補助率】 1/3

菅野駅全体の様子



交通計画課

車いす対応エレベーター



◁ホーム階

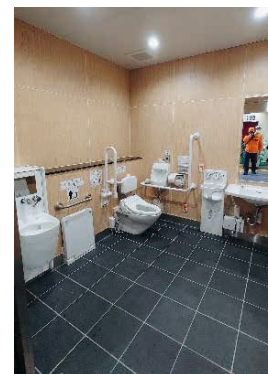
車いす対応トイレ



◁外観



◁改札階



◁内観

款 土木費

項 道路橋りょう費

目 交通対策費

通学路区画線等整備事業

道路安全課

予算現額	8,320,446
決算額	8,320,446
節別決算額 需用費	8,320,446

円

施策の内容および成果

市内の公立・私立小学校の通学路において行われる、定期的な合同点検に合わせ、視認性が低下した区画線等の整備を行った。



△着工前



△完成

款 土木費

項 河川費

目 排水対策費

重点

排水施設整備事業

河川・下水道建設課

予算現額	1,233,000,000
決算額	425,213,800
節別決算額 工事請負費	425,213,800

円

施策の内容および成果

自然排水のできない低地地域の浸水被害を軽減させるため、排水機場の施設の更新を行った。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

- ①鬼高排水機場改修工事 100%
- ②二俣排水機場改修工事 93%

鬼高排水機場改修工事【継続費】

二俣排水機場改修工事【継続費】



◁着工前



◁完成



◁着工前



◁施工中

塩浜地区整備事業

街づくり整備課

	円
予算現額	21,500,000
決算額	21,453,300
節別決算額	
委託料	1,457,500
工事請負費	19,995,800

施策の内容および成果

塩浜区画整理地内の市有地をイベント等で活用するため、新たに広場や駐車場を整備した。

- ・草刈り等業務委託 年3回
- ・塩浜市有地広場整備工事 約5,000㎡



△塩浜市有地広場整備工事

あんしん住宅推進事業

街づくり整備課

	円
予算現額	27,043,672
決算額	26,351,672
節別決算額	
役務費	43,672
負担金補助及び交付金	26,308,000

施策の内容および成果

既存住宅の良質化に資する改修を支援するもので、市民が所有し居住する住宅（戸建および分譲マンション）の改修工事費の一部を助成した。

- 対象工事：バリアフリー、防災性の向上、省エネ、子育て配慮に資する工事
- 助成費：①改修工事費用の1/3（上限10万円）
 - ②木造住宅で、耐震診断を行い耐震性能に係る数値が1.0未満であり、最低の値を向上させる工事および、昭和56年5月以前着工の木造住宅で、耐震シェルター等の設置を行う工事は、1/2（上限30万円）
 - ③分譲マンション共用部のバリアフリー改修および浸水対策工事は、1/3（上限100万円）
- ※対象工事の施工は市内業者とする。
- 令和3年度「市川市あんしん住宅助成制度」補助実績260件（26,308,000円）
 - 内訳：①252件（23,479,000円）
 - ② 6件（1,800,000円）
 - ③ 2件（1,029,000円）

款 土木費

項 都市計画費

目 都市整備費

都市景観形成事業

街づくり計画課・街づくり整備課・公園緑地課

	円
予算現額	19,418,000
決算額	16,610,534

節別決算額	
報償費	17,106
需用費	2,764,918
役務費	48,810
委託料	13,779,700

施策の内容および成果

美しい景観づくりに向け、景観計画に基づく取り組みを実施するとともに、ガーデニングによる市民交流を通じた意識の醸成、市民・地域が主体となる景観まちづくりを推進した。

- まち並み景観向上への取り組み
 - ・イルミネーションの設置 6箇所
- ガーデニングシティいしかわの推進
 - ・ガーデニングサポーター・ボランティアの運営
 - ・ガーデニングシティいしかわ紹介展
 - ・クロロとバララのタオルハンカチの配布 2,800組
- 景観まちづくりの推進
 - ・景観アドバイザーによる景観形成推進指導 1回
 - ・景観賞の表彰 2組

▽イルミネーションの設置（市川駅南口）



▽ガーデニングサポーター・ボランティアの運営（桜見公園）



旧行徳街道地域の活性化事業

道路建設課・道路安全課・公園緑地課

円

予算現額

60,000,000

決算額

54,158,570

節別決算額

(目名 道路橋りょう維持費)

工事請負費 6,476,800

(目名 道路新設改良費)

委託料 19,081,770

(目名 公園費)

工事請負費 28,600,000

施策の内容および成果

地域資源やまち並みを生かすことで、地域に対する愛着と誇りを感じられるよう、まちの活性化を図る整備を進めた。

令和3年度は、常夜灯公園眺望施設の整備、ならびに安全性確保のため歩道の着色等を行った。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
工事の進捗率 100%

- ・旧行徳街道舗装補修工事 6,476,800円
- ・電線類移設等予備設計業務委託 19,081,770円
- ・常夜灯公園眺望施設整備工事 28,600,000円

○旧行徳街道舗装補修工事



△着工前



△完成

○常夜灯公園眺望施設整備工事



△着工前



△完成①



△完成②

款 土木費

項 都市計画費

目 街路事業費

重点

都市計画道路3・6・32号整備事業

円

予算現額

336,253,000

決算額

217,437,999

節別決算額

需用費 59,873

役務費 967,512

委託料 5,734,300

工事請負費 92,227,300

公有財産購入費

112,145,805

補償補填及び賠償金

6,303,209

施策の内容および成果

都市計画道路3・6・32号市川鬼高線の外環道路接続部から東側の延長約650mの区間について、用地買収と管渠移設工事を実施し、道路築造工事に着手した。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

工事の進捗率 11%

完成イメージ



道路築造工事



△着工前



△着工後

道
路
建
設
課

支所管内公園緑地施設整備事業

円

施策の内容および成果

予算現額

59,988,100

決算額

45,852,400

節別決算額

需用費

4,612,300

工事請負費

41,240,100

塩浜中央公園の整備等、支所管内公園緑地の整備を行った。

○塩浜中央公園



△完成

公園緑地課



△着工前



△着工前



△完成



△完成

款 土木費

項 都市計画費

目 公園費

重点

小塚山公園整備事業

公園
緑地
課

	円
予算現額	162,917,000
決算額	161,881,773

節別決算額	
役務費	2,325,400
工事請負費	58,663,000
公有財産購入費	100,893,373

施策の内容および成果

隣接する堀之内貝塚公園との連携強化を図り、特色ある地区公園づくりのため、小塚山公園の拡充整備を実施した。

- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
公園整備率（令和3年度末） 100%



△小塚山公園拡充整備完成

款 土木費

項 都市計画費

目 大町動植物公園費

重点

大町公園整備事業

動
植
物
園

	円
予算現額	13,277,000
決算額	13,226,400

節別決算額	
工事請負費	13,226,400

施策の内容および成果

入場者の利便性を高めるため、動物園入口からバラ園まで、ベビーカーや車いすの方でも通行できるように園路舗装を実施した。

- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
工事の進捗率 100%



△着工前



△完成

動植物園整備事業

動植物園

予算現額

31,600,000

決算額

31,232,538

節別決算額

需用費

16,836,380

備品購入費

14,396,158

円

施策の内容および成果

市川市動植物園の集客力・満足度の向上・安全の確保を図るため、修繕や施設整備、備品管理等を計画的に実施した。

令和3年度はアルパカ・マイクロブタ・フェネックを購入し、飼育することで、動植物園のより一層の魅力向上を図った。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
入園者数 231,113人

○購入実績

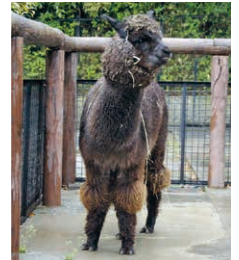
・アルパカ（令和3年4月、12月）



△おはぎ



△マシュ



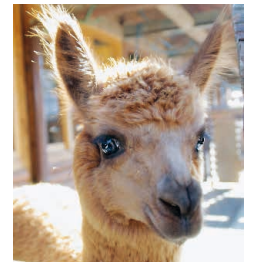
△チャッピー



△もちち



△ホイップ



△メイプル

・マイクロブタ（令和4年3月）



・フェネック（令和4年3月）



款 消防費

項 消防費

目 常備消防費

予防消防に関する事業

	円
予算現額	1,738,157
決算額	1,618,157
節別決算額	
需用費	487,449
役務費	130,708
負担金補助及び交付金	1,000,000

施策の内容および成果

災害の未然防止と発災時の被害を最小限にとどめるため、次のような予防活動を行った。

立入検査	1,986件
巡回広報	324回
消防訓練	65回
庁舎見学	11回
動画共有サイト広報	4回

○取扱事務の状況

危険物施設の許認可等	276件
危険物の規制に関する届出等	684件
建築許認可等の同意	523件

○婦人消防クラブの育成

一般家庭からの出火防止と地域における女性防災リーダーの育成を図ることを目的として、活動を行った。

主な活動	回数	参加者
火災予防普及活動	207回	474人
会議	6	445
計	213	919



△立入検査

消防救急に関する事業

消防総務課

円

施策の内容および成果

予算現額

149,235,735

決算額

138,399,589

節別決算額

(目名 常備消防費)

報償費 3,720,000
 旅費 4,361,691
 需用費 70,462,290
 役務費 13,513,740
 委託料 5,990,160
 使用料及び賃借料 7,345,517
 原材料費 188,333
 負担金補助及び交付金 8,757,500
 公課費 2,469,000

(目名 非常備消防費)

旅費 11,625,020
 需用費 8,619,187
 委託料 796,565
 負担金補助及び交付金 73,386
 公課費 477,200

○火災およびその他の災害出動状況
 火災

区分	件数	焼損床面積【焼損表面積】	損害額
建物火災	46件	1,133㎡【264㎡】	111,195千円
車両火災	3	—	17,731
その他の火災	21	—	50
計	70	1,133㎡【264㎡】	128,976

火災等災害出動

常備隊

出動区分	火災出動	救助出動	その他	PA連携	風水害出動	応援火災	計
件数	70件	405件	916件	2,757件	1件	26件	4,175件
人員	1,495人	6,646人	7,202人	19,332人	403人	143人	35,221人

非常備隊

出動区分	火災等	警戒	訓練	計
回数	13回	391回	344回	748回
人員	111人	1,995人	2,318人	4,424人

○消防相談として市民から通報があり、消防隊が出動し処置等を行った。

相談内容	件数
身体障がい者の介護等協力	106件
蜂・蛇の駆除および動物の捕獲等	65
警報器等に関すること	37
花火・焚火等の放置・苦情	25
その他	147
計	380

○消防団の教育機関での研修

千葉県消防学校 消防団員警防科教育研修 (2人)
 千葉県消防学校 女性消防団員科教育研修 (2人)

○消防団用被服の充実 4,329,600円

活動服 40着
 制服 20着
 防寒衣 170着

施策の内容および成果

○救急の状況

事故種別	区分	出動件数	搬送人員
火災		48件	18人
自然災害事故		15	7
水難事故		13	4
交通事故		1,320	1,265
労働災害事故		204	203
運動競技事故		60	60
一般負傷		3,522	3,280
加害		92	64
自損行為		180	130
急病		14,792	13,496
その他		2,719	1,525
計		22,965	20,052

○メディカルコントロール体制の充実

救急活動事後検証	192回
救急救命士指示	552回

○救命講習会開催状況

年	種別	普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ	
		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
令和3年		49回	761人	0回	0人	7回	67人

年	種別	上級救命講習		外傷応急手当講習		救命入門コース	
		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
令和3年		0回	0人	0回	0人	0回	0人

年	種別	応急手当普及員講習 (普及員再講習含む)		その他の応急手当講習		応急手当指導員講習 (指導員再講習含む)	
		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
令和3年		2回	11人	0回	0人	1回	8人

(注) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い
一定期間講習開催を中止とした

計	
回数	受講者数
59回	847人

消防施設装備の強化

		円	施策の内容および成果	
消防 総務 課	予算現額	642,098,887		
	決算額	526,287,202		
	節別決算額			
	〔目名 常備消防費〕			
	備品購入費	15,345,330	○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績	165,962,692円
	負担金補助及び交付金	89,736,280	用地買収および自家給油所工事	進捗率 100%
			(北部地区消防防災施設に係るもの)	
	〔目名 非常備消防費〕		○消防活動用資機材等の整備	17,101,810円
	備品購入費	1,756,480	防火衣 (警防隊員用)	25着
	〔目名 消防施設費〕		防火衣 (特別救助隊員用)	9着
需用費	23,638,620	ウエットスーツ (水難救助隊員用)	8着	
役務費	3,696,740	空気呼吸器	10台	
委託料	13,426,440	フロート担架	1式	
使用料及び賃借料	567,490	携帯用酸素呼吸器	10式	
工事請負費	61,215,000	空気呼吸器用高圧空気容器	14本	
公有財産購入費	105,654,232	有毒ガス検知器	1式	
備品購入費	202,361,390	消防団災害現場用ホース	23本	
負担金補助及び交付金	8,659,600	女性消防団員用軽可搬ポンプ	1台	
公課費	229,600	女性消防団員用ホース	3本	
		消防団用ホース巻取機	1台	
		消防団横断幕・懸垂幕	5枚	
		○消防車両の整備 (自動車重量税、リサイクル手数料含む)	221,920,530円	
		高規格救急自動車	2台	
		水難救助車	1台	
		消防ポンプ自動車	1台	
		火災調査車	1台	
		大型化学高所放水車オーバーホール	1台	
		○庁舎等の整備	22,906,290円	
		第1分団車庫兼詰所取壊し工事等		
		市川市消防局・東消防署合同庁舎訓練施設等改修設計業務委託		
		○消防水利等の整備	8,659,600円	
		消火栓新設・維持管理等経費		

施策の内容および成果

- 消防指令センターの運用 81,446,523円
 千葉北西部消防指令センター運用に係る構成市（6市）負担金
 ちば北西部消防指令センター運用に係る構成市（10市）負担金
- 千葉県消防救急無線広域共同運用事業 8,289,757円
 消防救急無線の維持管理に伴う市町村負担金



△消防ポンプ自動車



△水難救助車



△高規格救急自動車



△火災調査車



△北消防署自家給油取扱所

いじめ防止対策事業

		円	施策の内容および成果
義務教育課	予算現額		
		83,000	
	決算額		
		81,900	
節別決算額			
報酬	45,500		いじめ防止対策推進法に規定する組織（市川市いじめ問題対策連絡協議会、市川市いじめ防止対策委員会）を条例で設置し、いじめ防止等のための対策を講じた。
報償費	36,400		○市川市いじめ問題対策連絡協議会 2回実施 ○市川市いじめ防止対策委員会 1回実施
			○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績 いじめの解消率（文部科学省調査） 小学校 81% 中学校 68%

障がい者雇用事業

		円	施策の内容および成果									
教育総務課	予算現額											
		40,000										
	決算額											
		22,627										
節別決算額												
需用費	15,383		「障害者の雇用の促進等に関する法律」に定める障がい者の法定雇用率を確保するための施策の1つとして、「チャレンジド オフィス いちかわ」を設置している。市内に在住している一般企業等への就職が困難な障がいのある方を、会計年度任用職員として最長3年間雇用し、一般企業等への就職が円滑に行えるよう支援を行った。また、令和2年度に策定した「市川市障がい者活躍推進計画」に基づき、障がい者の自立と社会参加の促進に努めた。									
役務費	7,244											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>勤務場所</th> <th>障がい者雇用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>市役所第2庁舎</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>須和田の丘支援学校</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		勤務場所	障がい者雇用人数	1	市役所第2庁舎	4人	2	須和田の丘支援学校	1
	勤務場所	障がい者雇用人数										
1	市役所第2庁舎	4人										
2	須和田の丘支援学校	1										

款 教育費

項 教育総務費

目 事務局費

奨学資金事業

就
学
支
援
課

円
予算現額
21,845,000

決算額
21,592,334

節別決算額
報酬 54,600
需用費 734
負担金補助及び交付金
21,537,000

施策の内容および成果

学力が優良でありながら、経済的理由により高等学校、中等教育学校（後期課程に限る）または高等専門学校における修学が困難な方に奨学資金を支給し、教育の機会均等を図った。

○1人当たり奨学資金

	国公立	私立
月額	9,000円	15,000円
年額	108,000	180,000

○支給人数 150人

款 教育費

項 教育総務費

目 事務局費

入学準備金貸付事業

就
学
支
援
課

円
予算現額
30,337,000

決算額
12,136,588

節別決算額
需用費 77,848
委託料 608,740
貸付金 11,450,000

施策の内容および成果

高等学校、専修学校、短期大学または大学に入学を希望する者の保護者で入学準備金の調達が困難な方に対し、その一部を無利子で貸し付け、教育の機会均等を図った。

○貸付実績

区分		借受人数	貸付金額
高等学校	国公立	5人	500千円
	私立	7	2,100
専修学校	国公立	1	150
	私立	6	2,400
短期大学	国公立	0	0
	私立	2	800
大学	国公立	0	0
	私立	11	5,500
計		32	11,450

幼児教育推進事業

指導課

	円
予算現額	157,000
決算額	95,444
節別決算額	
旅費	71,552
役務費	23,892

施策の内容および成果

私立および公立幼稚園における特別支援教育の充実を図るため、園の要請に応じて相談員が訪問し、教員や相談を希望する在園児保護者に対し指導、助言を行った。令和3年度においては、5人の相談員が公立幼稚園6園、私立幼稚園22園を巡回し、支援が必要な園児に対する適切な指導や支援など、教員の専門性、指導力の向上に努めた。また、南行徳幼稚園と百合台幼稚園の「子育て相談室」では、専任の相談員が、子育てや発達等について不安や悩みを抱える未就学児の保護者からの相談に対応した。



△幼稚園子育て相談室

外国語指導助手派遣事業

指導課

	円
予算現額	238,000
決算額	73,434
節別決算額	
旅費	73,434

施策の内容および成果

市立中学校および義務教育学校（後期課程）に、英語圏を中心とした国の外国人人材を英語科教員助手（ALT）として派遣し、英語教育および国際理解教育の一層の推進に努めた。

また、小学校における英語教育や国際教育の推進に努めた。

- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
「英語の授業が好き」と回答する生徒（中学校1・2年生）の割合 79%



△ALTと学級担任による
ティーム・ティーチング



△ALTによる中学校の英語の授業

款 教育費

項 教育総務費

目 学校教育指導費

外国人子女等適応支援事業

		円	施策の内容および成果
指導課	予算現額	3,630,000	<p>市立小学校5校、中学校2校および義務教育学校にワールドクラスを設置し、日本語が十分理解できない児童生徒を対象に日本語教育を含めた学習面での指導や学校生活への適応指導を行った。</p> <p>ワールドクラスの未設置校における対象の児童生徒には、通常の学級で学習しながら通訳講師を派遣し、母語での通訳を介して日本語指導や教科指導、学校生活への適応指導を行った。</p>
	決算額	3,238,000	
	節別決算額		
	報償費	3,208,000	
	役務費	30,000	
			<p>通訳派遣回数 802回</p> <p>対象児童生徒数 193人</p>
			<p>小学校における日本語指導の様子▷</p> 


款 教育費

項 教育総務費

目 学校教育指導費

重点

小学校外国語活動推進事業

		円	施策の内容および成果
指導課	予算現額	58,000	<p>市立小学校および義務教育学校（前期課程）に、日本語および英語の会話能力を有する人材（外国語活動指導員）を、3年生～6年生の外国語活動および外国語科の授業に派遣した。</p> <p>※外国語活動指導員は、各校の年間指導計画に沿って、学級担任等の補助として、外国語教育に携わり、英語でのコミュニケーション能力の素地や基礎を養うことを目的に、英語に親しむ活動を計画・実施している。</p>
	決算額	22,740	
	節別決算額		
	旅費	22,740	
			<p>◁外国語活動指導員と学級担任による ティーム・ティーチング</p> 

学校司書設置事業

円	
予算現額	161,000
決算額	65,653
節別決算額 旅費	65,653

施策の内容および成果

市立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校に、本の専門家として学校司書を配置し、学校図書館の環境整備や、学校図書館を活用した授業の充実に向けた取り組みを行い、読書教育を推進した。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
市立公立学校における学校司書設置率（正規職員も含む） 100%



△学校司書による授業の様子



△授業において活用される新着本の帯



△年に数回読書月間を実施



△季節やテーマに合わせた学校図書館展示の様子

款 教育費

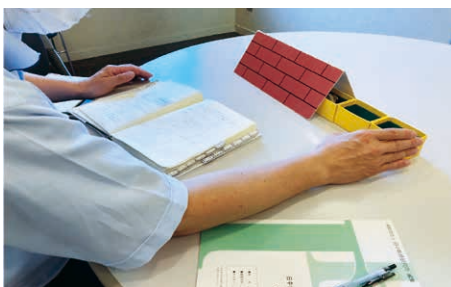
項 教育総務費

目 教育センター費

重点

教育相談事業

		円	施策の内容および成果
教育センター	予算現額	424,000	3歳以上の幼児・児童生徒とその保護者に対し、専門的知識を持つ教育相談員が、子育てをしていく中で生じる様々な悩みの相談に対応した。
	決算額	323,126	
	節別決算額		○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
	報償費	150,000	教育相談・ほっとホッと訪問相談件数（年間・延） 6,749件
	旅費	29,950	
	需用費	114,936	
	役務費	28,240	



△田中ピネー式知能検査の様子



△箱庭療法のミニチュア玩具

款 教育費

項 教育総務費

目 教育センター費

重点

学校図書館支援センター事業

		円	施策の内容および成果
教育センター	予算現額	4,693,000	学校と公共図書館および学校間をネットワークで結び、図書の相互貸借、公共図書館蔵書検索、学校図書館蔵書のコンピューター管理を行い、図書の有効活用の研究を進めた。
	決算額	4,645,274	
教育センター	節別決算額		○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
	報償費	74,000	年間配送冊数 36,268冊
	需用費	38,980	
	役務費	1,898,894	
	委託料	2,633,400	図書資料を活用した授業の様子▷



小学校・中学校トイレ改修事業

円

予算現額

489,401,000

決算額

226,365,700

節別決算額

(目名 学校管理費(小学校))

工事請負費 174,115,700

(目名 学校管理費(中学校))

工事請負費 52,250,000

施策の内容および成果

児童生徒が清潔で快適に利用できるよう老朽化したトイレの改修を計画的に行い、環境改善を図った。

○小学校 174,115,700円

- ・福栄小学校トイレ改修工事
- ・行徳小学校トイレ改修工事
- ・平田小学校トイレ改修工事

○中学校 52,250,000円

- ・第五中学校トイレ改修工事

福栄小学校トイレ改修工事

▽改修前



▽改修後

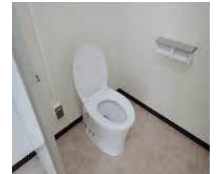


行徳小学校トイレ改修工事

▽改修前



▽改修後



平田小学校トイレ改修工事

▽改修前



▽改修後



第五中学校トイレ改修工事

▽改修前



▽改修後



款 教育費

項 小学校費・中学校費・学校保健費

目 学校管理費・学校管理費・学校保健費

学校感染症対策事業

円

施策の内容および成果

予算現額

91,818,640

決算額

77,070,285

節別決算額

(目名 学校管理費(小学校))

備品購入費 30,940,312

(目名 学校管理費(中学校))

備品購入費 15,915,461

(目名 学校保健費)

需用費 23,174,072

役務費 6,371,640

委託料 668,800

学校における新型コロナウイルス感染症対策の強化を図るため、以下の事項を実施した。

- アルコール消毒液等の感染対策消耗品を購入し、市立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校の教室等における感染症対策を十分にできるようにした。
- 市立小・中学校の全教職員等に対し、PCR検査を実施し、新型コロナウイルス感染拡大防止を図った。
受検者数 延2,582人
- 空気清浄機・サーキュレーター等の感染予防備品を購入し、市立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校の教室等における感染症対策を強化した。



△導入したサーキュレーター



△導入した空気清浄機

デジタル教科書等導入事業

	円	施策の内容および成果
予算現額	12,050,000	○事業内容 ・新学習指導要領の全面実施に伴い、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善のツールとして活用を図る。 ・市立小・中学校、義務教育学校を対象に、「指導者用デジタル教科書（教材）」を学年や教科を選定して導入する。
決算額	12,019,700	
節別決算額		○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績 児童生徒1人1台の端末整備率 100%
（目名 教育振興費(小学校)） 使用料及び賃借料	5,877,300	
（目名 教育振興費(中学校)） 使用料及び賃借料	6,142,400	

指導課

指導者用デジタル教科書導入・活用による効果

☆小学校：算数（小1～小6）

☆中学校：国語・社会・数学
理科・英語（中1～中3）

アナログからデジタルへ



実験方法
説明動画



- ・大型提示装置等に、紙の教科書と同じ内容を映し出すことができ、見たいところを簡単に拡大したり、ポイント等を直接書き込んだりすることができた。
- ・教科書の内容に沿った、色々な写真や音声等の教材ができ、学習に関する興味や関心を引き出すことができた。
- ・作業工程や実験方法の動画を繰り返し見ることができ、児童生徒の理解を深めることができた。

款 教育費

項 小学校費・中学校費

目 教育振興費・教育振興費

小学校・中学校図書館資料整備事業

円

施策の内容および成果

予算現額

16,927,000

決算額

16,810,506

節別決算額

(目名 教育振興費(小学校))

需用費 12,069,135

(目名 教育振興費(中学校))

需用費 4,741,371

教科書の学習内容に合った図書や、探究的な学習において有効に活用できる図書を購入し、学校図書館資料の充実を図ることにより図書館を効果的に活用した教育を推進した。

平成28年度から大畑恣教育基金の一部を活用し、小学校の図書の購入数を増加させることにより、学校図書館資料の充実を更に図った。

令和3年度末図書整備率(小学校)：123.4%

令和3年度末図書整備率(中学校)：106.3%

須和田の丘支援学校狭隘対策事業

予算現額	43,422,110
決算額	35,865,500

節別決算額	
委託料	3,630,000
工事請負費	32,235,500

施策の内容および成果

須和田の丘支援学校の生徒数増加による本校舎教室不足を解消するため、令和4年9月供用開始を目指した須和田の丘支援学校（仮）特別教室棟工事着工に向けて、準備を整えた。

委託料	
・ 遺跡調査委託料	3,630,000円
工事請負費	
・ 第二中学校テニスコート等整備工事	32,235,500円

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

テニスコート等整備工事の進捗率	100%
設計業務の進捗率	100%

▽遺跡調査作業



▽テニスコート・駐車場等整備



款 教育費

項 中学校費

目 学校建設費

義務教育学校整備事業

円

予算現額

374,498,700

決算額

290,532,700

節別決算額

委託料

578,600

工事請負費

289,954,100

施策の内容および成果

平成27年4月に開校した塩浜学園の小中一貫教育の効果を確かなものとするため、「校舎を一体型にして連続性を高める」などの環境整備を図った。

令和2年8月に校舎等供用開始後、校庭、外構等の整備を行い、3年9月に完全供用を開始した。

委託料

・家屋等調査委託料

578,600円

工事請負費

・塩浜学園外構等整備工事

289,954,100円

▽令和3年9月完全供用開始



教育施設課

学校給食の充実

保健
体育
課

	円
予算現額	1,885,443,317
決算額	1,869,844,209
節別決算額	
報償費	95,500
需用費	141,015,823
役務費	6,490
委託料	1,702,895,690
使用料及び賃借料	10,884,720
備品購入費	14,945,986

施策の内容および成果

小学校38校、中学校15校、義務教育学校1校、特別支援学校1校の計55校全校で、完全給食の推進と円滑な運営に努めた。

○実績

・調理業務等の委託化

小学校	34校
中学校	15校
義務教育学校	1校
合計	50校

○給食調理業務用各種機械器具購入整備により、食品衛生管理の推進と作業効率の向上を図った。

○小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校の全調理場において給食室内の清掃を実施することにより、食品等衛生管理の推進を図った。

学校給食費負担軽減・食育交流事業

保健
体育
課

	円
予算現額	158,604,016
決算額	146,235,932
節別決算額	
需用費	146,235,932

施策の内容および成果

保護者の経済的負担を軽減するために、給食費の一部を市が負担した。

また、喜多方市・西会津町・北塩原町と相互交流に関する協定を締結したことを受けて、その交流の一環として当該地域で生産された米を学校給食に取り入れ、食育を通じた交流を図った。

款 教育費

項 学校給食費

目 学校給食費

学校給食子育て支援事業

		円	施策の内容および成果			
保健 体育 課	予算現額	47,928,984	多子世帯の支援策として、義務教育期間中の第3子以降の児童生徒の学校給食費を無料とすることで、子育て世帯の経済的負担を軽減した。			
	決算額	47,928,984				
	節別決算額 需用費	47,928,984	<ul style="list-style-type: none"> ○実績 <ul style="list-style-type: none"> ・認定者数 <table border="0"> <tr> <td>小学校</td> <td>996人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>13人</td> </tr> </table> 	小学校	996人	中学校
小学校	996人					
中学校	13人					

款 教育費

項 学校給食費

目 学校給食費

重点

学校給食費公会計化事業

		円	施策の内容および成果							
保健 体育 課	予算現額	1,789,556,683	令和3年度より、学校給食費の徴収や督促などの収納事務や、学校給食用物資の納入業者との契約および支払業務について、市の歳入歳出予算に組み入れ、一括管理した。							
	決算額	1,738,473,021								
	節別決算額 需用費 役務費 委託料	1,731,592,794 3,072,544 3,807,683	<ul style="list-style-type: none"> ○実績 <ul style="list-style-type: none"> ・収納管理 <table border="0"> <tr> <td>口座振替率</td> <td>93.4%</td> </tr> <tr> <td>収入率</td> <td>99.4%</td> </tr> </table> ・給食用物資納入業者登録 <table border="0"> <tr> <td>登録者数</td> <td>60社および1組合</td> </tr> </table> ○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績 <table border="0"> <tr> <td>「子どもとじっくり向き合っていると思う」と回答する教職員の割合</td> <td>74.3%</td> </tr> </table> 	口座振替率	93.4%	収入率	99.4%	登録者数	60社および1組合	「子どもとじっくり向き合っていると思う」と回答する教職員の割合
口座振替率	93.4%									
収入率	99.4%									
登録者数	60社および1組合									
「子どもとじっくり向き合っていると思う」と回答する教職員の割合	74.3%									

ヘルシースクール推進事業

保健
体育
課

		円	施策の内容および成果
予算現額	18,300,042		
決算額	16,564,705		
節別決算額			
報償費	1,001,900		○実績
需用費	3,465		・ヘルシースクール講演会 実施校（園） 6校（園）
委託料	15,559,340		・小児生活習慣病検診（小学校5年生を対象に実施） 受診者数 2,835人 受診率 72.6%
			・すこやか口腔検診 受診者数 466人（菅野小学校ほか4校で実施）
			・すこやか味覚検査 受診者数 75人（曾谷小学校で実施）
			・体力データ処理分析 対象者数 30,889人（市立小・中学校55校で実施）
			○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績 「おさんは、規則正しい生活習慣（睡眠・食習慣など）が身に付いている」と回答する保護者の割合 小学校 84% 中学校 70%

款 教育費

項 学校保健費

目 学校保健費

オリンピック・パラリンピック教育推進事業

	円
予算現額	140,000
決算額	39,909
節別決算額	
報償費	30,000
需用費	9,909

施策の内容および成果

オリンピック・パラリンピックを活用した教育を推進するため、千葉県から真間小学校、平田小学校がオリンピック・パラリンピック教育推進校に指定された。教育推進校においては、オリンピック・パラリンピックそのものについて学ぶとともに、競技に関連する講演会等を開催した。

○実績

・真間小学校

令和3年6月3日

キャリア教育講演会

「夢を見る 夢を見続ける」～学びは将来の夢をかなえる活動～

令和3年12月15日

フェンシング協会学校訪問

▽キャリア講演会の様子（真間小学校）



・平田小学校

令和3年9月21日

パラリンピックアスリート講演会

「あすチャレ！スクール」

令和3年10月15日

パラリンピック関連授業

「I'm POSSIBLE」

▽「あすチャレ！スクール」の様子（平田小学校）



コミュニティクラブ事業

学校
地域
連携
推進
課

	円
予算現額	4,605,000
決算額	3,180,387
節別決算額	
需用費	104,213
役務費	5,300
委託料	3,070,874

施策の内容および成果

ボランティアで組織された15中学校ブロックおよび1義務教育学区のコミュニティクラブと市が委託契約を結び、地域性を活かしながら「遊び」を通して、子どもたちが主体的に関わる様々な体験活動や豊かな対人関係を築いていくための異年齢交流・世代間交流を図った。

- 活動例：農業体験、お琴体験、海釣り体験、親子ハイキング
16コミュニティクラブのイベント参加人数：13,230人



＜農業体験の様子＞

コミュニティ・スクール地域学校協働活動推進事業

学校
地域
連携
推進
課

	円
予算現額	3,827,944
決算額	3,465,766
節別決算額	
報償費	1,773,000
需用費	1,169,402
役務費	523,364

施策の内容および成果

学校を核とした地域づくりのために、家庭・学校・地域の様々な活動を支援する地域学校協働本部を推進し、地域学校協働活動推進員を育成するもの。

令和3年度においては、116人の地域学校協働活動推進員を配置し、地域と学校が連携・協働した活動を実施した。

- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
統括的な地域学校協働活動推進員・地域学校協働活動推進員の
複数配置人数 116人



＜花壇整備の様子＞

款 教育費

項 社会教育費

目 社会教育総務費

重点

コミュニティ・スクール学校運営協議会運営事業

学校地域連携推進課

	円
予算現額	3,263,000
決算額	2,953,481

節別決算額	
報酬	2,874,152
需用費	35,235
役務費	44,094

施策の内容および成果

保護者の代表、地域の代表、学識経験者等で構成する学校運営協議会を設置し、学校運営に一定の権限と責任を持って参画することで、地域とともにある学校づくりを進め、地域全体で子どもを守り育てる環境を整えた。

○令和3年度の学校運営協議会設置校数
55校・6園

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
「学校運営協議会を通じて、地域の声を生かした学校運営が図られている」と回答する学校運営協議会委員の割合 95%

款 教育費

項 社会教育費

目 社会教育総務費

成人祝賀事業

社会教育課

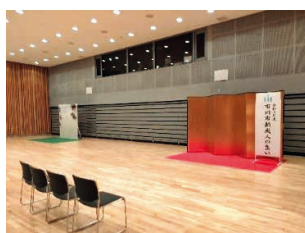
	円
予算現額	11,674,000
決算額	11,492,089

節別決算額	
報償費	1,024,250
需用費	4,306
役務費	279,293
委託料	10,184,240

施策の内容および成果

○新成人の集い（成人式）
二十歳になった若者を対象に祝賀事業を実施

実施日 令和4年1月9日
実施形態 式典は成人式特設サイトでオンライン配信
市立小・中学校等16箇所にフォトスポットを設置
参加者 フォトスポット来場者数 延2,642人



△フォトスポット



△成人式特設サイトトップページ

子どもの居場所づくり事業

学校地域連携推進課

円

施策の内容および成果

予算現額

132,024,815

決算額

130,527,372

節別決算額

需用費 9,064,970

役務費 2,066,113

委託料 114,555,475

備品購入費 4,840,814

市立小学校において、授業の終了後等に、子どもへの安全安心な居場所を確保し、社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を育むことを目的とした「放課後子ども教室」を運営するもの。

令和3年度においては、既に開室している15か所の運営に加え、新規に8箇所を開室を行った。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
放課後子ども教室の実施校数 23校

○令和3年度新規開室校
国分小学校、信篤小学校
二俣小学校、大町小学校
北方小学校、百合台小学校
柏井小学校、稲越小学校

放課後子ども教室▷
(ポッチャ体験)の様子



新たな学びと交流の場づくり事業

社会教育課

円

施策の内容および成果

予算現額

54,321,000

決算額

52,208,684

節別決算額

需用費 32,267,911

役務費 98,643

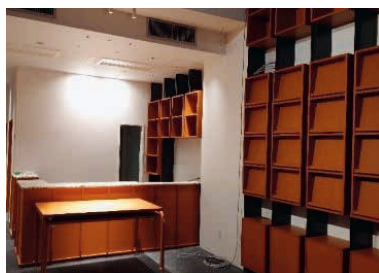
委託料 10,245,290

備品購入費 9,596,840

令和3年7月より開館に向けた改装を実施し、10月より備品の搬入を行い、令和3年11月3日より、「学習交流施設 市本」として開館した。

○令和3年度重点推進プログラムにおける数値目標の実績
工事の進捗率 100%

▽改装中の施設内



▽開業時の施設内



款 教育費

項 社会教育費

目 文化財費

史跡公有化事業

円

予算現額

81,984,000

決算額

81,508,827

節別決算額

役務費

688,600

委託料

2,452,274

公有財産購入費

68,151,369

補償補填及び賠償金

10,216,584

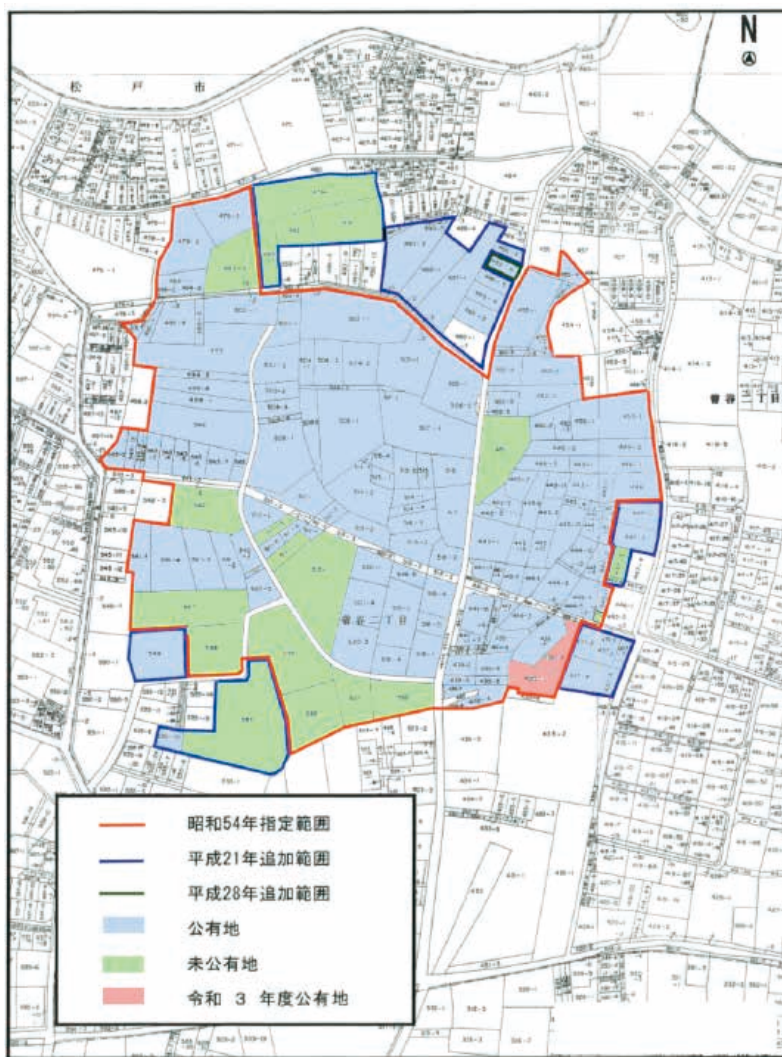
施策の内容および成果

国指定史跡の曾谷貝塚を保護し、今後の保存・活用を図るため、公有化を実施した。

史跡指定面積 50,216.87㎡

3年度公有化面積 759.77㎡ (曾谷2丁目435-1、438-3)

公有化済面積 38,455.66㎡



△史跡曾谷貝塚

考
古
博
物
館

公民館主催講座活動事業

社会教育課

	円
予算現額	2,790,000
決算額	1,282,337
節別決算額	
報償費	416,900
旅費	4,018
需用費	397,531
委託料	463,888

施策の内容および成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公民館で行う主催講座は実施を見合わせ、オンライン講座の配信を行った。オンラインでの配信は「いつでも・どこでも・何度でも」学べる利点があり、若年層を含めた幅広い世代への学習機会提供の有効な手段となった。

○オンライン講座実施状況

配信方法：市公式のYouTubeチャンネルによる限定公開

実績値：47講座（60本）

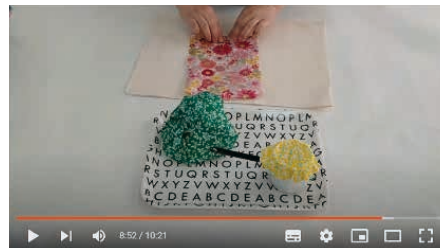
視聴回数：22,913回（令和4年3月31日時点）

登録者数：1,933人（令和4年3月31日時点）

また、オンライン会議システムを活用した双方向型講座として「子どもの心のコーチング」を実施した。（全3回）

○令和3年度重点推進プログラムにおける数値目標の実績

主催講座数 48講座



◁大野公民館

地球にやさしい！エコな「みつろうラップ」を作ろう



◁本行徳公民館

それ行け！行徳調査隊「行徳の今昔」と「おみこし作り」

図書館活動

円

予算現額

215,063,000

決算額

201,597,965

節別決算額

報償費 88,800

旅費 524

需用費 75,188,225

役務費 3,321,620

委託料 101,967,969

使用料及び賃借料 5,475,550

備品購入費 3,624,157

負担金補助及び交付金 11,931,120

施策の内容および成果

いつでも、どこでも、だれでも利用できる図書館ネットワーク網の充実と図書館資料の適切な収集整理と提供に努め、中央図書館を中心に、行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館、平田図書室および指定管理者の運営による市川駅南口図書館の5館1室および自動車図書館などを通じて図書館サービスを展開した。

○所蔵状況と利用状況（令和4年3月31日現在）

（視聴覚資料を含む）

館名	年間受入点数	所蔵点数	貸出者数(延)	貸出点数
中央図書館	22,581点	820,136点	265,086人	1,089,438点
行徳図書館	7,959	168,119	153,731	561,187
信篤図書館	2,377	49,779	26,065	87,803
南行徳図書館	2,280	44,325	23,110	87,857
平田図書室	2,062	42,325	21,263	79,539
市川駅南口図書館	2,930	88,785	169,523	484,135
(自動車図書館)	600	16,483	5,331	25,797
(公民館等図書室)	4,517	162,824	114,140	205,408
計	45,306	1,392,776	778,249	2,621,164

○行事（回数、参加人数）

		回数	人数
中央図書館	・児童向けイベント	23	368
	・ヤングアダルト向けイベント	3	60
	・一般向けイベント	1	195
行徳図書館	・児童向けイベント	9	92
	・ヤングアダルト向けイベント	1	2
	・一般向けイベント	1	25
信篤図書館	・児童向けイベント	1	14
	南行徳図書館	・児童向けイベント	5
	・一般向けイベント	1	10

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

貸出点数 25,797冊

※自動車図書館における貸出点数



△中央図書館 一般フロア



△こどもとしゃかん

少年補導員活動事業

	円
予算現額	3,400,000
決算額	1,858,600
節別決算額	
報償費	1,672,200
需用費	26,400
負担金補助及び交付金	160,000

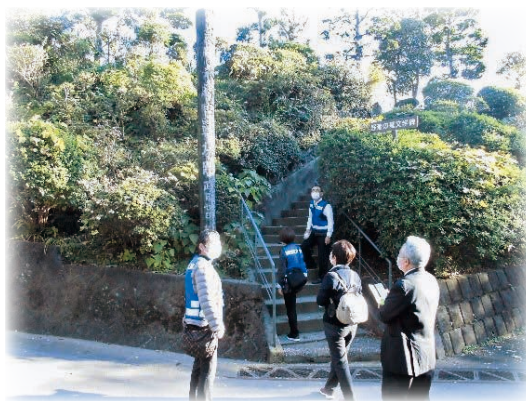
施策の内容および成果

非行の早期発見・未然防止のため、市内160人の少年補導員等による市内全域の補導活動を行った。

○実施回数 193回 従事者数 延783人 補導少年数 190人



△船橋地区ブロック補導員研修会を主催



△松戸市と合同でパトロールを実施

款 教育費

項 社会教育費

目 博物館費

博物館事業(考古博物館)

	円
予算現額	15,899,935
決算額	14,698,441

節別決算額	
報酬	100,100
報償費	30,554
旅費	38,108
需用費	5,254,844
役務費	613,915
委託料	8,540,920
負担金補助及び交付金	120,000

施策の内容および成果

○展示事業

・常設展

人の渡来により始まる先土器時代から、縄文時代、弥生時代、古墳時代を経て、奈良・平安時代までの市川の原始・古代の歴史を、考古資料を中心に展示した。

開館日数：302日 入館者数：17,709人 外部サービス：5,980人

・北国分駅構内に行事案内・レプリカ土器の展示コーナー 通年展示

・ホール小企画展

「下総に咲いた華-下総国分寺と宝相華文-」

期間：令和元年8月10日～3年8月29日

・ホール小企画展

「市川出土の縄文土器」

期間：令和3年9月7日～4年7月31日

○教育普及事業

・学校および家庭教育支援活動 26回 2,334人
縄文体験学習指導

○資料収集および調査研究事業 通年

資料の収集、調査研究および『市立市川考古博物館館報』（紀要）の発行等



△博物館ホールに展示しているコククジラ

博物館事業(歴史博物館)

考
古
博
物
館

	円
予算現額	6,004,065
決算額	5,961,096
節別決算額	
報償費	6,156
需用費	4,107,930
役務費	568,551
委託料	1,241,900
使用料及び賃借料	7,920
原材料費	10,639
負担金補助及び交付金	18,000

施策の内容および成果

○展示事業

・常設展

市川市域における中世以降の歴史の流れを概観し、海・川・台地という地形を生かした、かつての地域の生活や生業を復元し展示した。

開館日数：302日 入館者数：18,116人

・企画展「葛飾八幡宮と八幡の藪知らず」

葛飾八幡宮や八幡の藪知らずに関わる様々な資料を用いて、八幡周辺の歴史や信仰、伝承などを紹介した。

期間：令和3年3月23日～5月9日

・企画展「発見 体験 昔のくらし」

戦後の昭和時代の暮らしぶりへの理解を深めるため、昭和30年代を中心とした生活道具を展示した。小学校の教育課程に準じた内容とし、時期を合わせて開催しており、体験学習の一部として活用した。

期間：令和3年11月3日～4年1月31日

・季節の展示

市域の民俗行事への理解を深めてもらうために、季節ごとの行事やそこで使われる道具や祭具を再現、展示した。 随時開催

○教育普及事業

・学校教育支援活動 15回 1,294人

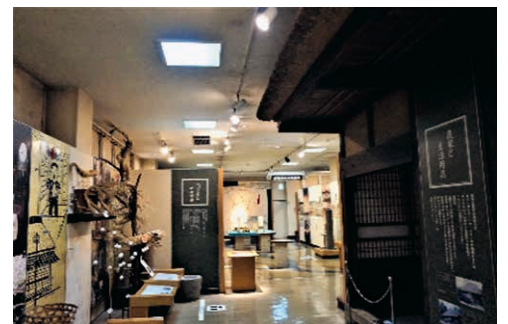
昔のくらし体験

○資料収集および調査研究事業 通年

資料の収集、調査研究および『市立市川歴史博物館館報』(紀要)の発行等



△企画展
「葛飾八幡宮と八幡の藪知らず」



△常設展 台地と人々の生活のコーナー
(復元民家、辻切り大蛇)

款 教育費

項 社会教育費

目 博物館費

博物館事業(自然博物館)

円

施策の内容および成果

予算現額

3,639,000

決算額

3,572,214

節別決算額

需用費

2,126,712

役務費

144,372

委託料

1,020,250

使用料及び賃借料

275,880

負担金補助及び交付金

5,000

○展示事業

・常設展「市川の自然」

「市川のおいたち」「残された市川の自然」「都市化した市川の自然」「湧水の自然」の4つのコーナーに分けて展示した。

また、身近な生き物の飼育展示を行い、市川の生き物や自然についての紹介を行った。

開館日数：303日 入館者数：126,453人



△市川のおいたち



△残された市川の自然



△都市化した市川の自然



△湧水の自然



△身近な生き物の飼育展示

○教育普及事業

・学校支援活動

28回 2,409人

自然観察指導(グリーンスクール)

学校への学芸員講師派遣

・「いちかわ自然博物館だより」発行

6回

○調査研究事業

・生物調査

通年

○資料収集事業

通年

放課後保育クラブ運営事業

円

予算現額

1,597,452,000

決算額

1,544,621,786

節別決算額

報償費 36,400

需用費 14,849,506

役務費 1,300,978

委託料 1,487,469,648

使用料及び賃借料

26,767,192

備品購入費 4,706,262

負担金補助及び交付金

4,603,800

扶助費 4,816,000

償還金利子及び割引料

72,000

施策の内容および成果

○事業の概要

放課後保育クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校および義務教育学校前期課程の児童の放課後において、家庭に代わる生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的とした児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業で、市が施設を整備し、指定管理者が運営を行う。

○実施状況

- ・放課後保育クラブ数 47箇所
- ・定員数 5,913人
- ・入所児童数 4,329人（令和4年3月31日）

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

放課後保育クラブへの入所希望児童数に対する入所児童数の割合 100%



△放課後保育クラブの様子

款 教育費

項 社会教育費

目 青少年育成費

放課後児童健全育成事業補助金事業

	円
予算現額	34,316,000
決算額	30,624,900
節別決算額	
負担金補助及び交付金	30,624,900

施策の内容および成果

○事業の概要

児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業を運営する民間事業者に対し、運営経費の一部を補助することで、放課後児童健全育成事業への参入を促進し、待機児童の解消を図る。

○実施状況

3事業者に対し、運営に係る経費の補助および事業者への運営に対する助言、サポートなどを行った。



△民間事業者が運営する放課後児童クラブ（八幡地区）



◁民間事業者が運営する放課後児童クラブ（市川南地区）

八幡分庁舎建替事業

	円
予算現額	132,373,000
決算額	74,679,700
節別決算額	
報償費	54,600
委託料	27,105,100
工事請負費	47,520,000

施策の内容および成果

老朽化が進む八幡分庁舎と中央公民館等を取りこわし、市民の誰もが個性をより生かすために集い、子育ての場、本と触れ合える場、教養を高める場を兼ね備えた複合施設を整備するもの。

令和3年度においては、設計事業者の選定および既存施設の取りこわし等を実施した。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
工事の進捗率 10%

【款：総務費 項：総務管理費 目：財産管理費】



○旧八幡分庁舎（管財課）

- ・報償金
基本設計・実施設計業務受注者
選考委員報償金 54,600円
- ・委託料
八幡分庁舎建替工事基本設計・
実施設計等委託料 27,105,100円
- ・取りこわし工事費
八幡分庁舎等取りこわし工事
30,607,280円

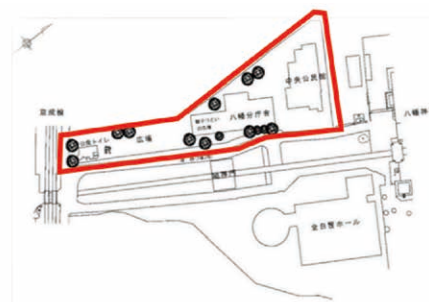
【款：教育費 項：社会教育費 目：公民館費】



○旧中央公民館（社会教育課）

- ・取りこわし工事費
中央公民館取りこわし工事
16,912,720円

計画地



解体工事の様子



避難所環境整備事業

円		施策の内容および成果
予算現額	171,670,000	避難所における避難生活をより安心・快適なものにするため、避難所用品・備品の購入や避難所等の環境整備を行った。
決算額	158,087,085	
節別決算額計		○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
需用費	103,253,339	プライバシーの確保や感染症対策が講じられた避難所の数 75箇所
備品購入費	54,833,746	

款項目	課名	節別決算額（円）	施策の内容および成果
総務費 総務管理費 危機管理対策費	地域防災課	計 85,741,746 需用費 30,908,000 備品購入費 54,833,746	○避難所用プライベートテントや避難所用品・備品の購入
教育費 小学校費 学校管理費	教育施設課	計 54,670,000 需用費 54,670,000	○避難所のトイレ改修 屋内運動場トイレ修繕 小学校 11校 (行徳・信篤・新井・百合台・新浜・八幡・大洲・塩焼・富美浜・鬼高・大野)
教育費 社会教育費 公民館費	社会教育課	計 17,675,339 需用費 17,675,339	○避難所のトイレ改修 公民館トイレ修繕 4館 (鬼高・柏井・市川・西部)

○購入した主な避難所用品・備品



△プライベートテント



△健康衛生用品

○避難所のトイレ改修
(教育施設課・社会教育課)

▽鬼高小学校



△着工前



△完成

地域コミュニティゾーン整備事業

予算現額

2,113,606,600

決算額

1,536,019,933

節別決算額

報償費 109,200

委託料 68,582,800

工事請負費 832,010,100

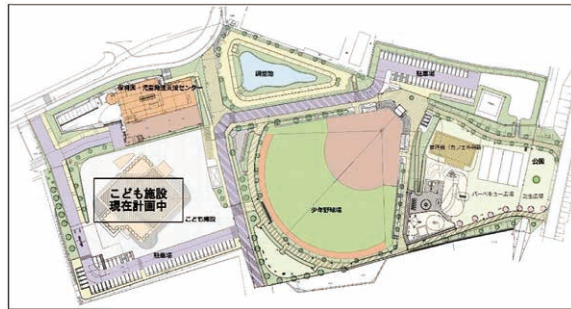
負担金補助及び交付金
633,337,300補償補填及び賠償金
1,980,533

円

施策の内容および成果

地域の特性を踏まえ、未来を担うこどもたちの健やかな成長を促し、国際性豊かで多世代が交流できる地域コミュニティ拠点の整備を進めた。

- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
工事の進捗率 36%

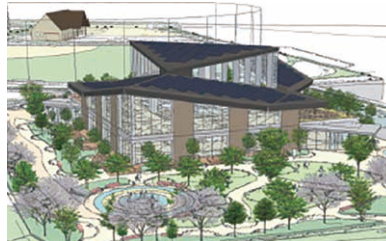


【款：民生費 項：児童福祉費 目：児童福祉総務費】

- こども家庭支援課

こども施設の建設に向けて基本設計および実施設計の事業者をプロポーザル方式により選定し、基本設計を実施した。

- ・報償費 109,200円
- ・委託料 29,150,000円



◁こども施設（イメージ）

- こども施設設計画課・発達支援課

待機児童対策として保育園の充実を図るとともに、児童発達支援センターとの一体運営により、こどもたちが、お互いに影響し合いながら成長できる施設の整備費用の一部を補助した。

また、施設整備の前後で、敷地の造成工事、用地測量および外構工事を行った。

- ・委託料 1,556,500円
- ・工事請負費 177,820,900円
- ・負担金補助及び交付金 632,465,000円



△保育園・児童発達支援センター

施策の内容および成果

【款：土木費 項：道路橋りょう費 目：道路新設改良費】

○道路建設課

地域コミュニティゾーンへのアクセス向上を図るため、ゾーン北側道路（市道8133号）の拡幅工事に着手した。

また、それに伴って移設した電柱の補償を行った。

- | | |
|------------|-------------|
| ・工事請負費 | 83,403,600円 |
| ・補償補填及び賠償金 | 1,980,533円 |



△着工前



△着工後

【款：土木費 項：河川費 目：水路改良費】

○河川・下水道建設課

地域コミュニティゾーン内および周辺の雨水排水能力の向上を図るため、雨水管渠の整備を行った。

- | | |
|--------|--------------|
| ・工事請負費 | 155,414,600円 |
|--------|--------------|

【款：土木費 項：都市計画費 目：公園費】

○公園緑地課

公園区域の整備を進めるため、実施設計を行った。

少年野球場、調整池等の整備を進め、少年野球場は令和4年3月に一部供用を開始した。

- | | |
|-------------|--------------|
| ・委託料 | 37,876,300円 |
| ・工事請負費 | 415,371,000円 |
| ・負担金補助及び交付金 | 872,300円 |



◁少年野球場

崖地等崩壊対策事業

	円
予算現額	148,499,000
決算額	101,948,000
<hr/>	
節別決算額	
委託料	46,105,400
工事請負費	55,842,600

施策の内容および成果

【款：民生費 項：社会福祉費 目：高齢者支援費】

○介護福祉課

養護老人ホームいこい荘南東側斜面地において、危険性がある箇所の安全対策を行い、崩壊等の災害を防ぐことを目的とし、4年度からの整備工事に向けた設計・調査を実施した。

・委託料 20,103,600円



△養護老人ホームいこい荘斜面地（大町521番地1 ほか）

【款：土木費 項：都市計画費 目：公園費】

○公園緑地課

斜面緑地の現状調査として、地質調査、現地測量、法面の安全性を検討するため、真間山緑地および中山東公園において、調査検討委託を実施した。

・委託料 20,039,800円



△真間山緑地

施策の内容および成果

【款：土木費 項：都市計画費 目：宅地費】

○開発指導課

①国分3丁目の崖地において、急傾斜地崩壊対策工事が完成した。

また、市川4丁目の崖地において、急傾斜地崩壊対策工事に着手した。

・工事請負費 55,842,600円



※写真は国分3丁目の崖地

◀着工前

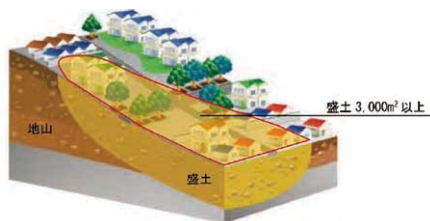


完成▷

②大規模盛土造成地変動予測調査の第一次スクリーニングにより抽出された大規模盛土造成地を対象とし、第二次スクリーニングを計画的に実施するための優先度評価を行った結果、全32箇所とも経過観察となった。

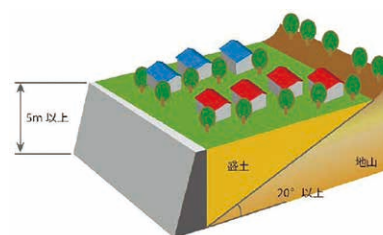
・委託料 5,962,000円

【谷埋め型大規模盛土造成地 30箇所】



谷や沢を埋め立てた造成宅地で、盛土の面積が3,000㎡以上のもの。

【腹付け型大規模盛土造成地 2箇所】



盛土をする前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上かつ盛土の高さが5m以上のもの。

出典：大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説

国民健康保険事業

国民健康保険課

円

予算現額

40,571,253,000

決算額

40,019,439,677

款別決算額

総務費 625,004,496

保険給付費

26,423,313,262

国民健康保険事業費納付金

12,031,705,705

共同事業拠出金 795

保健事業費 325,578,213

基金積立金 550,640,944

諸支出金 63,196,262

施策の内容および成果

資格の適正化、医療費通知、診療報酬明細書の点検等の実施により、医療費の適正化を図るとともに、税込の確保に努めた。

- 被保険者数（年間平均） 令和3年度 90,128人
 ※介護第2号被保険者数（再掲） 30,469人
- 世帯数（年間平均） 令和3年度 62,644世帯

○保険給付状況

区 分	件数	決算額
療 養 給 付 費	1,419,817件	22,682,159,966円
一般被保険者療養給付費	1,419,722	22,675,253,214
退職被保険者等療養給付費	95	6,906,752
療 養 費	39,178	278,651,869
一般被保険者療養費	39,178	278,651,869
退職被保険者等療養費	0	0
高 額 療 養 費	65,307	3,247,214,092
一般被保険者高額療養費	65,292	3,244,986,574
退職被保険者等高額療養費	15	2,227,518
高 額 介 護 合 算 療 養 費	131	5,053,584
一般被保険者高額介護合算療養費	131	5,053,584
退職被保険者等高額介護合算療養費	0	0
出 産 育 児 一 時 金	292	120,781,900
葬 祭 費	477	25,410,000
傷 病 手 当 金	70	7,826,989
給 付 費 計	1,525,272	26,367,098,400
その他（審査支払手数料）	1,460,591	56,214,862
保 険 給 付 費 歳 出 額 合 計		26,423,313,262

- 令和3年度分 ・ 1人当たり 保険給付費 292,552円
- ・ 1世帯当たり 保険給付費 420,904円

○国民健康保険事業費納付金

区 分	決算額
医 療 給 付 費 分	8,246,035,937円
一般被保険者医療給付費分	8,240,996,038
退職被保険者等医療給付費分	5,039,899
後 期 高 齢 者 支 援 金 等 分	2,552,976,507
一般被保険者後期高齢者支援金等分	2,552,463,529
退職被保険者等後期高齢者支援金等分	512,978
介 護 納 付 金 分	1,232,693,261
合 計	12,031,705,705

施策の内容および成果

○国民健康保険税賦課徴収状況

区 分		調定額	収納額	収納率
医療分	現年課税分	6,660,735,345円	6,030,841,960円	90.54%
	滞納繰越分	2,060,172,381	487,376,822	23.66
支援分	現年課税分	1,478,071,703	1,351,171,666	91.41
	滞納繰越分	699,104,905	92,363,745	13.21
介護分	現年課税分	695,932,952	622,340,418	89.43
	滞納繰越分	385,332,296	52,442,693	13.61
合 計		11,979,349,582	8,636,537,304	72.10

不納欠損額 226,671,731円

令和3年度現年課税分

・ 1人当たり負担額	医療給付費分	73,903円
	後期高齢者支援金分	16,400円
	介護納付金分	22,841円
・ 1世帯当たり負担額	医療給付費分	106,327円
	後期高齢者支援金分	23,595円

○特定健康診査・特定保健指導等の状況

特定健康診査および人間ドック助成

40歳から74歳の市川市国民健康保険加入者に対して、メタボリックシンドローム該当者および予備群を発見し、生活習慣病を予防するための特定保健指導に繋げた。

対象者数	特定健康診査受診者数	人間ドック助成件数	受診率
63,166人	25,467人	379件	40.9%

特定保健指導

特定健康診査の結果により対象となった方に対して、6か月間の継続した支援を行い、生活習慣病の予防に繋げた。

対象者数	実施者数	実施率
1,940人	374人	19.3%

介護保険事業

円

予算現額

29,851,293,000

決算額

29,045,177,767

款別決算額

総務費 647,448,794

保険給付費 28,041,001,060

基金積立金 1,286,851

諸支出金 355,441,062

施策の内容および成果

○要介護認定の審査・判定等

要介護認定申請に基づき介護認定審査会を開催し、要介護認定の審査・判定を行った。

(1) 認定申請受付状況（延件数）

申請件数	申請別内訳			
	新規	転入等	更新	区分変更
19,519件	5,731件	205件	11,803件	1,780件

(2) 審査件数等（延件数）

審査件数	審査会開催回数	認定結果通知件数
9,263	265回	9,469件

(3) 認定の結果（延件数）

区分	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
認定件数	186件	1,247件	1,362件	1,624件	1,407件
構成比	2.0%	13.2%	14.4%	17.0%	14.9%

区分	要介護3	要介護4	要介護5	合計
認定件数	1,390件	1,306件	947件	9,469件
構成比	14.7%	13.8%	10.0%	100.0%

○賦課徴収状況

介護保険料

区分	調定額	収納額	収納率
特別徴収保険料	6,375,596,470円	6,385,037,140円	100.1%
普通徴収保険料	825,899,060	753,362,980	91.2
計	7,201,495,530	7,138,400,120	99.1
滞納繰越保険料	177,026,910	26,757,520	15.1
合計	7,378,522,440	7,165,157,640	97.1

※特別徴収保険料の調定額を上回る収納額は、還付未済額である。

施策の内容および成果

○保険給付の状況

(1) 保険給付の内訳

区 分	件数	決算額
介護サービス等諸費	461,965件	25,881,448,608円
居宅サービス費	401,465	14,748,282,949
地域密着型サービス費	33,059	3,352,132,313
施設サービス費	27,441	7,781,033,346
介護予防サービス等諸費	46,685	604,815,479
介護予防サービス費	46,561	595,284,605
地域密着型介護予防サービス費	124	9,530,874
高額介護サービス等費	58,020	812,901,442
高額医療合算介護サービス等費	3,228	115,686,702
特定入所者介護サービス等費	36,232	600,929,029
合 計	606,130	28,015,781,260

(2) 審査支払手数料

件数	決算額
504,396件	25,219,800円

一般介護予防事業

地域
支え
あい
課

予算現額	円 1,854,000
決算額	1,017,904
節別決算額	
〔目名 一般介護予防事業費〕	
報償費	180,000
旅費	2,756
需用費	166,130
役務費	25,518
委託料	643,500

施策の内容および成果

コロナ禍においても介護予防・フレイル予防に取り組むことができるよう、市公式Webサイト、市公式YouTubeチャンネル・LINEセグメント配信、地域新聞など様々な媒体を通じて、介護予防・フレイル予防に関する情報発信を行うとともに、オンラインによる講座を開催した。

住民主体の通いの場においても、感染症対策を講じながら活動が継続できるよう支援を行った。また、通いの場にリハビリ専門職等を派遣し、介護予防・フレイル予防に関する助言を行うことで市民が自ら介護予防に継続的に取り組むことができるよう支援した。

○介護予防普及啓発事業

・オンライン講座	参加人数	75人
・地域新聞コラム掲載	掲載回数	11回
・LINEセグメント配信	配信回数	30回

○地域介護予防活動支援事業

・市川みんなで体操	開催会場	36箇所（うち活動休止19箇所）
-----------	------	------------------

○地域リハビリテーション活動支援事業

・リハビリ専門職等派遣	派遣回数	12回
-------------	------	-----

○様々な媒体による情報発信や普及啓発



△LINEを用いたセグメント配信



△オンライン講演会の開催案内

認知症総合支援事業（認知症地域支援推進員）

円

施策の内容および成果

予算現額

26,840,000

決算額

25,274,796

節別決算額

（目名 包括的支援事業費）

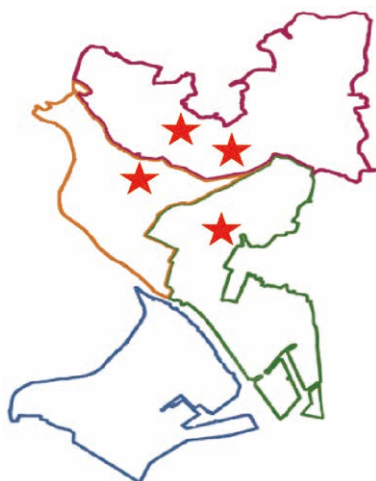
委託料

25,274,796

認知症やその恐れのある高齢者が社会と関わりを持ち、発症や進行を遅らせるだけでなく、周囲からの理解や協力を深め、安心して暮らせる地域づくりを目指し、高齢者サポートセンターに、専任の認知症地域支援推進員を配置した。

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

認知症地域支援推進員（専任） 4人



△令和3年度に推進員を配置した地区
（曾谷、宮久保・下貝塚、菅野・須和田、市川東部）



△認知症本人ミーティング
「仲間と話そう」



△コンビニエンスストアでの
出張相談会



△自治会館での認知症勉強会



△介護事業所との連携による
認知症カフェ

地域包括支援センター運営事業

介護福祉課

円

予算現額

467,409,000

決算額

456,239,534

節別決算額

(目名 包括的支援事業費)

報償費 30,000

需用費 193,958

委託料 454,035,576

使用料及び賃借料

1,980,000

施策の内容および成果

高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、心身の健康の保持および生活の安定のために必要な援助を行い、その保健医療の向上および福祉の増進を包括的に支援した。

○高齢者サポートセンター事業報告

・総合相談件数	55,993件
・成年後見制度に関する相談件数	2,488件
・虐待等権利擁護に関する相談件数	2,024件
・介護支援専門員からの相談件数	6,124件
・地域ケア会議	61回

あんしん電話設置等見守り支援事業

介護福祉課

円

予算現額

18,960,100

決算額

18,958,881

節別決算額

(目名 任意事業費)

役務費 854

委託料 18,940,927

扶助費 17,100

施策の内容および成果

ひとり暮らし高齢者等の自宅に設置された緊急通報装置からの緊急通報をあんしん電話受信センターにて受信し、見守り支援を行った。

利用登録件数	1,083件
通報受信件数	787件

(令和4年3月末時点)

●あんしん電話



●ペンダント



会計名 介護保険特別会計

成年後見制度利用支援事業

		円	施策の内容および成果
介護福祉課	予算現額	13,671,000	成年後見開始等の審判の請求を行う親族がない65歳以上の人等についての市長による審判の請求、後見人等に対して支払う報酬に係る助成を実施した。
	決算額	12,309,857	
	節別決算額 (目名 任意事業費)		市長による審判の請求の件数 32件 報酬費助成件数 54件
	報償費	145,600	
	需用費	19,066	
	役務費	352,889	
	扶助費	11,792,302	

会計名 介護保険特別会計

紙おむつ給付事業

		円	施策の内容および成果	
介護福祉課	予算現額	55,999,330	在宅で介護を受け、介護保険における認定が要介護3以上の人に対し、紙おむつを給付することにより、在宅高齢者等の福祉の増進および介護する者の身体的・経済的な負担の軽減を図った。	
	決算額	54,974,662		
	節別決算額 (目名 任意事業費)		<table border="1"> <tr> <td>給付決定者数</td> <td>1,154人</td> </tr> </table> (令和4年3月時点)	給付決定者数
給付決定者数	1,154人			
	需用費	18,920		
	役務費	156,852		
	扶助費	54,798,890		

食の自立支援事業

介護福祉課

	円
予算現額	13,882,000
決算額	12,466,696

節別決算額	
(目名 任意事業費)	
役務費	26,816
委託料	12,439,880

施策の内容および成果

ひとり暮らし高齢者等で食事の支度をするのが困難な人に対して、配食サービスを実施し、安否の確認等を行った。

利用実人数	412人
配食延数	23,012食

(令和4年3月末時点)

認知症対策事業(家族介護支援事業)

介護福祉課

	円
予算現額	1,362,000
決算額	1,300,750

節別決算額	
(目名 任意事業費)	
委託料	1,300,750

施策の内容および成果

適切な介護知識・技術の習得、外部サービスの適切な利用方法等の内容で教室を開催した。

○家族介護教室 43回

後期高齢者医療制度事業

円

予算現額

5,812,496,000

決算額

5,694,759,907

款別決算額

総務費 89,420,340

後期高齢者医療広域連合負担金

5,587,364,467

諸支出金 17,975,100

施策の内容および成果

後期高齢者医療制度における資格および給付に関する申請書の受理、保険料の徴収、還付等の市町村事務を執行した。

○運営主体

千葉県後期高齢者医療広域連合

○加入対象者

75歳以上の者

65歳以上75歳未満で一定の障がいがあり広域連合の認定を受けた者

○加入者数（令和4年3月末現在）

令和3年度 52,783人

○収納状況

後期高齢者医療保険料

区 分	調定額	収納額	収納率
後期高齢者医療保険料	4,914,067,400 ^円	4,866,204,600 ^円	99.03%

公共下水道整備雨水事業

円 施策の内容および成果

予算現額	3,703,182,495
決算額	1,718,672,087

節別決算額	
(目名 管渠整備費)	
通信運搬費	21,780
委託料	152,028,030
賃借料	2,278,820
補償金	64,040,457
工事請負費	540,573,000
(目名 ポンプ場整備費)	
委託料	959,730,000

市街地における浸水被害の軽減を図るため、市川南地区および高谷・田尻地区において、ポンプ場や雨水管渠の整備等を行った。

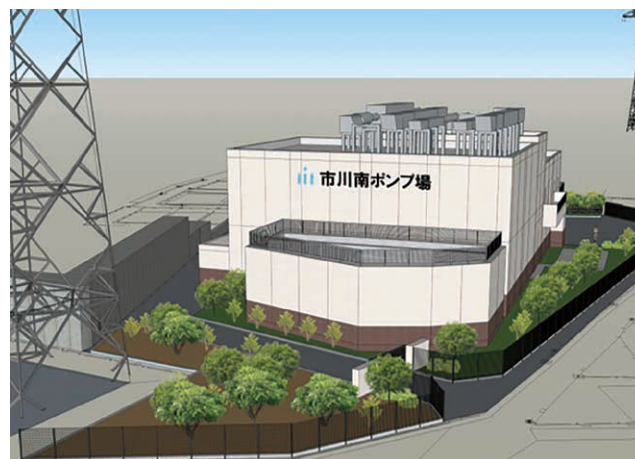
- 雨水管渠建設工事
- ・高谷2号幹線建設工事（継続費）
 - ・市川南4号幹線建設工事（継続費）
 - ・市川南11号幹線建設工事（継続費）

- 実施設計
- ・田尻4丁目マンホールポンプ
 - ・市川南第1排水区
 - ・市川南第4排水区
 - ・高谷・田尻排水区

- 市川南ポンプ場整備
- ・市川南ポンプ場建設工事委託（継続費）

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
雨水管渠布設（延長） 28m

河川・下水道建設課



△完成予想図（江戸川堤防より）

公共下水道整備汚水事業

円

施策の内容および成果

予算現額

8,099,946,495

決算額

5,784,971,832

節別決算額

(目名 管渠整備費)

旅費	14,838
備用品費	1,022,335
燃料費	69,822
印刷製本費	21,252
委託料	997,246,400
手数料	1,456,236
賃借料	3,009,554
修繕費	12,694
路面復旧費	240,530,400
補償金	1,126,237,505
負担金	1,597,402
研修費	11,500
保険料	13,694
工事請負費	3,413,728,200

管渠布設工事 (31箇所)

・市川幹線区域 (22箇所)

(宮久保地区 2箇所、北方地区 7箇所、大野・柏井地区 13箇所)

- 施工延長	10,848m
- 整備面積	30.8ha
- 処理人口	3,205人

・松戸幹線区域 (8箇所)

(曾谷・東国分地区 1箇所、中国分地区 1箇所、国分・須和田地区 6箇所)

- 施工延長	3,382m
- 整備面積	10.4ha
- 処理人口	976人

・西浦処理区域 (1箇所)

(若宮地区 1箇所)

- 施工延長	85m
- 整備面積	0.3ha
- 処理人口	36人

管渠布設実施設計 (20箇所)

水道仮配管含む。

令和3年度計

管渠延長	14,315m
整備面積	41.5ha

○令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績

下水道普及率 (年度末) 76.8%

下水道施設長寿命化対策事業

円

予算現額

154,642,000

決算額

114,018,200

節別決算額

(目名 管渠整備費)

委託料 64,521,600

工事請負費 24,345,200

(目名 ポンプ場整備費)

委託料 25,151,400

施策の内容および成果

老朽化が進展する下水道施設に対し、事故の未然防止およびライフサイクルコストの最小化を図るため、「市川市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、計画的な改修を行った。

管渠改築工事

- ・長寿命化対策（管渠）改築工事

管路調査

- ・長寿命化対策管路調査

改築実施設計

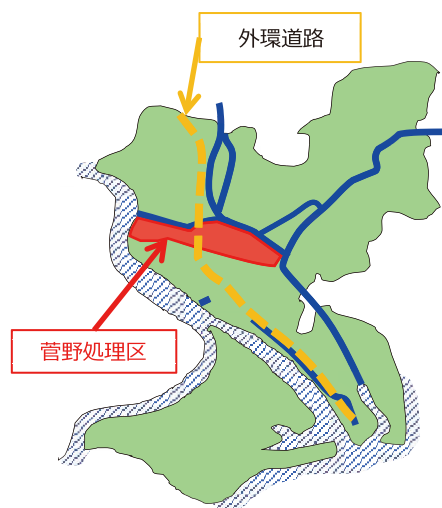
- ・長寿命化対策改築実施設計

計画策定

- ・市川市公共下水道（処理場・ポンプ場）改築計画策定

- 令和3年度重点推進プログラムで定めた数値目標の実績
下水道長寿命化対策（管渠）改築工事 120m

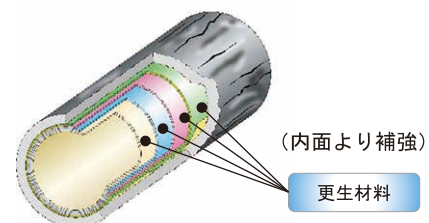
河川・下水道建設課



長寿命化対策前



長寿命化対策後



令和4年9月 発行

**令和3年度決算に係る主要な
施策の成果に関する報告書**

編集・発行 市川市 財政部 財政課

〒272-8501 千葉県市川市八幡1丁目1番1号

電話 047-334-1111 (代表)

